

社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部  
平成 28 年度 社会貢献活動

報告書

活動テーマ



～ 総合的なまちづくりにおける課題解決に向けて ～



平成 29 年 3 月

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会  
中国支部 技術部会 地域計画委員会

---

## \*\*\* 目 次 \*\*\*

	(頁)
第1章 活動概要 .....	1
1.1 目 的 .....	1
1.2 活動内容 .....	2
1.2.1 活動の流れ .....	2
1.2.2 活動の対象範囲 .....	2
1.2.3 活動の内容 .....	2
1.3 活動工程 .....	4
第2章 活動結果 .....	5
2.1 まちトーク2016 「公営競技とまちづくり」の開催 .....	5
2.1.1 開催準備 .....	5
2.1.2 開催概要 .....	8
2.1.3 開催結果 .....	9
2.1.4 まちトーク2016「公営競技とまちづくり」関連資料 .....	34
2.2 まちトーク2017 「どうする中山間地域!？」の開催 .....	47
2.2.1 開催準備 .....	48
2.2.2 開催概要 .....	70
2.2.3 開催結果 .....	72
2.2.4 まちトーク2017「どうする中山間地域!？」関連資料 .....	114
2.3 ガイドブック検証 .....	130
2.3.1 調査概要 .....	130
2.3.2 調査結果 .....	131
2.3.3 体験結果まとめ .....	135
2.3.4 配布先ヒアリング結果 .....	136
2.4 まちづくり活動への参加報告 .....	137
2.4.1 サイクルフェスタ HIROSHIMA .....	137
2.4.2 広島バイシクル・フェスタ 2016 .....	138
2.4.3 わが国における観光とまちづくりの展望 .....	139
2.5 まちづくり出前授業 .....	144
2.5.1 活動概要 .....	144

---

参考資料

1. 活動メンバー一覧 ..... 参考-1
  2. 活動会議議事録 ..... 参考-2
  3. 活動メンバー感想文 ..... 参考-19
-



## 第1章 活動概要

### 1.1 目的

平成18年度から7年間は「自転車とまちづくり」をテーマとして活動してきた。

平成25年度からは、自転車の視点からだけのまちづくりではなく、安心・安全、賑わい、景観、環境など、総合的なまちづくりにおける様々な課題について探ることを目的として活動してきた。様々な課題が解決されたまちとはどんなまちか、たぶん安全・安心でにぎわいがあり、便利で快適な環境の良いまち、言い換えれば人が集まるまち、集まっているまちではないか。このようなまちを創るには、まちに住む人の“やさしさ”が必要と考え、本活動のテーマを“やさしいまちづくり”と設定した。

また本活動は、市民等との対話・意見交換の場を設けるとともに、成果等を一般に向けて広報することにより、“やさしいまちづくり”のきっかけづくりを目指しており、今年度が4年目となる。

“やさしいまちづくり”をテーマに掲げた平成25年度は、第一ステップとして、“やさしいまちづくりに向けた課題を探ること”をテーマに活動を行い、平成26年度は第一ステップ及び第二ステップとして、“やさしいまちづくりに向けた提案事項を探ること”を目的として活動した。

昨年度は平成25年度からの活動を踏まえ、活動成果となるアウトプットの作成を目的とし、観光客を対象とした公共交通に視点を置いた観光ガイドブック「ひろしま うらまちめぐり Tour of downtown in Hiroshima」を作成した。また、新たな視点として、広島の特徴であるスポーツとまちづくりの関わりを探るため、「スポーツとまちづくり まちトーク2016（2016年1月24日）」を開催した。

本年度は、昨年度作成した観光ガイドブックに沿って観光してもらい成果品の検証を行った。またより広島という地域に根付いたまちづくりの可能性を探るため、広島に多い公営競技と、広島の特徴である中山間地域にスポットを当てた「公営競技とまちづくり まちトーク2016（2016年11月3日）」「どうする中山間地域！？ まちトーク2017（2017年1月14日）」を開催した。

なお、本活動は、「やさしいまちづくり」のきっかけとなるために、継続的な取り組みの展開を図るものとしている。

本活動は、(一社)建設コンサルタンツ協会の「第二次中期行動計画 H22.3」に基づく社会貢献のための行動の一環であり、社会資本整備に関わる知見と知識を提供できる専門家集団として、ボランティア活動、各種フォーラム、著作物などを通じて、協会及び建設コンサルタントの情報発信と社会的認知度を高めることをねらいとしている。

(一社)建設コンサルタンツ協会・中期行動計画 <http://www.jcca.or.jp/about/invention/plan2/index.html>

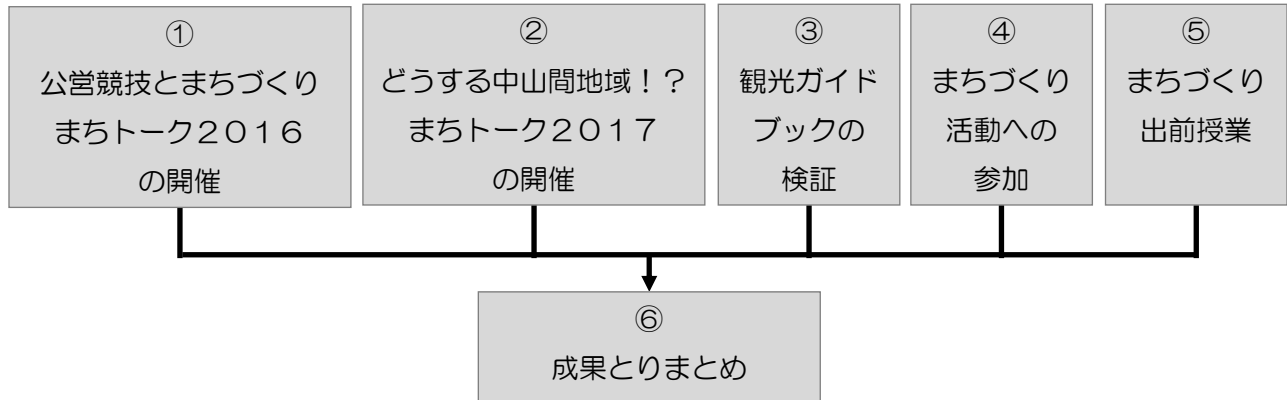


## 1.2 活動内容

### 1.2.1 活動の流れ

本活動は下図のフローに示すとおり、5つの活動を順次行い、成果としての本報告をとりまとめた。

4つの活動はフォーラム「公営競技とまちづくり まちトーク2016」「どうする中山間地域！？まちトーク2017」の開催、「観光ガイドブックの検証」「まちづくり活動への参加」「まちづくり出前授業」である。



### 1.2.2 活動の対象範囲

活動の対象範囲は広島県全域とし、周辺地域を含めた。

### 1.2.3 活動の内容

#### (1) 公営競技とまちづくり まちトーク2016の開催

広島には広島競輪場や宮島ボートレースと二つの公営競技があり地域に根付いている。公営競技が地域にあることの意義をまちづくりの視点から探っていき、今後の地域活性化のヒントになることを期待してフォーラムを開催した。

#### (2) どうする中山間地域！？ まちトーク2017の開催

尾道松江線が全線開通したことにより、並行現道の交通量は減少し、沿線地域の地域経済の衰退という問題が発生している。残された道路の新たな役割として「道の駅」「サイクリング」への利活用というテーマに関連した専門家の意見も交えたトークセッションを行うことにより、今後の地域活性化に関する取組を考えるヒントになることを期待してフォーラムを開催した。

#### (3) 観光ガイドブックの検証

昨年度作成した観光ガイドブック「ひろしま うらまちめぐり Tour of downtown in Hiroshima」で提案したルートを実際に在日外国人の方に巡ってもらい、感想・意見をまとめた。

#### (4) まちづくり活動への参加

まちづくりにおける団体運営の仕方や課題、改善に向けた提案等を整理するきっかけとするために、まちづくり活動に参加し、団体の支援等を行った。



### **(5) まちづくり出前授業**

地元の小学校などで地域や最新技術に関わる授業を行うことで、建設コンサルタント業界の知名度・地位の向上を図れ、授業をする側も知識・経験の蓄積となった。

### **(6) 成果とりまとめ**

以上の活動成果は、本報告書に記すとおりとりまとめた。



### 1.3 活動工程

活動は以下に示す工程で実施し、会議はメンバー各社持ち回りで計9回実施した。  
 なお具体的な作業については、メンバー内で作業を分担し実施した。

表 活動工程

	H28 (2016) 年										H29 (2017) 年		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(1) まちトーク 2016 公営競技とまちづくり													
① 準備				■									
② 実施								●					
(2) まちトーク 2017 どうする中山間地域！？													
①準備							■						
②実施										●			
(3) 観光ガイドブックの検証													
①準備					■				■				
②調査						●	●			●			
③とりまとめ											●		
(4) まちづくり活動への参加						●		●		●			
(5) まちづくり出前授業			●			●	●	●					
(6) 成果とりまとめ											■		
会議	●	●	●	●	●	●	●	●	●				



## 第2章 活動結果

### 2.1 まちトーク2016 「公営競技とまちづくり」の開催

競馬、競輪、ボートレース、オートレースと、日本には4種類の公営競技があり、これらは特殊法人や地方公共団体によって施行されている賭け事である。全国的にみると、一部では大きな盛り上がりを見せており、広島にも広島競輪場や宮島ボートレースがある。

一方で、地方の競技場では、財政難による閉鎖が相次ぎ（福山競馬場や益田競馬場等）、存続が危ぶまれている状況にある。

今回のフォーラムは、公営競技が地域にあることの意義をまちづくりの視点から探っていき、今後の地域活性化のヒントになることを期待して開催した。

#### 2.1.1 開催準備

フライヤーを作成し、メンバー各社により、行政機関や公共施設等に配布するとともに、SNS（ツイッターやフェイスブック）により案内を行った。

また、在広メディア（中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、中国新聞）にプレスリリースし、中国新聞から事前取材を受け、まちトーク開催について紙面に掲載された（下参照）。

（平成28年11月1日付け  
中国新聞朝刊）







【配布フライヤー（オモテ）】

（一社）建設コンサルタンツ協会プレゼンツ

参加費無料！

定員150名

# まちトーク 2016

# 公営競技とまちづくり

～Youは競輪・ボートレース・オートレースを知っているか！？～

【日時】平成 28 年 **11月3日(木・祝)** 19:00～20:45(開場 18:30)

【会場】西区民文化センター スタジオ（2階）

(JR,広電横川駅徒歩3分：広島市西区横川新町6番1号 TEL 082-234-1960)

## プログラム

19:00 開会

話題提供：知ってる？公営競技（世界と日本の公営競技）

（一社）建設コンサルタンツ協会

19:20 パネルディスカッション ～地域と公営競技を結ぶには～

■パネリスト

森江 信行	競輪選手	（一社）日本競輪選手会広島支部支部長代行
山口 剛	ボートレーサー	（公社）日本モーターボート選手会広島支部
吉松 憲治	オートレーサー	（一社）全日本オートレース選手会山陽支部支部長
山内 塊太	広島競輪場	日本写真判定(株)広島事業所事業長
鈴木 準市	ボートレース宮島	宮島競艇施行組合 事業局長
松浦 博	山陽オートレース場	日本写真判定(株)山陽事業所主任

■コーディネータ 森島 誠司 建設コンサルタンツ協会 地域計画委員長

20:45 閉会

※レース日程等により出演者が変更となる場合があります

■主催 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部 地域計画委員会

後援 公益社団法人 日本技術士会 中国本部

公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部

■お問い合わせ先 まちトーク2016事務局 中電技術コンサルタント(株) 営業本部 森島

TEL:082-256-3343 FAX:082-255-5601

JCA Japan Civil Engineering Consultants Association



【配布フライヤー（ウラ）】

**パネリスト・コーディネーターのご紹介**

**KEIRIN**  
00 **森江 信行**  
もりえ のぶゆき

1982年、広島支部所属選手として選手登録。2014年、支部長代行就任。支部をあげて競輪選手の技能や知識を活かした地域貢献活動を行っている。「お子様向け補助輪外し教室」や「サイクルクラブでの自転車競技講座」は参加者から好評で人気イベントとして定着している。引退選手のセカンドキャリアサポートにも積極的に取り組んでいる。

**山口 剛**  
やまぐち つよし

広島が全国に誇るトップレーサー。アグレッシブで豪快なレースぶり、最後まで諦めないレーススタイルはファンからの支持も高く、広島の若手を牽引するリーダーである。広島市出身。34歳（1982年生れ）優勝回数 34回（うちSG競走 10回・GI競走 7回）生涯獲得賞金 571,284,750円（2016年10月12日現在）

**Auto Race**  
**吉松 憲治**  
よしまつ けんじ

1989年山陽支部所属選手として選手登録。2014年、支部長に選出されると山陽小野田市、日本写真判定（株）とともに「地域に開かれたレース場創り」を積極的に推進。伝統ある地域行事や小中学生への特別授業に選手を派遣した。地域において、これまで「ギャンブルの駒」としか見られていなかったオートレーサーの在り方を変革している。

**Ujira**  
Hiroshima Keirin **山内 塊太**  
やまうち かいた

広島競輪場包括運営委託業務プロポーザルにおいて、「競輪場を市民の財産に」をコンセプトに「サイクルパーク構想」を提案。2015年度から運営業務を受託。現在は、施行者、選手会及びJKAをはじめとする各関係団体と協力し、お子様からお年寄りまで誰もが安心して楽しめる「サイクルパークひろしま」の実現に向けて取り組んでいる。

**鈴木 準市**  
すずき じゅんいち

2014年4月より現職に就任する。ボートレースをこよなく愛し、独自の事業手腕により、ボートレース宮島では12年ぶりの開催となるSG競走の開催（2015年6月）や、2017年2月にはボートレース業界で初めて開催される「GⅡ第1回レディースオールスター」の誘致など、ボートレース宮島の活性化と事業改善に日々取り組んでいる。

**山陽オート** **松浦 博**  
まつうら ひろし

広島市立大学卒。2014年、山陽事業所赴任。直後に山陽オートの施行者である山陽小野田市市長をはじめ100名を超える職員に「地域に開かれたレース場創り」をプレゼン。以来様々な角度からアプローチし、既存概念を取り払い、地域社会とレース場に新しい関係を築いてきた。レース場が「財産」として地域に受け入れられることが目標。

**JCCA** **森島 誠司**  
もりしま せいじ

東京農業大学卒。15年間の在京生活を経て郷里・広島にUターン。ランドスケープデザインや地域活性化等のプランニングに取り組むかわら、地域では自治会長、NPO法人事務局、行政のアドバイザー、学校講師など、積極的に活動中。文部科学省登録技術士（建設部門：都市及び地方計画）  
（中電技術コンサルタント（株）勤務）



**【参加申込票】** ..... 下記の項目を明記のうえ、Eメール又はFAXでお申し込みください!

フリガナ  
お名前

連絡先  
ご住所

電話番号

E-mail

**【送付先】 FAX : 082-255-5601 Eメール : morisima@cecnet.co.jp**



## 2.1.2 開催概要

開催日時：平成28年11月3日（木・祝） 19:00～20:45

会場：西区民文化センター（広島市西区）

パネリスト：森江 信行 競輪選手（一社）日本競輪選手会広島支部支部長代行  
山口 剛 ボートレーサー（公社）日本モーターボート選手会広島支部  
吉松 憲治 オートレーサー（一社）全日本オートレース選手会山陽支部支部長  
山内 塊太 広島競輪場 日本写真判定(株)広島事業所事業長  
鈴木 準市 ボートレース宮島 宮島競艇施行組合 事業局長  
松浦 博 山陽オートレース場 日本写真判定(株)山陽事業所主任

コーディネータ：森島 誠司（建設コンサルタンツ協会）

第1部 話題提供：知ってる？公営競技（世界と日本の公営競技）

第2部 パネルディスカッション ～地域と公営競技を結ぶには～

第1部では、話題提供として世界と日本の公営競技について建設コンサルタンツ協会メンバーから発表を行った。公営競技の歴史や開催地、客層、協議環境、運営状況や閉鎖後の状況等について、日本国内と世界を比較し紹介した。

第2部では、「地域と公営競技を結ぶには」と題して、パネリストによる熱いトークが展開された。競技の魅力やにぎわい創出の工夫、地域に根差した活動の紹介等、有意義なお話を聞かせていただき、地域の中での公営競技のあり方や、今後の地域活性化に向けた公営競技の役割について深く考えさせられた「まちトーク2016」となった。



会場の西区民文化センター（広島市西区）



### 2.1.3 開催結果

「公営競技とまちづくり まちトーク2016」には78名の参加があった。以下に内容を掲載する。

#### 第1部 話題提供：知ってる？公営競技（世界と日本の公営競技）

##### ■森島（建設コンサルタンツ協会地域計画委員長）

皆さん、こんばんは。本日は沢山のイベントが開催されるなかで、一般社団法人建設コンサルタンツ協会「まちトーク 公営競技とまちづくり」にご来場いただきまして誠にありがとうございます。

建設コンサルタンツ協会中国支部地域計画委員長をしております、森島と申します。本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

私も建設コンサルタンツ協会ですが、あまり聞きなれないと思います。公共インフラの調査・計画・設計などを生業としている企業を建設コンサルタントといいます。具体的に例示しますと、皆様の身近な道路・橋梁や河川、空港、港湾、鉄道などの社会基盤の計画や設計、あるいは都市計画・まちづくりといった専門的な技術企業の集まりとなっております。

このまちトークですが、我々はこの15年間程、毎年このようなフォーラムを開催しています。これまでユニバーサルデザイン、自転車のまちづくり、公共交通の活用、今年の1月「にはスポーツとまちづくり」と言うことで、サンフレッチェ広島・織田社長、広島ドラゴンフライズ・岸房社長、ヴィクトワール広島・堀アシスタント、アンジュヴィオレ広島・神村理事、広島経済大学陸上部尾方監督に出演いただきましてプロスポーツやトップアスリートがまちづくりにどう貢献できるかというフォーラムを実施させていただきました。

今回は、「公営競技とまちづくり」ということで、我々もさまざまな公共計画に携わるなかで、益田競馬場が無くなり、最近では福山の競馬場も廃止となるという現状となり、今後、公営競技というのが地域の中でどんどん消えていくのではなくて、地域の宝としてどのように輝いていく手段や手法があるんだろうか、ということをお我々なりに考えてみたいということで、今日は、普段なかなか一同に集まっていたことが難しい三競技の方々にお集まりいただきまして様々な形でトークをしていただいて、それを皆様に聞いていただくという企画でございます。

「まちトーク」と名付けているのは、シンポジウムとか講演会といった、一方通行ではなく、それぞれの世界で様々な経験をされている素晴らしい方々に登壇頂くので、パネラー同士の会話・トーク、この場でしかない、その瞬間ならではのトークを会場みなさんに聞いていただき、持ち帰っていただきたい。という趣旨でまちトークとしております。会場の皆さんにも質問コーナーの時間を設けていますので、ぜひ、この6名のパネラーの方に質問等をどんどんしていただければと思います。では、本日はどうぞよろしくお願ひいたします。

では、我々、建設コンサルタンツ協会からきっかけづくりの話題提供ということで、少し公営競技についてスライドをまとめておりますので、委員会メンバーの日向より、10分ほどプレゼンテーションさせていただきます。どうぞお聞きください。



## ■日向（建設コンサルタンツ協会地域計画委員）

皆さん、こんにちは。今日は「知ってる？公営競技（世界と日本の公営競技）」という題目で話題提供といたしまして、建設コンサルタンツ協会各メンバーにより公営競技について情報を調べさせていただきましたので、その内容を簡単に紹介させていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

まず、内容といたしまして公営競技とはということから始まりまして、公営競技の歴史・世界と日本での開催地・客層・競技環境・閉鎖後の状況ですとか自治体における位置づけ・公営競技を取り巻く課題・広報活動・各団体の新しい取り組みなどこのような 10 個の項目に分けさせていただきまして簡単に説明をさせていただきます。

まず、公営競技とは何かということですが、法律によって特殊法人や地方公共団体による施行が許可された賭け事ということになっておりまして、公営競技や公営賭博などと言われております。日本の公営競技の種類といたしましては、競馬や競輪・ボートレース・オートレースのこのような 4 つの公営競技が行われており、それぞれが競馬法ですとかモーターボート競走法などの法律で規制されているという状況になっております。

またその公営競技ですけれども収入とかの仕組みを説明するとパリミチュエル方式という方式を採用されておりまして、施行業者さんによって上下がありますが概ね 70%以上の売り上げが配当金というような形になります。そこから選手への賞金や人件費などが出されて残ったところで、主催団体への財源へ回るといような仕組みになっております。

つづいて、公営競技の日本における歴史をふりかってみますと、まず 1860 年に横浜の外国人居留地で初めて近代競馬が実施されております。そこから年数が空きまして 1948 年に福岡県の小倉市、今の北九州市で初めて競輪が開催されました。その後 1950 年にオートレース、1952 年にボートレースが開催されたというような歴史になっております。

ここで、目線を日本から飛び出して世界の方に向けていくと競馬というのは世界で 100 か国以上の国で開催されています。ただですね、競馬は世界中で開催されていますが、ジョッキークラブですとか競馬公社による開催、あるいは馬券発行を伴わない開催なので公営競技ではないものがほとんどになっているという状況になっております。その他ですね、競輪やボートレースについては日本や韓国のみ、闘牛については韓国のみ、また日本のみの競技としてはオートレースがあるという風な状況になっております。

有名なところだと、たとえば公営賭博ではない世界の競馬場ではハッピーバレー競馬場、香港のものですとか、サンモリッツ競馬場などがあります。また、公営賭博と聞くと多くの皆さんカジノのようなものをイメージされると思いますが、有名なところではモナコのモンテカルロカジノ場などカジノは世界の 120 か国以上で開催されている、というような状況になっています。

ここで再度目線を日本の方に戻して説明します。ここでは競技ごとの開催地を集計したような調査データになっております。競馬につきましては中央競馬が 10 か所、地方競馬が 15 か所の合計 25 か所あり、概ね 1.9 都道府県に 1 か所ぐらいの割合で日本に分布しているという状況です。先程、森島の方から説明がありましたが、2013 年まで中国地方でも福山競馬、2002 年までは益田競馬がありましたが、それぞれ廃止になったことから現在は中国地方に競馬場はないという状況になっています。



つづいて、競輪場を見てみると、競輪場は全国で43か所なので1.1都道府県に一か所ぐらいの割合になっており、公営競技の中ではもっとも競技場の数が多いという風な状況になっております。中国地方には玉野競輪、広島競輪、防府競輪の3つの会場が整備されているという風な状況です。

つづいて、ボートレース場を見てみますとこちらが全国で24会場整備されており概ね2都道府県に一か所の割合になっています。また面白いのが関東よりも西側の地域のみで開催されているという風な状況になっております。中国地方ではボートレース児島、ボートレース宮島、ボートレース徳山、ボートレース下関の計4か所が整備されている。そのうち2か所は山口県に分布しているというような状況になっています。

つづいてはオートレース場ですが、こちらは全国で5か所整備されておりまして公営競技の中ではもっとも競技場の数が少ないという風になっております。その5か所のうち中国地方には山陽オートが整備されているという風な状況になっております。

これら4種類の競技の分布状況を全て重ねてみると、全国的に見ると数の割合からいうと0.5都道府県に1か所つまり1都道府県あたりにだいたい2か所ぐらいの公営競技の会場が整備されているという風な状況になっております。

もっとも数が多いのが7か所、都道府県に7か所整備されているのが東京都と愛知県と福岡県になっております。

全国で見ますと、公営競技が整備されていない都道府県が10箇所ありますが、そのうち2つが中国地方の島根県と鳥取県になっているという状況になっています。

また、中国地方で見るとボートレース児島や玉野競輪など岡山県に2か所、山口県に公営競技が4会場整備されており、中合区地方の中では山口県がもっとも盛んに競技が行われているというような状況になっているとわかりました。

ここでさらに、詳細な公営競技の分布状況として、ここでは用途地域別の施設立地状況を確認します。用途地域というのがまちのある土地の使い方を制限するような制度になっておりまして、たとえば第一種低層住居専用地域とかいうのが住宅しか建てられないような土地利用制限をしているというような仕組みです。それぞれの土地利用ごとに公営競技の会場数がどれぐらい立地しているのかを見てみると、一般的には準工場地域や商業地域などへ立地しているところが多い状況ですが、一方で第二種住居地域が11か所ですとか第一種住居地域が8か所ですとか、こういう住宅地として利用される土地に公営競技場が配置されていて、意外と身近なところに立地しているという風な面白いデータが出てまいりました。

特に、競技会場の多い競輪などを見てみると、第一種低層住居専用地域をはじめとして住居として利用される土地の中に競技場が配置されている傾向があるというようなことがわかりました。

こちらが、そのデータを地図に起こしているものですが、左上の広島競輪を見てみると準工業地域、ボートレース宮島を見てみると商業地域、山陽オートの分布を見ると用途地域の外側に整備されているというような状況ですが、一方で豊橋競輪などを見てみると第一種中高層住居専用地域、住居専用地域の中に競技場が整備されていて周りに住宅地が張り付いているというようなデータが見てとれました。

そうした関係からなのかもしれませんが、会場にいらっしゃる方のデータを見てみると競輪というのは会場から10キロ圏内に住んでいる住民の来訪者が約6割程度占めている、地元に着してえる



という言い方が正しいかあるんですけどもそのようなデータが出ております。

また、競馬については投票券で購入方法の割合等調べておりまして、概ね 4 割ぐらいの方が場内で利用されている、場内で馬券等を購入されているというようなデータが出てまいりました。

つづいて、各競技場の来場者の性別を見てみると、競馬については男女比が概ね 6 : 4 の割合であるのに対し、それ以外の競技については概ね 80%~90%ぐらいの方が男性であるというようなデータが出てまいりました。また、年齢層を見てみると競馬につきましては 20 代から 30 代で全体の 6 割程度占めており公営競技の中では最も年齢層が低いという状況がわかりました。

つづいて、競輪の来場者のうち 8 割以上が 50 歳代以上となっており、こちらについては公営競技の中でもっとも年齢層が高いというようなデータになりました。

つづいて、各会場の競技環境を見ていくと上から中央競馬、地方競馬、競輪、ボートレース、オートレースとあるが各会場それぞれ基本的には駐車場などが整備されていたりとか、最寄り駅からちょっと遠いところについては送迎用のバスとかタクシーとか無料の高速艇などが整備されているというような状況もわかりました。

つづいては、競技会場が閉鎖された時にどう土地の活用がされているのかを調べたものです。上の写真が福山競馬場で、下の写真が益田競馬場です。跡地もかなり広大なものになっており、福山競馬場については跡地利活用計画などが作成されており、例えば学生参加の建築コンペをおこなって交番を整備したり、将来的に公園を整備する計画があります。益田競馬場につきましては、場外発売所や西部高等技術学校を整備するなど多彩な利用がされていることがわかりました。

つづいて、自治体における位置づけということで見てみるとまちづくりの最上位計画となる総合計画というものがありますが、総合計画に公営競技場の記載があるものは門別競馬場と山陽オートの 2 か所のみとなっていることがわかりました。また、各自治体のホームページなどをチェックしてみるとなかなかホームページに公営競技の情報が載ってないというような結果も出てまいりました。

ここまでの話をまとめてみますと、公営競技についてメリットや目的というところでは地域経済の振興ですとか関連産業の振興、社会福祉事業の振興、スポーツ振興、また住民の方の娯楽であるという風なメリットがありますが、現状としては売り上げが減少している、ファン層の固定化や高齢化、あとは平日は仕事をされている方がほとんどですので、土日にたまにしか来られないようなホワイトカラー層の方の増加というような現状があります。

そこから導きだされる課題としましては開催経費の削減、新規顧客の開拓、広報戦略の推進、遊戯スペースの開設などのイメージ向上等をしていく必要があるという風なまとめを行っております。

そうした中で、どのような広報活動が行われているかということ調べてみると皆さんこちらの CM とかご存じだと思いますが、業界全体における利用者の減少が続く中で新規顧客の獲得に向けてイメージ向上や競技場の臨場感や楽しさをアピールする CM などが頻繁に放送されております。

またホームページ上では興味を持ってホームページを見にきた方に対して、未体験者等を取り込むために初心者向けのコーナー、観戦や購入方法など説明しているページが準備されているとなっております。その他イベント開催するなど誰もが来訪したくなるような機会づくりに注力されているような状況です。

えまた、最後に各団体の新しい取り組みで、例えば中央競馬などにつきましては 2015 年の 9 月 9 日競馬法施行令などが改正されたことにより国外、たとえばフランスの凱旋門賞などの馬券が日本でも



買えるようになったり、ボートレースなどにつきましてはボートレース江戸川などでは屋形船に乗りながら観戦ができたりとか、ボートやゴムボートへの試乗会など開催しています。こういう新しい取り組みを行いながら新規顧客を開拓していくというような状況が見て取れました。

簡単にはなりますが、以上で話題提供ということで説明を終わらせていただきます。ありがとうございました。



話題提供の様子





## 第2部 パネルディスカッション ～地域と公営競技を結ぶには～

### ■森島

ありがとうございました。今の説明は世の中に一般的に公開されているデータを集めて、整理してご紹介しただけですが、現在の公営競技のおかれた状況や、それぞれの競技が行われている様子を見て頂けたのではないかと思います。それでは、パネラーの皆さんを紹介したいと思います。

日本競輪選手会広島支部支部長代行の森江選手です。広島競輪場から山内様。ボートレース宮島から山口選手、同じくボートレース宮島から鈴木様です。オートレースの方から吉松選手です。最後に山陽オートレース場から松浦さんです。本日この6名の方々とトークしていきたいと思いますので、どうぞ皆さんよろしくお願いします。それでは最初に各競技施行者様から各競技の概要説明をして頂きます。

### ■山内（広島競輪事業長）

広島競輪場から参りました日本写真判定株式会社の山内と申します。よろしくお願ひいたします。私どもは平成 27 年度から広島市から運営を委託されて業務をしております。

着席して説明を行わせていただきます。まず弊社が本業務においてコンセプトとしている部分からお話ししたいと思います。まず広島競輪場のイメージを転換していくということをテーマにしております。従来のギャンブル場というイメージから脱却して、お子様からお年寄りまでが誰もが気楽に立ち寄れる場所、そのような場所へ競輪場をしていきたいという思いで日々業務にあたっております。自転車をテーマにした公園、サイクルパークというコンセプトでプレゼンを行いまして、27 年度からの受諾をしました。そしてサイクルパーク化することによって地域への貢献、そしてサイクルスポーツの拠点にということを取り組んでおります。まずはお客様にご来場して頂きやすくするためにイメージアップとしましてロゴマーク、マスコットの方を一新致しました。着ぐるみなどの方はお子様にも好評で、いろいろな所で PR 活動を行っております。次にお子様にご来場されるということになれば当然重要なこととなりますので、場内の分煙化の方を行いました。そして目玉となるような企画としまして、競輪場の東側のスペースにコンテナハウスという建物を建てました。このエリアをファミリー向けのエリアとして現在運用を行っております。まずはコンテナハウスの中がこのような形になっております。お子様向けのグルメやレディースルーム、あとはサイクリストが楽しめるような最寄りのサイクリングコースなどをご紹介するインフォメーションコーナー。そしていろいろな企画が楽しめるようなフリースペースを設けております。そしてですね、コンテナハウス周辺にはサイクルパークということで、お子様には人気のフワフワやバーチャル自転車ゲーム、そしてキックバイクのコースなどを設置しております。これらはすべて無料でご利用いただけます。キックバイクコーナーに関しましてはヘルメットやキックバイクの方も無償で貸出の方、行っております。そしてこちらが現在人気なんです、選手会様にご協力いただきまして競輪選手が教えてくれる補助輪はずし教室。こちらの方を 27 年度から継続して行っております。こちら親御さんにも大変好評です。こちらの方が平成 27 年度の利用者数のデータになります。平成 27 年度はコンテナハウス設置の工事ため3か月程休止をしましたが、合計で約 7000 人近くのファミリーがご利用いただけました。平均利用者数としましては土日祝で 70 名の利用者数となっております。そして競輪場のメインでもありますバンクの利用ですね。バンクを有効活用しようということで、一般市民の方々に開放してサイクルクラブというものを設立しました。こちらのほうはですね、こちらの選手会様のご指導などもありまして結構現在ではレベルが高くなっております。現在登録され



ている方が約 130 名ですね。ときには郊外に出て江田島でサイクリングなどそのようなことも行っております。そして本年からは高校生の強化練習というものを行っております。その中のクラブ員の中からはインターハイでの上位入賞者もでておまして、地域のスポーツ振興に役立っております。そのほかに、ファミリー層にとにかく楽しんで競輪場に親しんでいただきたいということで、バンクを利用したサイクルフェスタというイベントを企画しましてフリー走行などを行っていただいたり、バンク改修前にはバンクにお絵かきをして遊ぶというような企画などを行いました。ランニングバイク大会であったり、近隣の住民の方をご招待して夏祭りなどを開催しております。そのほかに地域貢献としまして地域の清掃活動をスタッフで行っております。最近では定着してきており近隣の方々からも、いつもお疲れ様と声をかけていただけるようになってまいりました。そして競輪場は避難場所としても登録されておまして、避難拠点としての備えも充実させようということで弊社が企画しましてから 200 人分 3 日間の非常食・水の備蓄をはじめました。先日の熊本地震の折には選手会様のご協力のもと熊本の方にこのなかから 100 名分を現地に支援物資として届けることを行いました。またですね、もしもそのようなことがあった時対応できるよう競輪場で働くスタッフや関係者を対象に年に一度の広島市の消防局による救命講習会を開催しております。このようなことで地域のために競輪場が貢献できることをどんどん行っていこうと取り組んでおります。時間がそんなにないので駆け足になってしまいましたが、本年 12 月 22 日から 25 日に広島競輪場では一番大きな開催となります 64 周年記念広島ピースカップが実施されます。この際には年に一度のお祭りなので多くのイベントの方実施しようと思っておりますので、皆様どうぞご来場いただけますようよろしくお願いいたします。ちょっと短かったかもしれませんがご清聴ありがとうございました。

#### ■鈴木（宮島競艇施行組合事業局長）

ボートレース宮島の鈴木と申します。どうぞよろしくお願いいたします。ボートレース宮島でございますが、広島県廿日市市にございます。日本三景安芸の宮島の対岸に位置します。世界遺産厳島神社や朱の大鳥居が望むことができます。全国 24 ボートレース場のなかでも屈指の景観で風光明媚な所を売りとしているボートレース場でございます。昭和 29 年の 11 月 1 日にレースを初開催してから 62 年を経過しております。その間地域と密着し、これまで約一千百億円の収益配分を構成の団体に行ってまいりました。しかしながらこれも平成 11 年度を最後に最近では収益配分ができておらない状況で、ついには赤字の方に転落をしてしまいましたが、平成 26 年度に施設のダウンサウジングということもふくめまして西スタンドを解体し、その場所に外向発売所のパルボート宮島を建設しました。その年度には施設改善のため休催をしておりましたボートレース鳴門の代替レースを開催するなど、これを契機に飛躍的に売り上げの方も伸びてきてまして 27 年度にはついに全ての赤字を解消し、黒字に転換をすることができました。これからも地域の皆さんのお役にたてるよう頑張っていきたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。施設の紹介の方は映像で行わせていただきます。それでは V T R をご覧ください。

（映像紹介 V T R）



## ■松浦（山陽オートレース場 広報担当）

今日はお招きいただきありがとうございます。

山口県の下関市の隣、山陽小野田市にレース場があるので、ここにいらっしゃるほとんどの方はオートレースをご存じないかと思ひまして、まずオートレースをさわりだけ説明させていただきます。

オートレースというのは、選手が自ら作り上げた競争車というもの、これがバイクの様でバイクじゃないという。ハンドルの傾きとか、ブレーキがなかったりとか。全て選手の個人所有で、選手がエンジンの整備からセッティングまで全て行って一周 500m のオーバルのコースを8人で基本的に6周回する競技です。

他の競技と圧倒的に違う点は、スタートでハンデがつけられているんですね。腕のある選手が後ろから行って、追い抜いて行くようなゲームを想像していただければと思います。これがオートレースです。

全国にオートレース場が今現在5場あります。青色の所が発売所という、レースはしないけど車券が買える所で、今競輪さんのところにどんどんオートレースの発売所が出来ていっている状態で、これが毎年すごい勢いで増えていて、全国に今22箇所。今日も1つオートレース阪神というのがオープンしましたけど、こういう状況でお客様に買っていただいていると。山陽オートレース場に関しましては、今年で51年目になります。年間の開催日が48日しかありません。レースをやると、1日平均1,512人で、一番多い時で3,400~3,500人の来場が見込まれます。

山陽オートレース場は2007年から山陽小野田市様から民間の業者に運営を委託して、これを包括的民間委託と言いますが、運営を行っております。2007年から2014年までが日本トーターという所がやっておられたんですが、2014年の3月から撤退されまして、その後弊社が運営させて頂いているという現状です。

トーターさんが撤退されたということで、自分は運営をやったり、企画・運営の部分に携わっているのですが、トーターさんと同じことをやっていると、これまた弊社も二の舞になって撤退することになることが容易に想像できる現状がありましたので、まずレース場と地域の関わり方から見直さなきゃいけないということで、この3年間やってまいりました。地域における山陽オートレース場の存在意義をもう1回見直して、施設が地域の方々から財産として受け取ってもらえるような運営をしようということで。そのためには、山陽小野田市さんの中の意識とか、もちろん弊社も含めて、意識改革を行う必要がありましたので、2014年の5月16日に山陽小野田市役所の市長様以下100名の職員方に出席いただいて、レース場という価値についてもう一度皆さんで考えていただく機会を作りました。その中で自分は、圧倒的にこの広島市とは環境が山陽小野田市と違いますので、広大な施設で駐車場も完備しているという施設が山陽小野田市の中に何個ありますか、という問いを投げかけて、実は無いですよ。ですから、この山陽オートレース場を今の税金とかから考えると新しい施設を作るんじゃなくて、今あるレース場をより活用していくことが地域にとって財産として存在できることじゃないですか、ということで、生意気ながらプレゼンテーションさせていただきました。

その結果、いろいろ市の方の意識も変わりましたし、色んな方が声をかけてくれて、施設の在り方が変わりました。向かって左側の小さい絵なんですけど、これは年に3回、実は明日もあるんですけど、近隣の幼稚園の子どもたちが合同で遠足でレース場に来てくれます。その下、サッカーをしていますけど、地元レノファ山口FCさんというチームがJ2で今年から戦っていますけど、そのJ2さんとコラボしてサッカー教室をレース場内で行ったり。あと、地元の植生地区の年に1回のマラソン大会を廣大



な走路を使ってメイン会場にさせていただくようになりました。これも全て山陽小野田市さんに対してプレゼンテーションさせてもらってから話しが色々うまく行きました、年間 48 日しかレースで使ってないですけど、それ以外の所でこのような活用をさせていただいております。

今年はオリンピックイヤーで、パラリンピックもリオデジャネイロであったんですけども、そこに出場したパラサイクリングという自転車部門の日本代表候補の合宿も 2 回行ってあります。この中から、右の方の小さい写真、藤田選手、その下のタンデムの鹿沼選手、田中選手が見事銀メダルを獲得しまして、今度の 11 月 23 日にメダル報告会ということで藤田選手がレース場に来てくれるということで、オートレース以外にも色々な活用を見いださせていただいて、使っているという現状です。

山陽オートレース場所所属のオートレーサーというのが 68 名おりまして、今までは単にレースを色々な所で転戦して、賞金を稼いでレースをしてもらっていたんですけど、実は選手も山陽小野田市にとって貴重な財産でありますので、全日本トップの方で活躍する選手もいますので、山陽小野田市の子どもさん、主に小中学生の皆さんに話させていただくことが 1 つの地元の財産・レース場の財産として扱っていただけることになるんじゃないかと思ひまして、選手の講演会を行っております。これは子ども教育推進事業という市の事業の内の 1 つで、色々な提案がある中で学校側が手を挙げて選んで頂いているんですけど、平成 27 年度は小学校と中学校 1 校ずつやりました。28 年度はさらに 1 校増えて 3 校やる予定です。

レースを通して人生、偉そうですけど、学生の皆さんに人生と一緒に勉強しようということで色々な事、レースで走っているだけじゃなくて、レーサーはレースの中から得ていてそれを人生に活かしているの、そういう風に選手にも協力頂いてこういう風に授業を年に 3 回行ってあります。

レース場と地域との関係を何処を目指すかという所で山陽小野田市さんと弊社で色々話しをするんですけど、山陽オートレース場によるまちづくりを目指そうということで、先ほども紹介にもあったんですけど、ホームページで色々レース場の事を紹介してくれたりとか、色々な関わり合いを地域と持ちながら、レース場を中心にまちづくりをしませんか、ということで今山陽オートレース場は運営をしております。以上です。ご静聴ありがとうございました。

#### ■森島

松浦さんありがとうございました。それではここからはトークセッションということで机の配置をかえさせていただきますので、少々お時間を頂戴したいと思います。

それでは各競技場の状況も皆さんに紹介していただいたということで、せっかく選手の方に来ていただいておりますので、まずは選手の方の自己紹介・競技の魅力という所を含めて各選手の方それぞれにお話しをいただきたいと思ひます。

#### ■森江選手

初めまして。日本競輪選手会広島支部支部長代行の森江と申します。自己紹介といっても私は競輪選手として大した成績は残してないんですが、30 後半から広島競輪場の開催指導員として、また、2 年前から支部長代行として若手の選手の指導、広島競輪場の PR のイベント等を積極的にさせてもらっています。どうか地道ですが 35 年目を迎えてがんばっております。競輪の見所ですが、今日オートレ



ース・競艇の方も来られておりますが、競輪の場合は個人個人の争いではなく、全国地区が色々ありまして、この地区のラインの駆け引きによって勝敗が分かれることが、車券を買われる皆さんにとっては推理をして買うことが一番の面白味かもしれません。

そういう所が競輪の難しい所なので、そこらを考えて今からも競輪をどうぞよろしくをお願いします。

#### ■山口選手

こんばんは。ボートレーサーの山口剛と申します。よろしくをお願いします。僕はボートレーサーとして15年目になるんですが、宮島でデビューして、今はA1級という一番上のクラスで、殆どのレースがSG、GIというグレードレース広島代表として全国のレース場を走らせていただいています。競技の魅力としましては、他の競技に比べて、ボートレースは水上の格闘技と言われていまして、少々の接触は認められています。極論を言えば、他の艇を転かさなければ失格にはならないくらい激しい競技で、1周1コーナーで6艇が一斉に1着を目指して走るときに接触したりすると、ボートは木で出来ているので木の接触音がすごく聞こえるので、僕が一番魅力だと思っているのはそこです。

1周1マークで大方の決着が決まるというのも他の競技と違う所でありまして、ボートレースというのは基本的に前を走る舟を抜く事が難しい競技ですので、スタートして1周1マークでの体制が決まるとそのままゴールすることが多いです。それが僕は魅力だと思っていて、選手側からしてもいきなり全開です。気分も能力も全てをすぐ発揮しないといけないので、やるほうもそこが魅力だと思っますし、見る側、賭ける側からしてもそこが魅力だと思っます。

選手としてできることはとにかく魅力のあるレースを皆さんに提供することだけなので、日々、少しでも良いレースをして皆さんに見に来てもらえるように僕自身は技術の向上に努めているところであります。今日はよろしくをお願いします。

#### ■吉松選手

皆さんこんばんは。山口県から来ました山陽オート選手会支部長の吉松憲治と申します。

自分は平成元年に選手登録され、もう28年になると思います。ちよくちよく怪我もしながら、骨折も10回位繰り返したと思うんですが、落車するたびに皆さん怪我をするような競技です。自分が支部長になりましたのは3年前です。それから松浦さんと知り合って山陽オートを盛り上げていこうという事業に、レースも当然一生懸命取り組んでいますが、レースどころじゃないくらい地域貢献に今は取り組んでいます。一番のオートレースの魅力というのはやはり、最初に松浦さんも説明していただいたと思いますが、まずはハンデがあるということです。成績上位者がハンデを背負い、後ろの方から限られた距離の間に7人、もしくは6人を抜いていくという競技です。当然、接触することも多々あり、落車することもあります。ただ、通常の競技でいえば6周回のレースなんですが、SG競争になると10周走ります。通常の競技で約1分45秒くらいのレースをするんですが、その間、ほぼ選手は呼吸もしていないくらい全力で走っていると思います。とても面白い競技なので、近い所では山口なんですが、今はネット配信もされていると思います。皆さん、どうぞオートレースをぜひ見ていただいて、オートレースの魅力というのを直に目で体感してもらえればと思います。今日はよろしくをお願いします。

#### ■森島



ありがとうございます。せっかく選手の方がいらっしゃるので、引き続き色々聞いてみたいと思います。地元、広島・山口ということで、皆さんにとって、地元で出場するときのメリットというか、逆にヤジが厳しいとか、色々あるのかもしれませんが、地元で出場するということはどういうことなのか、感想というか気持ちをお聞かせ願えればと思います。

#### ■森江

競輪の場合は競輪場によってバンクの癖というものがあまして、仕掛け所が間違ったら、まくれるものもまくれないですし、コースの外をまわったら伸びるコースとか、内側を走ったら伸びるコースとか、癖がすごく色々あります。だから地元で走る場合は、そういうコースを自然に身体で覚えているものですからそういうところで地元では良い着がとれやすいと思います。それと、ヤジにしても、地元の選手に対しては色々と声がかかります。ヤジによっても選手にとっては励みになります。知り合いなんかも来ますし、そういう所で地元はいつもの成績よりは 1.5 倍位良いと私は思っています。

#### ■山口

そうですね。ボートレースというのは先ほど映像にもあったと思うんですが、コースにターンマークが置いてあるだけで、あとはフィールドは海なんです。なのでもちろん潮の干満や、流れがあるので、引き潮だったり、追い潮があるので、そこはアウェイの選手がいきなり来てわかるものじゃないので、やはりデビューしてずっと走っているが故にこの潮だとターンマークをまわりやすい、とかスタートも、フライングスタート方式というものなんです。そのスタートがしやすいとか。あとは西日で水面もキラつくのでこの時間帯、このレースだと見えにくい、とかそういうのがあるのでそういう面ですごく地元というのはアドバンテージがありますので、やっぱりお客さんが入っているのを見れば広島から来られている方がほとんどなので、そういう面でやはり気持ちも入るので地元は有利だと思っています。

#### ■森島

ありがとうございます。競輪もボートも地元は有利ということでしたけど、オートレースの吉松選手の場合、どうでしょう。

#### ■吉松

オートレースも他競技と同じように地元が有利だろうと思います。ただ、オートレースは他の競技とは少し違いますが、晴れの日、雨の日で走路の状況が違ってきます。走路も走路を作っている会社がオートレースには 2 つあるのですが、関東を含めて 5 場レース場がありますが、約 2 分割された走路ができています。なので、走路の状態が雨の降り方、雨の濁いた後でも走路は微妙に毎回毎回走るたびに若干、微妙ですが走る感触が違うので、今現在、地元は有利だと思います。ただ山陽は開催も少ないので、選手もなかなか地元を走ることができません。関東へ行くと川口などは年間 120 日くらい開催していて、地元の開催も多いので、有利不利というのはかなり出るとは思います。自分を含めて山陽オート選手は 1 年中遠征に出ています。地元の開催が少ないので、地元有利だと思うが山陽の選手はかなり厳しい状態で走っていると思います。

**■森島**

ありがとうございました。オートレースの山陽さんは地元開催が少ないということで寂しいところではあると思いますが、私はサッカーのホーム、アウェイをよく見にいらしていますが、場所、会場によって全然盛り上がりというか見に来ている人の状況が違います。選手の皆さんから見て「いつもここは盛り上がる」とか「この地域は熱い」など印象に残る会場があれば教えていただきたいのですが、いかがですか。

**■森江**

私は35年やっていますが、西の会場ではあまり観客はいないのですが、静岡記念に行ったとき、あまりも多くて、走っている私が逆に緊張するくらい太鼓を叩いたり、ファンの方が多いです。実際にグランプリが開催される時も静岡では場外でもすごく入りますし、観客としては静岡が一番盛り上がっていると思っています。

**■森島**

静岡は自転車盛んということもあるのですかね。ありがとうございます。  
山口選手はどうですか。

**■山口**

オートレースも西は長崎から東は東京までありますけど、関西のお客さんは野次がすごくて、転覆をするとレスキューにひきあげられますが、ものすごい野次をいただきますし、逆に関東のファンの方々はそのへんは冷静に見ているなというのがあります。

広島でいうと県民性なのかもわからないですが、お祭り好きなのかなというところがあります。この前も日本シリーズがありましたけど、いつも行ってない人でもそういう時になればチケットを買いたがるかそういうところもあって、昨年宮島もオートレースでの一番大きなグレードのレースでSGというものがありますが、13年ぶりに宮島で開催したときは僕も選手生活15年目でしたが走らせてもらって、「宮島がこんなに沢山の人がかりになるんだ」と思って、それくらい広島の人もああいう大きいレースをするとレース場に足を運んでくれるんだなと思ったので、僕の希望としては毎年SGを局長に引っ張って来ていただいて、どんどん大きいレースを開催してもらいたい。それくらいお客さんの力はすごいなというのはいつも思います。

**■森島**

ありがとうございます。鈴木局長、開催に関してはどうですか。

**■鈴木**

毎年頑張っ取ってこようと思います。山口選手はまだ若いですが、以前は毎日のように1万人くらい来場者がありました。昔のにぎわいをなんとか取り戻したいなと思います。本当にSGはすごいなと私も当日思いました。特に優勝戦の日は久しぶりに5,000人も6,000人も、立ち見のところも何重にもお客さんが連なって、大きな掛け声もかなり飛んでいましたので、久しぶりに本当のオートレース場



だなという雰囲気だった。私も施行者になって長いので、うれしかったです。ぜひ何度も行いたいと思います。

#### ■森島

ありがとうございます。力強い、山口選手、頑張りがいがありますね。

#### ■山口

早くしないと僕も段々と歳をとっていくので、SGで活躍したいので、30代のときにどんどん地元でSGがあれば、先ほどの話にもつながって地元が有利なので。

#### ■森島

ありがとうございます。オートレースの吉松選手、いかがでしょう。

#### ■吉松

今の山口選手の話聞いて、オートレースも広島につくってほしいなと思いました。自分の経験で言うとオートレースは元々僕が入ったときは6場ありました。船橋にもあったが、今年廃場してしまいました。当時は、船橋は盛り上がっていて、お客さんもすごく入っていただいて、すごく盛り上がるレース場だったのですが、やはり川口のレース場がオートレースが一番盛り上がっていると思います。自分たちが入ったときもスタンドからお客さんがあふれるのではないかとくらい入ってもらっていました。なので、僕も個人的には川口で走るのがすごく好きで、川口で走ればやれるのではないかと勝手に想像して走ったりすることもあるくらいでした。ただ、今支部長をするようになって、地元で多くのファンの皆さんを呼んでいただくように皆さんに協力してもらっていますが、確かに地元で多く入ったときに、ファンの皆さんの声援が多いと、若い時はそんな気持ちで川口を走っていましたが、50歳近くになると、地元でファンの皆さんに支えてもらっていると、気持ちがすごく高揚します。

#### ■森島

ありがとうございます。特に吉松選手は松浦さんの影響もあるのかもしれませんが、地域貢献の話を熱くされています。逆に山陽オートさんの方から最近地域の交流とか活動で取り組まれている施行者さんとしてもそうですが、選手として出かけられている場面で、最近印象に残っているというか、出かけてよかったなと思っている、逆に自分の力になったとか新しい発見があったなという地域との交流や行事があれば教えてください。

#### ■松浦

自分は広報担当になってイベントを組むにあたって、ほとんど支部長とか役員の方と話す機会が多くて、むしろコミュニケーションをとってどういう方法で地域にオートレースを売り出していこうかということで、開催中も宿舎にお邪魔して話し込むという中でいろいろなアイデアが出てきて実践してはすぐやめてという、とにかく自分たちはベンチャーなのでいろんなことにチャレンジしています。地域に出るようになる地域の大祭から「山陽オートさん、来てくれませんか」という声をいただ





くようになって、「オートレースシュミレーター」というバーチャルゲームがあるのですが、それを持って大きいトラックで美祢まで出かけて行きました。美祢はレース場から20~30km離れていますが、人が来てくれました。一番うれしかったのは、高校の野球部らしきの少年が颯爽と現れてゲームをしてくれましたが、吉松選手より良いタイムを出しました。「あなたは何者ですか」と問いかけたら、「実はオートレースが好きでSNSのフェイスブックやツイッターを見ているんです。将来オートレーサーになりたいのですが、未成年なのでレース場に行くことができないから祭りに来てくれてありがとうございます。僕は応援しています。」と言われました。触れ合う機会を、その支部長にはしんどい思いをしてもらっていますが、多く創出することによって地域にまだ自分たちを目指してくれる人があるんだという発見があることが一番うれしいことです。

#### ■吉松

確かにここ何年かで宇部や山陽小野田市民祭り、美祢ランタン祭りなどまちのお祭りに出かけて行っていますが、普段レース場に来られない方でも、オートレースをちょっと知っている方が来られたら「あなたは選手ですか」と来られて、「選手やってます」と答えるととりあえず握手を求められるおばさん方も結構多いです。そういう風に求められる方が次回レース場に握手をすることで来てもらえるのであればすごくうれしいと思っていますし、実際に来てもらえた方もいます。そういう場所を大事にしながら、オートレースを知ってもらえてない方にどんどんオートレースを伝えていくことを頑張っている中でも、応えてくれればすごくうれしいと思いながら行っています。

#### ■森島

ありがとうございます。隣の宮島の場合は目の前に観光客が何百万も通る環境ではありますが、地域の関わりといったところはどのような現状があるのでしょうか。

#### ■鈴木

地域のつながりというのは山陽オートさんのようにグラウンドではなく、海で泳ぐわけにもいかないので、なかなかそういう機会が持てません。ただ、先ほど映像でもあったように地区の敬老会にイベントホールを開放したり、ペアポートで実際に選手と触れ合ったりといった機会は設けています。

#### ■森島

聞いていると、選手の方とファンとの距離がだいぶ縮まるというか、すごく地域の方と触れ合える機会が多いように見受けられますが、これは最近のことなのでしょうか。やはり賭け事の世界なので、制約があるようにも思われるのですが、その点は、特に今は規制はきつくはないのですか。各レースでファンとの接し方のルールは違うのですか。

#### ■松浦

もちろんギャンブルなので、お客さんと一緒に予想したり、券を買ったりすることはまずあるまじき行為です。そこは念頭に置いて、選手会とも意識共有しながら、一方では血の通った人間で、レーサーとして日々精進して戦っているアスリートでもあるわけです。アスリートとしての側面を皆さんに知っ



ていただきながらということで、気をつけていることはそこくらいだと思います。そうすると僕はオートレースに関わって3年なのですが、アスリートとして売り出すことで野次の内容は変わってきた気がします。単なるギャンブルの駒ではなく、そのへんは考えて売り出しています。距離は間違いなく近くなったと思います。

#### ■山口

ボートレースは、僕はまだ15年くらいですけど、出てきた時と比べてもファンの方との距離はすごく近くなった感じがしています。例えば宮島であれば「お出迎えサービス」といって、開場するのが10時20分くらいなのですが、そのときに入口に選手が並んでファンの方と握手をしたり、何か粗品をプレゼントしたりとか、いろいろファンの方の前に出ることが増えました。賭け事ではあるので、選手側からすると何か怒られないかなとか、賭けた方の勝ち負けがあるので、そういう野次も昔はよく言われていましたが、最近は変わってきているなと感じるところは確かにあります。

#### ■森江

私の場合、昔はほとんどファンと接する場面はなかったのですが、日本写真判定さんになられて、先ほど説明した補助輪教室などで2時間くらい教えるのですが、一生懸命教えると親御さんがすごく喜ばれて、先日はお手紙と品物を贈ってもらって選手も喜んでいましたし、そういうことが一番大事なかなと思います。競輪場が宇品にあるということを知ってもらうことが一番大事なことだと思っています。去年カーブの選手が2人ほど記念のときに来られましたが、私の息子の友達の親御さんに「競輪場はどこにあるのですか」と聞かれます。ほとんどの人が競輪場のある場所すら知らない状況です。競輪場がここにあるということを知ってもらうために、いろんなイベントを、今は日本写真判定さんが東の方でふわふわドームとかストライダーを盛んにしてもらっていますが、そういうことをしてもらったら地域住民の方にも競輪場があることがわかるので、積極的にやっていきたいと思っています。

#### ■森島

ありがとうございます。広島競輪さんも最近子供向けのいろんな施設も整備されて、私も子供を連れて行ったり、それとバンクの実体験などいろんな取組みをされています。そのへんの新しいことは何かありますか。

#### ■山内

先ほど森江代行からもありましたが、広島競輪場の所在地を知らないということが多いので、できるだけ多くの人に競輪場を知ってもらうためにいろいろ催しをしています。お子様が来れば保護者もついて来るし、女性の方が来てくれれば男性もついて来ます。新規顧客の獲得という面でそちらに力を入れています。

#### ■森島

ありがとうございます。今、子ども向けの色んな行事もあれば施設も出来ている所ではあるんですけど、やはり地元、立地している地域、地元からどう見られているかという所もあるかと思うんですね。



私は広島競輪さんと近い所において、宇品の地域の方々とか町内会長さんだとか、会うこともあるんですけど、昔の話だと酔っ払いが多いとか、ゴミが増えるとか、そういうマイナス面で公営競技の施設を、宮島でいえば昔はよく渋滞で、レースがあるときは渋滞するから困るという地域の方もあったと思うんですけど、そういった所はだいぶクリアされてるんでしょうけど、そういったところ、どういう風に地元と付き合ったらいいとか、地元の方に受け入れてもらうために、いろんな努力されてると思うんですけども、今現状でどういう状況でどういうことを特に注意されているというところを、話せる範囲で、教えて頂けますか。

#### ■山内

やはり、元々は今よりもっとたくさんのお客様がご来場頂いていたというのもあるんですけど、やはりギャンブル場である、迷惑施設である、というイメージはやはり、根強いものがあると思います。そのイメージを変えるために、ということで色々ロゴデザインを変えたりとかそういうことに取り組んでいます。まずは、足元からということで、ゴミが多いって言われるんだしたら、私達が、ゴミ拾いをして歩く、で、みなさんに迷惑かけてますけど、スタッフでゴミ拾いしてまわるんでこらえて下さいというような形であったり、あとは、本日のスライドでも紹介したんですけど、地元の町内会様向けに、イベントの実施ですね。町内の方に来てくださいと、それに来て下さったらコインをプレゼントします、そのコインで縁日で遊べます、とか。というような、本当、地域の方があつ、ちょっと近くで遊びに行こうかなって思ってくれるような催しを、色々やっていければ、と思って取り組んでいます。あと、渋滞なんかに関しましても、現在公共交通機関でご来場いただくと、スタンプをためてもらって、それでキャッシュバックをして、なるべく公共交通機関で来てください、というようなキャンペーンの方も実施しております。

#### ■森島

ありがとうございます。その辺で、地元の意識が変わってきたなあみたいなお手ごたえというか、実感なんかはありますか。

#### ■山内

ゴミ拾いなんかをしている時は、あ、いつもお兄ちゃんご苦労さん、とか声かけていただいたりとか、そういううれしい変化はあります。

#### ■鈴木

あの、以前はですね、先ほどお話にありましたように、渋滞とかですね、駐車場に入りきらないぐらいの来場者があった時代もあって、付近の道路への違法駐車ということで、かなり苦情も入ってたんですけど、この苦情がない事が本当は良い事ではないのかもしれない、来場者がもうちょっと、少ない、ということで最近ではそういうクレームも無くなりました。ゴミ拾いなんかも、年回4回ぐらい我々も、ゴミだけではなくて周辺の草刈りとか、観光客の方も多く通られるので、そういう活動はしております。で、地域、特に近隣の町内会には今、大変ご理解いただいております、とくに苦情がくるようなことはほとんどもう、無くなりました。

**■森島**

宮島は観光客が日本人、外国人含めて多いですけど、外国人の方が入場して、ボートレースを見られるというのは、とくに宮島は欧米の方の観光客が非常に多いわけですが、そういった姿が多くなったということはありますか。

**■鈴木**

残念ながら、会場に入られても、珍しい、物珍しさで入られて、1レースちょっと写真を撮られたりして、舟券のほうは買わずにそのまま退場されるという方が、ちらほらとは見かけることはありますが、ほとんど、場内で外国の方を見かけるということはありません。特に観光に来られた方、まず立ち寄って頂くということが残念ながらできておりません。

**■森島**

ではまだまだ、外国人の来場者が増えるチャンスがあるということですね。

**■鈴木**

そうですね、業界の方も観光客だけでなく、在日の外国人を含めた色々な施策を展開されてますので、なんとか、そういう方が獲得できればですね、もっともっと売上也向上していくのかな、と考えております。

**■松浦**

先ほど事業局長がおっしゃられたように、近隣の方からの苦情というのが、無いっていうのが、お客さんからのクレームはやっぱり券買うからあるんですけど、近隣住民ってことに関して言えば、今の所は目立ったものはない、という所は僕もちょっとそれはさみしいことじゃないかなという風に感じています。地域住民との関わり方について、山陽オートではですね、なるだけ、レース場を活用してもらおうということで、レース場からですね、1kmも離れてないところに、道の駅みたいな、ふれあい市場っていうのがあるんですけど、週3日新鮮野菜を出して、僕がその存在を知って見に行ったらけっこうな勢いでさびれてるって言い方失礼ですけど、そこも元気がなかったんですね。で、うちのレース場で開催すれば、土曜日であればだいたい1,800人とかお越しになるので、土曜日の日に土曜日開きませんかということで、ちょっとお声かけして、レース場に野菜いっぱい持ってきてもらって、農家のおばあちゃん達に売ってもらうという企画を一回やったんですね。レース場に来る人って小銭持ってるんですけど、130円とかってちょっと手間なんで、100円にしてくださいとお願いして、したところですね、やってくださって、それがよほどwinwinな関係になってですね、もう声をかけずでも、今はもう土曜日で、うちのレース場がレースしてる時であれば野菜を持ってきてくれて、販売してくれるようになったんですよ。この前、今野菜が高いじゃないですか、すごく。この9月10月11月と続けて土曜日開催があるんですけど、この前の10月の時心配しまして、野菜が今回、高いしあるのかなと思ったら、その中でもやっぱりレース場で売りたいって言って持ってきてくれるんですよ。前回は開場して15分で、すごい量の野菜が売切れまして、そんなこと初めてだったんで、その後農家の人達



どうするのかなぁと思って見ていたら、帰らずに投票所に券買いに行ったんですよ。ちょっと感動しまして、自分で。こんなに理解のある住民の人いらっしゃるんだということで。だから、うちもレースをして、レースやる時は開催日数は少ないけど、全国からお客さんがうちへ、珍しいんで来てくれます。そこを、地元にも活用してもらってそこで地元の人にどんどんどん利益、得て下さいということで今関わりかたをですね、そういう方向でも進めています。

#### ■森島

ありがとうございます。みなさん色々工夫というか、苦勞をされているところなんですけど、特に、日本写真判定さんは、山陽と、広島競輪以外でも会社としては、色々運営をされていると、お伺いしているんですけど、今聞いただけでも色々努力している、色んな地域に対する努力をされて、色んな新しい取り組み、イベントも含めてされているようです。日本しかないかもしれないですけど、他地域とかで、これはちょっと真似たいとか、これはおもしろかったみたいな取り組みをもしご存じであれば、宮島競艇さんも含めて、教えて頂ければと思います。

#### ■松浦

弊社の方は、もちろん山内も山陽の立ち上げ当初は山陽の方に携わってましたし、弊社としては競輪場が4場、全国で4場でオートレース場が1つなんですけど、決まったレールがないんですよ、台本がない、その地域、地域、そのレース場レース場の環境地域、そのレース場の特色を活かした運営をなささいよということで、ですから広島と山陽では同じ会社が運営してても、やってることは結構バラバラなんですよ、それがまあ写真判定の良い所かなぁと思うんですけど。川口レース場、先ほど支部長言いましたけど、川口レース場という所は年に1回たたら祭という、1番市で大きいお祭を、川口レース場を舞台にやるんですね。2015年の来場者、1日で29万人という発表なんですよ。で、花火あげて、1日祭りで賑わわせて、最後に花火のその、クライマックスの花火の前に、オートレースを見せるんですね。そしたら、川口市民の方、祭りに来られた方、オートレースを見た事ない人でも親しみを持ってくれる、で、自分がやっぱりオートレースに関わってて、その川口のたたら祭っていうのは1つの憧れでもあるし、それを、やっぱり山陽レース場が山陽小野田地域においては、やらないといけないのではないのかなと考えております。

#### ■鈴木

ボートレース宮島もですね、牡蠣のシーズンには場内を開場して牡蠣フェスティバルを開いております。入場者はかなりの数になります。残念ながら当日はレースは開催していないので、直接ボートレースをご覧になるっていう機会は無いんですけど、施設を知って頂くというのでは大変いいのかなと思っております。そして1つ面白いのは、各場いろいろイベントはやっているんですけど、1つ面白くなっていったのは、ある場が敬老の日ですね、今本場の来場者ほとんど平日は高齢者なので、健康相談とかそういうのを開いたら、看護師さんが何度訪問しても見た事のない人が、この人元気なのかなって思っていたら、ボートレース場で健康相談に来られたと、そこで初めて健康なことを確認できたという話を聞いたことがあります。うちもそういうのはやっぱり、やれば地元の市の高齢者の方の健康診断とか健康相談とかね、できますのでそれもいいのかなって思ってみたりしてます。

**■森島**

ありがとうございます。そうですね、高齢者が増える、元気な高齢者が増える一方なので、やっぱりそこを取り込むのは一番手っ取り早いと言えば手っ取り早いところではありますね。

**■鈴木**

そうですね。病院のフロアが触れ合いサロンになるよりは、ポートレース宮島が触れ合いサロンになって、なりたいなという思いがあります。

**■山内**

弊社がやっている業務で、先日初めてちょっとやったことで、広島でも今後やりたいなと思っていることがあるんですけど、キッズ競輪と言いまして、競輪場でお子様のレースをやるという。バンクで。これをぜひやって普及していきたいなという。

**■森島**

それはもう実現しそうな感じですか。

**■山内**

そうですね、いったんエキシビジョンを千葉の方で行いまして、今年の記念開催あたりで広島も出来ればという風には考えております。

**■森島**

楽しみですね。ありがとうございます。それでは、今日は9時に会場の電源を落とされるということで（笑）、45分ぐらいには撤収をしないといけないので、あと20分ほどとなりましたが、会場から質問を受け付けたいと思います。施行者さんでも、選手の方でも、どの方でもけっこうです。全員へでもけっこうですので、ご質問はいかがですか。

**■一般参加者**

ありがたいお話をお聞かしていただきまして、どうもありがとうございました。ちょっと一件お聞きしたいと思うんですが、広島にですねトップアスリートの方ですね、トップス広島というのがありまして、その中にですね競輪選手とかモーターボートの選手なんかですね、加入するという意味があれば、加入できるのかなということをお聞きしようと思ひまして。

**■山口**

すいません僕はいま初めてそのトップスというのがあるっていうのを知らなくて。

**■一般参加者**

あのですね、プロ野球とかサッカーとかですね、そういう広島県内のプロ野球チームとかサッカーチ



ームの選手がですね、あとハンドボールの選手なんかですね、まあその後みたいな、繋がっているというトップス広島があるんですけど、モーターボートとかもですね、選手なんかも加入できるのかなというのでちょっとお聞きしようと思って。

#### ■山口

加入できるのであれば、その内容とかもあるんですけど、他のスポーツ選手とかとはトレーニングと一緒にしたりすることもあるんですけど、僕らはやっぱり、モーターボートはモーターの力を借りて走ってるので、体力的な面ではやっぱりトップアスリートの、野球選手とかと比べると、全然違うんで、体重制限もありますし、だからそういう趣旨とまた違った集まりであるのであれば、検討はできるのではないかなと思います。

#### ■山内

そうですね、弊社が27年度に受託した当時の提案の中にはトップス広島への加入ってということが提案内容としては入れさせていただいてました。加入条件等、いろいろありまして、そのあたりを問い合わせせて、現在保留状態なんですけど、まずは審査もあるそうなんで、そのあたりはトップスさんの事務局さんの方に、先日ちょっと一度問い合わせをしたところですね、加入するのは私どもではなくて選手という形になるので。

#### ■森江

山口さんと一緒に、初めてそれを知ったので詳しいことは山内さんから詳しく聞いて、それで入れるものなら入りますし、一応説明を受けてからどういうものかというのを理解して、検討させていただきます。

#### ■一般参加者

今日は女性で、あまり女性の方はお見えになってない様なんですけど、ちょっとお伺いいたします。私あの先日ですね、飯塚オートですか行かせてもらいましてね、ミーハーで、まるで選手の方タレント並みですね、アイドルですわ。もうそれでファンの方がね、若い家族の方が多いのにびっくりしました。で、それに比べて今競輪なんかは先ほども、ビデオで出ましたけども、高齢者の方が多いわけですよね、でもう、広島競輪も64年目ですから、老朽化もあると思います。だけど100万都市でですね、G1が取れてないんですよ。G2の共同通信社杯が精一杯だと思うんです。なんとかして、G1を取って頂けたら、また県外の方でも有名な選手がくるということになれば、ファンの方はお見えになるでしょうし、広島市にもしっかりと税収がうつると思いますので、なんとか、施行者の方でG1を取る様に、で、まず老朽化をなんとかしなきゃいけないのかなあと、わたくしちょっと、競輪場を見たときには感じております。

#### ■山内

少し、言い訳になるが、G1開催の誘致については、運営会社の協力はできるが、そちらは広島市の担当業務になるので、運営会社としては、G1の誘致ができるように、全面的に広島市のサポート、努力をしていきたいと思う。



施設の修繕についても大切なことだと思う。しかし、今後の改修計画等を考えていくことは、私どもの施設ではないもので、広島市様と調整のうえで実施となるので、そのようなことから、前向きに、お客様のご要望に応えられるように調整していければと思っている。答えにならずに申し訳ありません。

#### ■一般参加者

今日は貴重なお話をお聞かせ頂きまして、ありがとうございます。大変勉強になりました。3点ほど、質問をさせていただきたいと思います。

まず、選手サイドの質問ですが、選手会主催で、例えばファンミーティング。地域コア、地域住民、地域のまちづくり等がテーマであると思うので、地域に密着したということでお話をさせて下さい。そのような選手会が主催となって、ファンや地域の方々とコミュニケーションをとるといようなことはありますか。

例えば、山陽オートの吉松支部長などは、地域住民の方と多数、そのような催しをされているといったお話がありましたので、山口選手、森江選手、どのようなコミュニケーションをとられているか、ご意見を聞かせて頂ければと思います。

#### ■森江

競輪の場合は、12月の中旬に、アリスガーデンで、PR活動、ピラ配りや、一般の方とローラー対決をしたり、今年はできていないが、去年などは、宇品の線路跡の花の農園でお手伝いをさせて頂いたりといった事をさせて頂いている。

#### ■山口

今日、一番自分自身の勉強になったことが、山陽オートさんが選手を財産として、学校で講話会を開いたりして、すごいなあと思った。

正直、ボートの選手会主催で、そうしたファンミーティングなど、何か催したかと言うと、何もお答えできません。だから、すごく反省しておりまして、きちんと支部長に伝えていきたい。他の支部であれば、やっている支部もある。他のレース場で、選手会主催でファンの方とボーリング大会を実施したり、バザーを行なっているのは知ってはいたが、広島支部の選手会として、そのようなことをしているかと聞かれるとすぐにはお答えできないので、今日はそうした部分からも、僕自身の勉強になったと思う。だから、答えとしては、「きちんとできていない」ということが答えです。

#### ■一般参加者

わかりました。いかにファンの方や、地域住民の方と密着するか。密着まではいかないかも知れないが、コミュニケーションを取ることはまちの活性化に繋がると私自身は思っています。ということで、今度は施行者側、特にボートの鈴木局長にお伺いしたいと思いますが、特に競輪・ボートレース・オートレースで、地元の選手は、なかなか地元の幹旋ということが少ないと思う。これは、私自身の個人的な考えであるが、地元のファンを大切にすることがすごく大切であると思う。しかし、仮にファンミーティングがあったとしても、その選手が地元の幹旋がない限りは、その選手の走る姿をみることができない。他場で走っている姿をテレビでみても、それは地元にとっても売り上げはならないし、地元





の活性化にも繋がらないし、施行者側からしても売上にも繋がらない。いかに、地元の選手を地元で斡旋するのが、重要な点ではないでしょうか。そのような点について、何か考え方がありますか。局長お願いします。

#### ■鈴木

斡旋については、施行者側に決定権利がなく、(一財)日本モーターボート競走会の本部が決定することになっています。

実は、先日も山口選手よりぜひ地元で走りたいと申し出を受けました。彼はグレードの高いレースなどで活躍されているので、地元で走るといって、正月やGW、お盆休みにしか走りません。彼の申出を競走会本部にお願いしましたところ、見事に願いが叶いました。そのようなこともありましたので、競走会の本部に出向く折には、再度、地元の選手を呼んでいただくように努力していきたいと思います。

#### ■山内

やはり、斡旋というのは、ボートレース宮島さんと同様、競輪についても、(財)JK&Aという団体が斡旋を行いますので、私ども運営会社に決定権がございませんので、ご回答は難しいです。

#### ■一般参加者

ありがとうございました。

もう一点、森島さんに、今回のまちトークを開催されて、建設コンサルタンツ協会としてどのようなまちづくりを提案するべきなのかお考えをお聞かせください。

#### ■森島

今回のまちトークをもって、どのようなまちづくりを提案するべきなのかについては、この場で即答するのは少し難しいかもしれません。

我々はインフラの計画・設計等を担っている技術者ですが、我々の視点としては、折角、都市の中に、ボートレース場という水面や、オートレース場・競輪場という大きなフィールドといった、かけがえのないインフラがある中で、これまでは、賭け事といいますが公営競技として税収の源となるような施設であったので、その業務のみを遂行していればよかったのだと感じますが、そのような施設が、福山市や益田市のように、地域の重要な施設だったものが、税収減少により運営が困難になって、施設が不要になるというのは、正しいことなのか。

折角、それらの施設があるのに方法や手段を検討しないうちに廃止されていくのが、地域のインフラの姿として正しいのかについて考えていきたいということで、今回のまちトークを開催しました。

広島競輪やボートレース宮島、山陽オートさんにお越しいただき、こういった施設が消えてなくなってしまうにはどうしたらよいのか。そのヒントをこのミーティングの中で得られればと思っております。

しかし、この問題に対して、私が直接仕事として関与しているわけではないので、早期に効果が発生するかはわかりませんが、公営競技の場の活用方法について、我々建設コンサルタントの技術者各々が、これからの業務で計画立案やインフラ設計に取り組む中で、活かすことができるのではないかと思います。



す。

例えば、広島市の計画に携わることがあれば、競輪場の活かし方や地域資源としての捉え方等具体的に記載するなど、今回のまちトークでご紹介いただいた様々なアイデアや、選手の方の思いなどを反映できればいいのかなと思っています。

具体的な話でいえば、例えば、私は宮島口の整備に携わっていたのですが、年間何百万という観光客が目の前を通るボートレース宮島という施設は、人流という意味で言えばとても魅力的な立地にあり、その人流をボートレース宮島に取り入れられない手はないと思っていますので、宮島口のまちの作り方も含めて、ボートレース宮島と地域と人が行き来するためにはソフト・ハード含めてどのような仕組みが必要なのか。

このような点で工夫を施せば、昔のように人で賑わうと考えています。また、渋滞が生じては困るので、そのような点には我々の道路整備という技術テクニックを活かすところがあるかと思っています。人流を活かし、もう一度にぎわいのある「宮島口」、「ボートレース宮島」となることは可能であると考えます。

広島競輪場でいえば、ベイエリアということで、スタジアム問題等でも揉め事がありましたけれども、これから広島県も倉庫の改修等により賑わいを創出しようとしているエリアであり、その賑わいの流れがある中で、広島競輪場もその流れを活かして、「おしゃれなベイエリアの中にある広島競輪場」として、アイデアを出せば、十分に復活する可能性があると思います。

広島県は、クルーズ船誘致についてもがんばっていますから、そういった人の流れを広島競輪場に導くためにはどういったことができるのかなども考えていけたらと思います。

山陽オートさんのところは、僕があまり知見がなくて申し訳ないのですが、郊外にある特殊な立地だと思います。このように地域貢献されているというところもありますし、オートレースそのものの数が減ってきているんですが、逆に言えば珍しいと、考え方を変えればあるわけで、オートレースは山陽に行かなければ見られないんだということです。しかもオートレースというのは一時期F1とかモーターレースも盛んにあったんですけども、モーターファン、スポーツファンの切り口からも人を呼び込めるのではないかと思います。600CCの迫力のある音を聞くというのも、他のスポーツ、ボートもそうですけども、エンジンを使うところの魅力ががると思うので、そういったところを生かして、まだまだ人が増えていく可能性があると感じたところです。(よろしいでしょうか・・・)

では、最後に一言ずつ今後の抱負をお願いしたいと思います。

#### ■森江

競輪の場合はファン層の年齢が高いということが一番の問題になっているので、とにかく土曜日日曜日の開催を増やしてもらって若い年齢層を増やしていかなければ、今後の競輪はないと思いますので、そういったところに力を入れて貰いたいというのと、女性が来やすい環境をつくってもらうことの2点を頑張っていけば、競輪もまだまだ頑張っていけると思います。今後ともよろしく願います。

#### ■山内事

広島競輪場が地域の方々にここに競輪場があってよかったと思っていただけるような施設にしていきたいと思っています。今後ともぜひよろしくお願いいたします。



### ■山口

選手の立場から言わせていただくと、あいつが走るからあのレース場に行こうと思ってもらえる選手になれるよう、もっと自分自身鍛えなくてははいけませんし、それが広島支部に一人でも多くなれば、結果宮島にお客さんを呼べることになるので、支部としては選手の技量を上げて全国に通用する選手を一人でも多く増やしたいと思っております。今日はどうもありがとうございました。

### ■鈴木

やはりまだ、賭博場というイメージがあるので、カーブが市民球場からマツダスタジアムに移って大成功したように、施設を清潔感あるものにする、そうすれば女性のお客さんも来やすくなるということで、そういう部分から地道に進めていきたいと思っております。今後ともボートレース宮島をよろしく願います。

### ■吉松

僕たち選手は全力で毎日走っています。施行者さんにはファンの皆さんに足を運んで頂き易いような環境を整えてレース場をつくって頂き、選手のみなさんに全力で走ってもらうことだけです。今日はありがとうございました。

### ■松浦

オートレースというのはまだまだ知られていない、有名じゃないというところに今後の希望があると思います。おそらく今日来て頂いているボートレースファンの方や競輪ファンの方もオートレースを見て頂くとびっくりすることはたくさんあります。今年初めて地元選手のための大会をつくってその名前が第1回山陽王座防衛戦、1回目から防衛戦というタイトルでレースやったりとかいろいろあります。今日ピラを配りましたが広島とのかかわりは深くて愛好家の方がこうやって競技車両を持ってきてくれる。今度11月16日平日なんですけど広島競輪のF1開催の初日にうちの副支部長の岩崎亮一というトップレーサーが広島競輪場に来て、実際に音も聞けるらしいので、ぜひ広島競輪場に来てオートレースに触れてください。よろしく願います。

### ■森島

皆さんありがとうございました。あっという間に時間が過ぎてしまい、私がしゃべりすぎて申し訳ありませんでした。こういった形で普段触れ合うことのない他団体の方と色々な話が聞けて運営でも選手でもアイデアが湧いたと思います。これからも公営競技を盛り上げて頂いて、今日ここに来て頂いた方、すでにファンの方もいらっしゃると思いますが、新しくファンになって頂いて、特にこの3つの競技には、来週から早速行って頂きたいと思っております（笑）。

本日は遅くまでありがとうございました。



パネルディスカッションの様子



#### 2.1.4 まちトーク 2016「公営競技とまちづくり」関連資料

ここでは、まちトーク 2016「公営競技とまちづくり」に関連する資料として、話題提供及びパネリストの活動内容紹介に用いられた発表資料を掲載する。

【発表資料】

- 建設コンサルタンツ協会：話題提供資料



11月3日 in 西区民文化センター

## 第1回フォーラム

KENKON

知ってる？

### 公営競技(世界と日本の公営競技)

建設コンサルタンツ協会 中国支部 地域計画委員会

FORUM

#### 内容

- 1 公営競技とは
- 2 公営競技の歴史
- 3 公営競技の開催地(世界・日本)
- 4 客層
- 5 競技環境
- 6 閉鎖後の状況
- 7 自治体における位置づけ
- 8 公営競技を取り巻く課題
- 9 広報活動
- 10 各団体の新しい取り組み



**1 公営競技とは** P1

**定義・日本の公営競技**

■ **定義** 中電

- ▶ 法律によって、特殊法人や地方公共団体による施行が許可された賭け事
- ▶ 公営競技，公営賭博ともいわれる。

■ **日本の公営競技**

				
	競馬	競輪	競艇	オートレース
<b>種類</b>	競馬	競輪	競艇	オートレース
<b>規制する法律</b>	競馬法	自転車競技法	モーターボート競走法	小型自動車競走法
<b>管轄官庁</b>	農林水産省	経済産業省	国土交通省	経済産業省

出典：ブリタニカ国際大百科事典 小項目事典

**1 公営競技とは** P2

**仕組み**

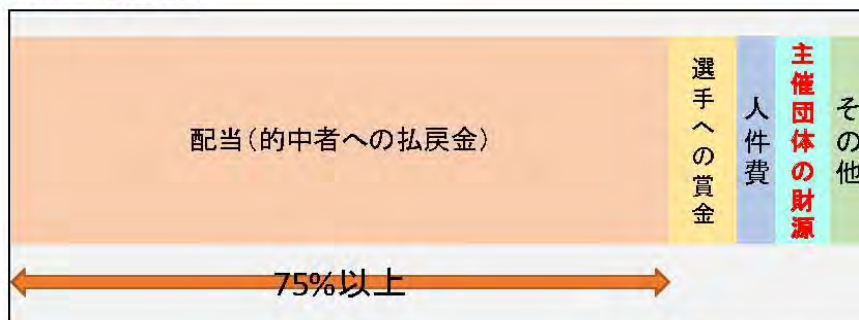
■ **仕組み** 中電

【パリミュチュエル方式】

- ▶ 予想を的中させた人で経費等を差し引いた額をすべて山分けする仕組み

※) 海外では賭ける時点で既に配当率が発表されているブックメーカー方式があり。

■ **売上の主な内訳**



出典：石川義憲「日本の公営競技と地方自治体」



## 2 公営競技の歴史(日本)

P3

中電

- 1860年：横浜の外国人居留地で初めて近代競馬が実施
- 1906年：東京の池上競馬場で初めて馬券発売を伴う競馬が開催
- 1923年：旧競馬法が施行。
- 全国11の公認競馬倶楽部で馬券発売を伴う競馬の開催が完全合法化
- 1946年：公営競馬の馬券販売が終戦後再開  
地方競馬法が公布
- 1948年：福岡県小倉市（現北九州市）で初めて競輪が開催
- 1950年：千葉県船橋市で初めてオートレースが開催
- 1952年：長崎県大村市で初めて競艇が開催
- 1959年：松戸競輪場騒擾事件<sup>そうじょう</sup>→反競技運動が高まる
- 1962年：公営競技の規模を現状維持、競技場新設の事実上停止
- 1992年：売上高の過去最高額を記録、以降売上は減少

出典：石川義憲「日本の公営競技と地方自治体」  
Wikipedia「公営競技」

## 3 公営競技の開催地(世界)

P4

### 競技ごとの開催地

#### ▶競馬（100か国以上）

※競馬は世界中で開催されているが、ジョッキークラブや競馬公社による開催、あるいは馬券発行を伴わないため、公営競技ではない

#### ▶競輪（日本、韓国のみ）

#### ▶競艇（日本、韓国のみ）

#### ▶闘牛（韓国のみ）

#### ▶オートレース（日本のみ）

※建コン調べ



復建





3 公営競技の開催地(世界)

P5

競技ごとの開催地

■ 公営賭博ではない世界の競馬場

ハッピーバレー競馬場 (香港)

サンルーカル・デ・バラメダのビーチ競馬(スペイン)

サンモリッツ競馬場 (スイス)

ロンシャン競馬場 (フランス)



復建



■ その他の公営賭博(国営カジノ)

モンテカルロ(モナコ)

ホランド・カジノチェーン(オランダ)

カジノ・デ・ゲンティン(マレーシア・クアラルンプール)

ウォーターフロントセブシティホテル(フィリピン・セブ島)・・・他 多数

・世界各国(120か国以上)で開催されている



※建コン調べ

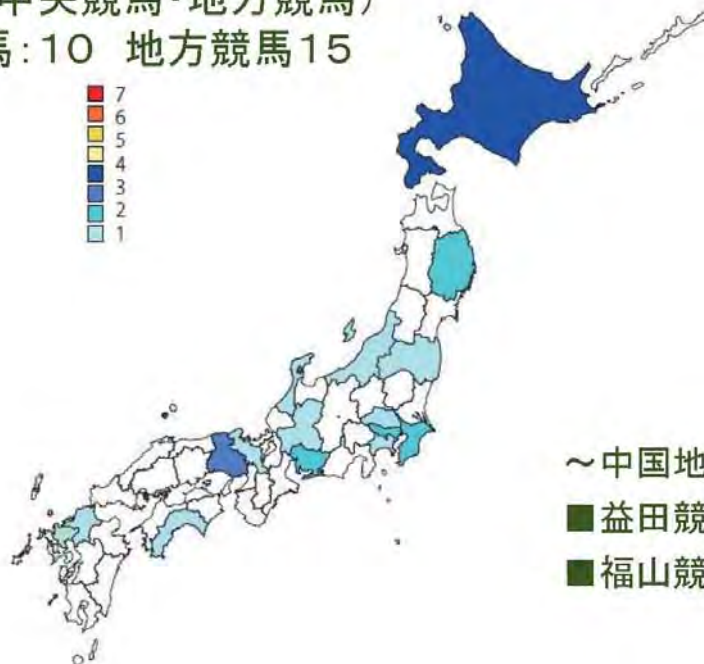
3 公営競技の開催地(日本)

P6

競技ごとの開催地

競馬場(中央競馬・地方競馬)

中央競馬:10 地方競馬15



～中国地方～

■ 益田競馬場(廃止)

■ 福山競馬場(廃止)

復建

※建コン調べ



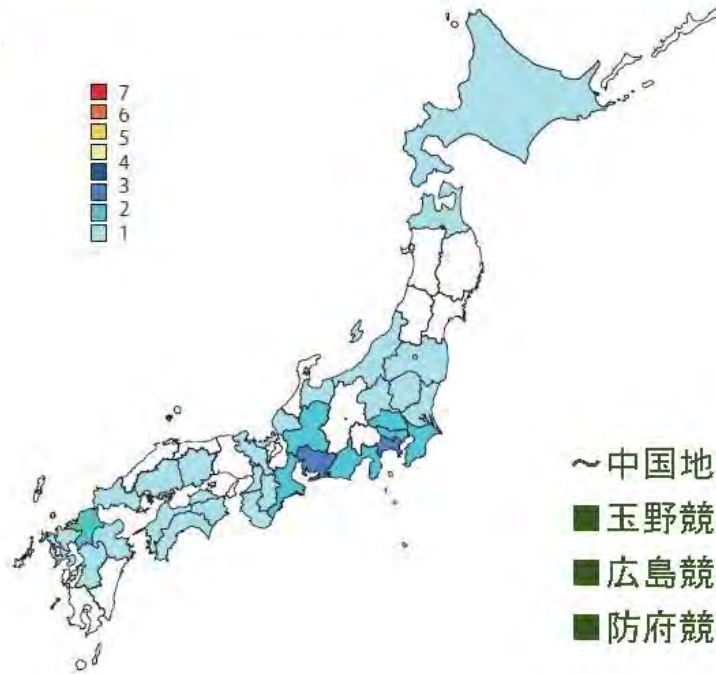
3 公営競技の開催地(日本)

P7

競技ごとの開催地

競輪場  
44箇所

復建



～中国地方～

- 玉野競輪場(岡山)
- 広島競輪場(広島)
- 防府競輪場(山口)

※建コン調べ

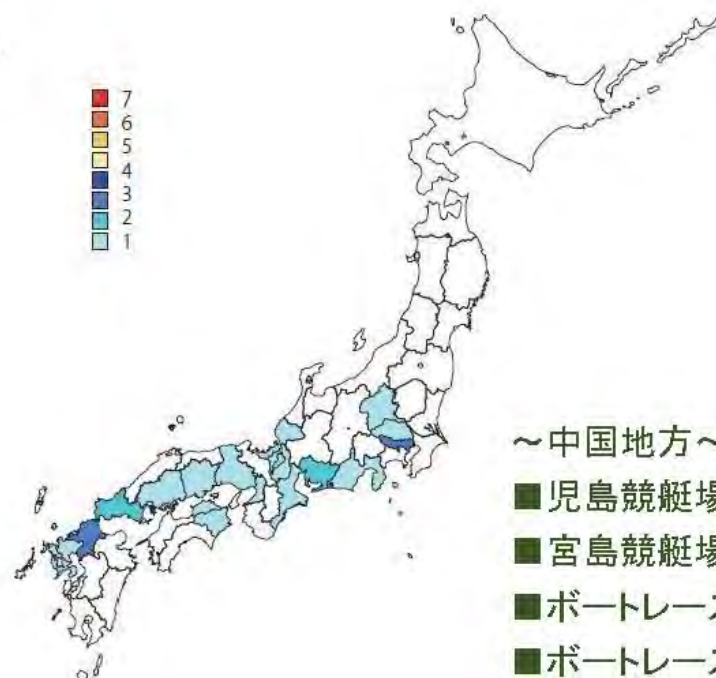
3 公営競技の開催地(日本)

P8

競技ごとの開催地

競艇場  
24箇所

復建



～中国地方～

- 児島競艇場(岡山)
- 宮島競艇場(広島)
- ボートレース下関(山口)
- ボートレース徳山(山口)

※建コン調べ



3 公営競技の開催地(日本)

P9

競技ごとの開催地

オートレース場  
5箇所

復建



※建コン調べ

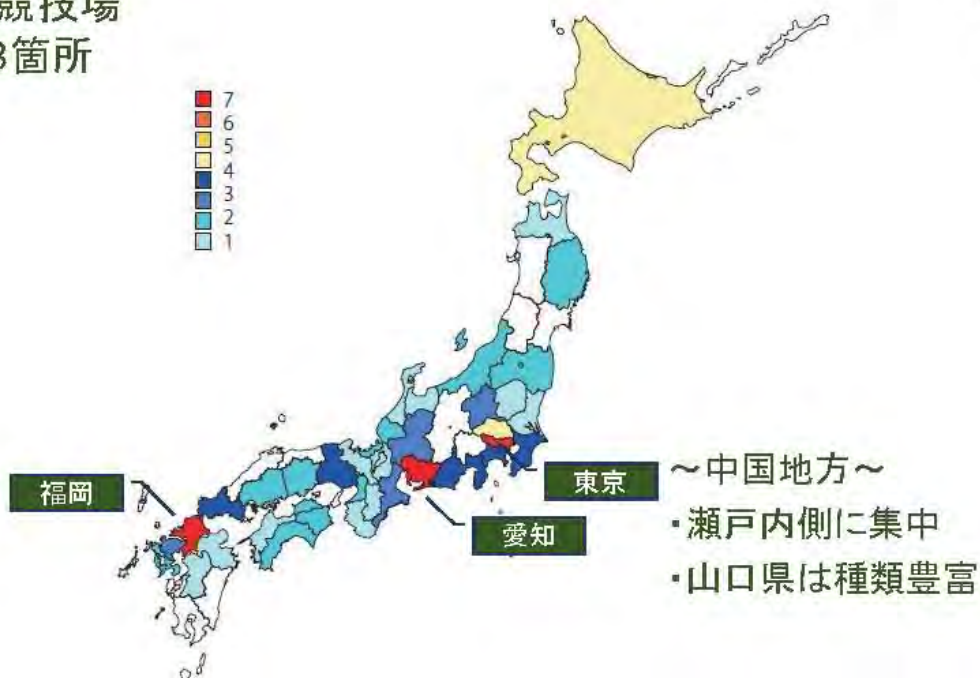
3 公営競技の開催地(日本)

P10

競技ごとの開催地

全競技場  
88箇所

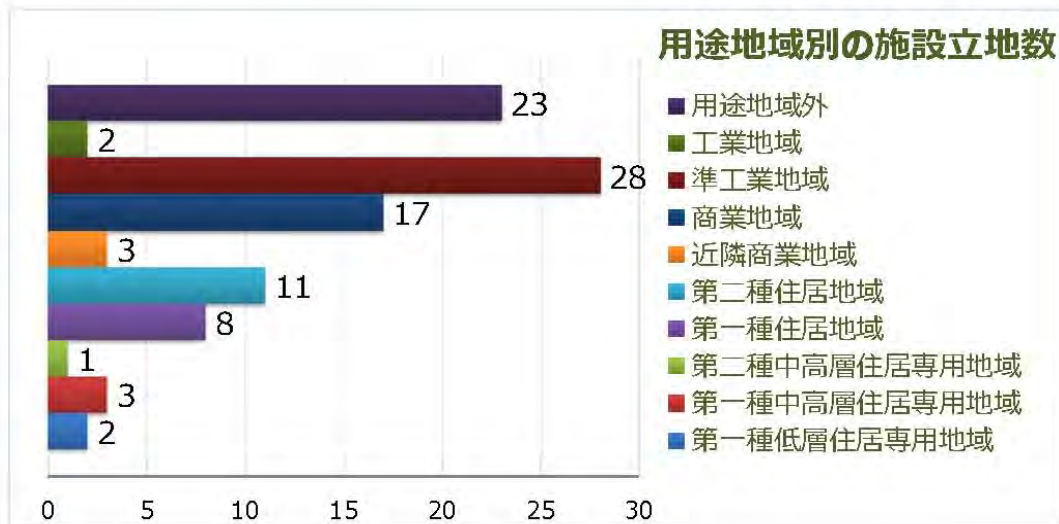
復建



※建コン調べ



**3 公営競技の開催地(日本)** **P11**  
**競技ごとの開催地(用途地域との関連)**



※建コン調べ

**3 公営競技の開催地(日本)** **P12**  
**競技ごとの開催地(用途地域との関連)**

競技種目別 ・用途地域別の施設立地数	競技種目別					総計	
	オートレース	競艇場	競輪場	地方競馬	中央競馬		
第一種低層住居専用地域	1			1		2	
第一種中高層住居専用地域				3		3	
第二種中高層住居専用地域				1		1	
第一種住居地域		1		4	2	1	8
第二種住居地域				4	3	4	11
近隣商業地域		1		1		1	3
商業地域			5	9	2	1	17
準工業地域	2	12		11	2	1	28
工業地域				2			2
用途地域外	2	5		8	6	2	23
<b>総計</b>	<b>5</b>	<b>24</b>	<b>44</b>	<b>15</b>	<b>10</b>	<b>98</b>	

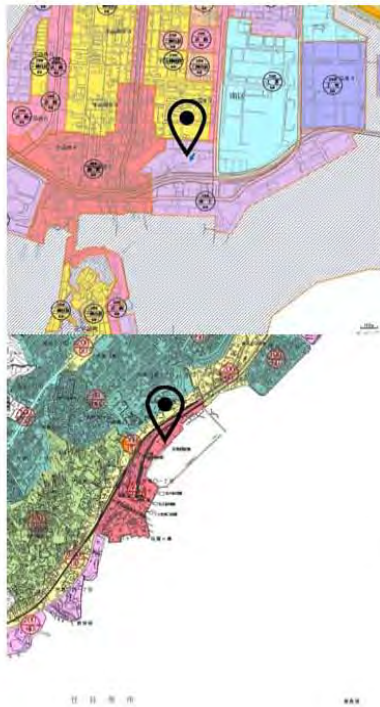
※建コン調べ



3 公営競技の開催地(日本)

P13

競技ごとの開催地



←広島競輪場  
準工業地域

豊橋競輪場→  
第一種中高層  
住居専用地域

←宮島競艇場  
商業地域



※広島地図ナビ、廿日市市WebGIS Site、豊橋市HP

4 客層(地域住民、来訪者)

P14

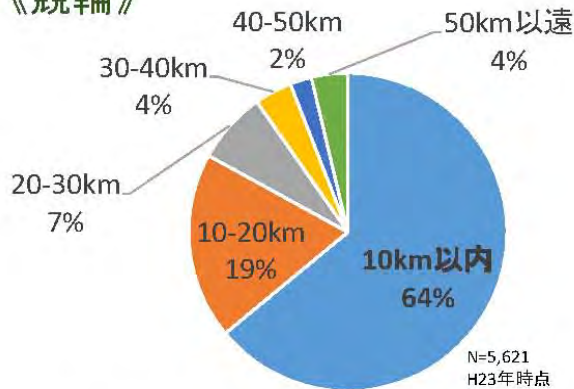
▶競輪は、**10km圏内の住民の来場が約6割。**

長大

▶競馬については 投票券の購入方法の割合を調べており、**場内の利用が約4割。**

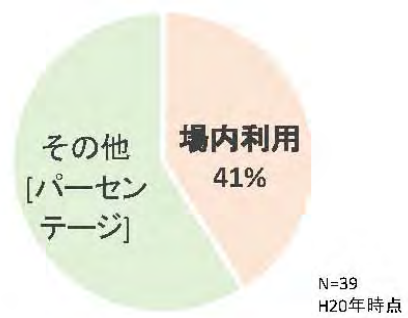
▶競艇、オートレースは情報なし。

《競輪》



出典:競輪来場者に対するアンケート調査(財団法人JKA)

《競馬》



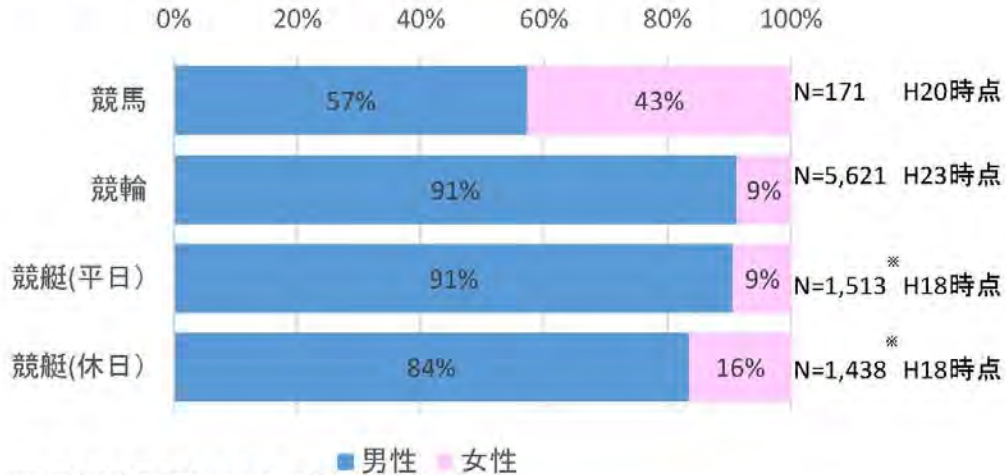
出典:競馬に関する意識調査(株式会社 iSHAREリサーチ)



4 客層(性別)

P15

- ▶ 競馬場への来場者は男女比が6 : 4であるのに対し、競輪及び競艇は男性の来場客が約8割~9割を占める。
- ▶ オートレースは情報なし。

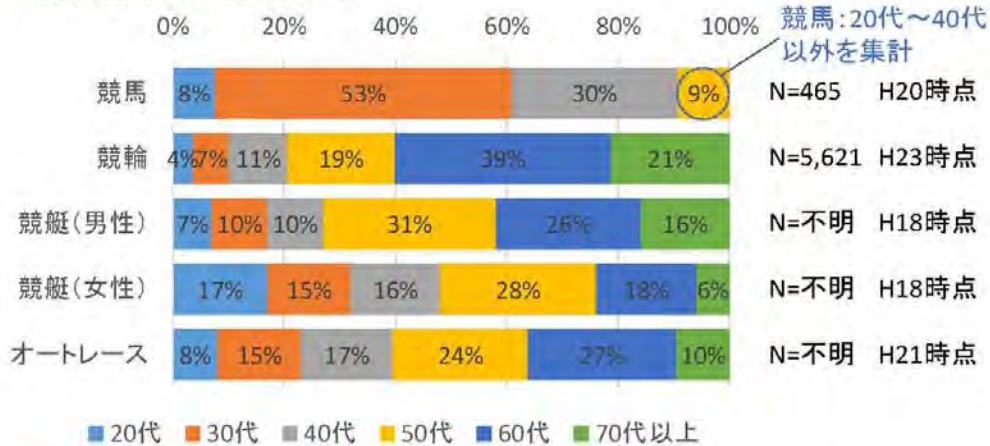


■ 男性 ■ 女性  
 出典: 競馬: 競馬に関する意識調査(株式会社 ISHAREリサーチ)  
 競輪: 競輪来場者に対するアンケート調査(財団法人JKA)  
 競艇: 財団法人日本モーターボート競走会資料  
 (競艇界のさらなる発展に向けた改善策に関する研究(早稲田大学大学院スポーツ科学研究科 卒業研究2006))

4 客層(年齢)

P16

- ▶ 競馬の年齢層は、20代~30代で約6割を占め、公営競技の長大  
中で最も年齢層が低い。
- ▶ 競輪の来場客のうち約8割が50代以上となり、公営競技の  
中で最も年齢層が高い。



■ 20代 ■ 30代 ■ 40代 ■ 50代 ■ 60代 ■ 70代以上  
 出典: 競馬: 競馬に関する意識調査(株式会社 ISHAREリサーチ)  
 競輪: 競輪来場者に対するアンケート調査(財団法人JKA)  
 競艇・オートレース: 競輪事業のあり方検討小委員会報告書(案)【資料編】H23.6(経済産業省 産業構造審議会車両競技分科会)



5 競技環境

P17

	交通アクセス	控除率	最高配当券種	最高配当券種の詳細	最高配当額
中央競馬	駐車場：有り（競馬場によっては無料） 電車：最寄駅から歩道が整備されている競馬場が多い バス：拠点となる駅から無料・有料バスが出ている その他：	20～30% 券種により異なる	WIN5	対象5レースの1着を当てる 買い方は自分で選べる	約4億2012万円
地方競馬	駐車場：有り（競馬場によっては無料） 電車：最寄駅から歩道が整備されている競馬場が多い バス：拠点となる駅から無料・有料バスが出ている その他：	20～30% 券種により異なる	トリプル馬単	対象3レースの1, 2着を当てる 買い方は自分で選べる	約7476万円
競輪	駐車場：有り（競輪場によっては無料） 電車：最寄駅から距離のある施設が多い バス：拠点となる駅から無料・有料バスが出ている その他：	25%	チャリोट	対象7レースの1着を当てる 買い方は自分で選べず自動抽選	約1552万円
競艇	駐車場：有り（競艇場によっては無料） 電車：最寄駅から距離のある施設が多い バス：拠点となる駅から無料・有料バスが出ている その他：無料タクシー（最寄駅⇔競艇場） 戸屋ボートレース：無料高速艇（水島港⇔競艇場） ボートレースまるがめ	25%	3連単	対象レースの1, 2, 3着を当てる	約68万円
オートレース	駐車場：有り（無料） 電車：最寄駅から距離のある施設が多い バス：拠点となる駅から無料・有料バスが出ている その他：無料タクシー（最寄駅⇔オートレース場） 浜松オート	30%	3連単	対象レースの1, 2, 3着を当てる	約1572万円

福山

（駅⇔競馬場直結地下通路）  
中山競馬場



（駅⇔競馬場直結通路）  
東京競馬場



無料タクシー（浜松オート）



無料高速艇  
（ボートレースまるがめ）



6 閉鎖後の状況

P18

福山競馬場（S24(1949)～H25(2013)）



跡地利活用計画等を作成している自治体もある（福山市など）

←  
交番（学生コンペ）  
将来的に公園整備など

益田競馬場（S22(1947)～H14(2002)）



場外発売所  
西部高等技術学校  
高津学校給食センター  
↓集合住宅

地図・空中写真閲覧サービス（国土地理院）、GoogleMap



## 7 自治体における位置づけ

P19

- ▶ 総合計画の記載は門別競馬場、山陽オートのみ いであ
- ▶ 経営が厳しいことを反映し、経営計画等が10箇所、事業概要が9箇所
- ▶ HPでのPRは5箇所と少ない

種別	総数	総合計画	経営計画等	事業概要	HPのPR
競馬場	25	1	1		3
競輪場	44		6	5	1
競艇場	24		2	3	
オートレース	5	1	1	1	1
合計	98	2	10	9	5

## 8 公営競技を取り巻く課題

P20

## 現状・課題

## ■ メリット（目的）

荒谷

- 地域経済の振興
- 関連産業の振興
- 社会福祉事業の振興
- スポーツ振興
- 住民の娯楽

## ■ 現状

- 売上の減少
- ファン層の固定化、高齢化
- ホワイカラー層の増加
- (カジノ設営による顧客流出の懸念)

## ■ 課題

- 開催経費の削減
- 新規顧客開拓
- 広報戦略の推進
- 遊戯スペース併設などのイメージ向上





9 広報活動

P21

- ▶媒体 : TV(番組, CM), WEB, 専門誌 etc 地域未来
- ▶業界全体における利用者減少が続く中, **新規顧客獲得**に向けて, 公営競技の**イメージ向上**や**競技場の臨場感**や**楽しさをアピール**するCM等を制作・放映。

イメージアップを図るブランドCM



資料: JRAホームページ



資料: JKAホームページ

楽しさをアピール



資料: ポートレース振興会HP

- ▶WEBでは, 興味を持ちHPを訪れた**未体験者を取り込むため**, 初心者向けのコーナー(観戦や購入方法など)を準備。
- ▶その他, 各競技場においても, イベント開催など, 未体験者でも競技場に来訪しやすい環境, 来訪したくなる機会づくりに注力されている。

10 各団体の新しい取り組み

P22

中央競馬・競艇

《中央競馬》

▶日本国内での海外馬券の発売

今年フランスで行われる凱旋門賞(2016.10.2)の馬券を日本国内で購入することが出来るようになった。今後も主に日本馬が出走する海外のレースでの馬券購入が出来るようになる見通し  
(2015年9月9日に競馬法施行令及び日本中央競馬会法施行令の一部を改正済)



《競艇》

福山

▶屋形船でのレース観戦

ボートレース江戸川で2010年7月より開始した取り組み。水上で本格的な食事やお酒を楽しみながら、間近でレースを観戦ができる。場内お食事券・ポストカード等の特典も付いている。  
(大人4,980円、子供2,500円)

▶ボート・ゴムボート試乗会

レースで実際に使用するモーターを付けたボートに乗艇できる。現役ボートレーサーが操縦してくれるため、レースさながらのスピード感が味わえ、ボートレーサーと間近で触れ合うこともできる。子供はゴムボートの試乗となり、どちらも抽選での乗艇となる。





## 2.2 まちトーク2017 「どうする中山間地域!？」の開催

---

平成 27 年 3 月に尾道松江線が全線開通したことにより、広島県～島根県間の交流が益々活発になった。一方で、並行する国道 54 号および国道 184 号の交通量は減少し、沿線地域の地域経済の衰退という問題が発生している。

今回のフォーラムは、これら国道沿線地域の活性化に係る活動に取り組んでいる方から、具体的な課題や地域活性化に関する取組について話を聞くとともに、残された道路の新たな役割として「道の駅」「サイクリング」への利活用というテーマに関連した専門家の意見も交えたトークセッションを行うことにより、今後の地域活性化に関する取組を考えるヒントになることを期待して開催した。



## 2.2.1 開催準備

### (1) 事前打合せ

フォーラム開催準備として、各パネリストとの事前打合せによりフォーラムの開催主旨やプログラム等を説明するとともに、パネリストの取組の話や地域づくりに関するご意見を聴取し、パネルディスカッションの進行の参考とした。

パネリスト：上野 一 氏（ジャイアントストア尾道 店長）

勝部 貴大 氏（広島工業大学大学院 工学研究科建設工学専攻博士前期課程 2 年）

梵 大英 氏（専法寺副住職/344project 代表）

難波 孝憲 氏（飯南町観光協会（道の駅赤来高原駅長））

服部 恵子 氏（飯南町地域おこし協力隊）

宮口 直之 氏（プロロードレーサー（eNShare Cycling Team））

### (2) 走行調査

今回のフォーラムの対象地域となる、やまなみ街道の現道側となる国道 54 号・国道 184 号（尾道～出雲）について、2 グループに分かれて自転車で走行調査を行った。調査では、道路状況、交通状況、休憩施設、沿道景観、立ち寄り箇所の状況について、チェックシートに記入を行った。

走行調査を踏まえて、フォーラムで地域計画委員会が説明する話題提供資料（やまなみ街道沿線地域の現状）を作成した。



走行調査実施状況

（尾道～三次：尾道でレンタサイクルを使用、三次～出雲：一部バス輸行を実施）



## やまなみサイクリングロード試走

## チェックシート（記入例）

調査区間	道の駅・赤来高原⇒出雲市駅	担当者	佐藤 裕治
------	---------------	-----	-------

No.	項目		評価	
1	勾配	上り	区間 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) 身体負荷 ( <del>1 楽手</del> <del>2 ややきつい</del> <del>3 きつい</del> <del>4 非常にきつい</del> )	
		下り	区間 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) 危険度 ( <del>1 快適</del> <del>2 やや危険・怖い</del> <u>3 危険・怖い</u> )	
	コメント	上りはややキツイ区間があるが、急勾配ではないので、ロードバイクであれば自分のペースでゆっくり走行すれば攻略できる。頓原の先の峠を超えてからの下りはダイナミックで走りごたえがある。一方で、スピードが出やすく初心者にはやや危険である。		
2	線形	カーブ	区間 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) 危険度 ( <del>1 快適</del> <del>2 やや危険・怖い</del> <u>3 危険・怖い</u> )	
		コメント	頓原の崎の峠を超えた下り坂ではスピードが出るためカーブがやや危険であるが、全体的には快適である。	
3	路面状況	路面状況	路面状況 ( <del>1 快適</del> <del>2 やや悪い</del> <u>3 悪い</u> )	
		コメント	頓原の先の峠を超えたあたりから、路面状況の悪さが顕著であり、身体にも振動を感じる。	
3	交通量	交通量	交通量 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> )	
		コメント	頓原の峠を超えるまでは、車の通行がそこそこあり気になる。峠を超えてからは交通量が少なくなり、快適である。出雲市に入ると交通量が多くなり、川沿いは幅員も狭いため、危険を感じる。	
4	休憩施設	休憩施設	道の駅等 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) コンビニ ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) 飲食店 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) 自販機 ( <del>1 少ない</del> <del>2 ほどほど</del> <u>3 多い</u> ) サイクルスタンド ( <del>1 ない</del> <del>2 少ない</del> <u>3 ほどほど</u> <del>4 多い</del> ) 自転車部品販売 ( <del>1 ない</del> <del>2 少ない</del> <u>3 ほどほど</u> <del>4 多い</del> )	
		コメント	水分補給は自販機でフォローできるが、コンビニが少なく食料品や備品の調達は道の駅が重要な役割を担うと考えられる。また、飲食店や自転車部品の販売店等、サイクリングマップなどでフォローされているとありがたい。道の駅は夕方に閉店するため、遅い時間帯でのサイクリストをいかにフォローするかが課題となる。	
5	沿道景観	沿道景観	沿道景観 ( <del>1 良い</del> <u>2 普通</u> <del>3 悪い</del> )	
		コメント	頓原の先の峠を超えた下り坂から、里山の風景の中を走行でき、癒される。国道 54 号沿い以外の道路には、よりのどかな景色が広がっているのではないかと期待出来る。	
6	立ち寄り箇所（観光名所・娯楽施設等）	立ち寄り箇所	立ち寄り箇所 ( <del>1 多い</del> <del>2 普通</del> <del>3 少ない</del> <del>4 ない</del> )	
		コメント	宿場町や温泉、大しめ縄創作館など、立ち寄り箇所は充実しているように思える。一方で、立ち寄り施設は国道 54 号沿線から離れたところにもあると想定されることから、地域の情報や国道 54 号以外をフォローしたサイクリングマップ等を事前に入手することで、より時間効率の高いサイクリングが実施出来る可能性がある。	
7	その他	コメント	路線バスの便数も少ないため、途中でリタイアしたときの交通手段が課題となる。	



### (3) 開催案内

フライヤーを作成し、メンバー各社により、行政期間や公共施設及びサイクリストの立ち寄り箇所等に配布するとともに、SNS（facebook、instagram）、広島県中山間地域振興課が運営する「ひろしま里山チーム500」ホームページ等により案内を行った。

表 各広報媒体と集客効果

開催案内の方法	概要	集客効果
フライヤー	行政機関や公共施設、サイクリストの立ち寄り箇所等での配布 (12月末～1/14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>• FAX、電話及び e-mail による申込状況から、建設コンサルタント以外の応募は約 10 名程度。</li> <li>• 配布期間が 2 週間程度と短期間であったため、集客効果としての手応えは小さかった。</li> </ul>
SNS (facebook 等)	facebook のイベントページを作成し、フォーラムの内容に関連するコメントを連載。 閲覧者が多い facebook のグループページ及び個人に、イベントページのシェアを依頼。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 事前の参加希望者が 10 名/約 80 名得られたとともに、当日参加可能なアナウンスをしたことにより、実感として+5～10 名程度の集客効果が得られた。</li> </ul>
ひろしま里山 チーム500	広島県中山間地域振興課が運営する「ひろしま里山チーム500」ホームページによる案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不明</li> </ul>
その他情報周知	技術士会中国本部、都市計画学会中国・四国支部会員、ローカルのメディア(中国新聞、RCC、広テレ、TSS)への案内	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 不明</li> </ul>



### 1) フライヤーの作成・配布

フォーラムの開催内容、日時、会場、プログラム、主催・後援、問合せ先、パネリスト及びコーディネーターの紹介、会場までのアクセス、参加申込票を掲載したフライヤーを作成した。作成したフライヤーを次頁に示す。

また、フライヤーの配布箇所については、広島市役所・広島県庁をはじめとした公共施設の他、今回のフォーラムのサブテーマとなる「サイクリング」に着目し、サイクリストの立ち寄り箇所にも配布を依頼した。

表 フライヤー配布箇所

市町村名	配布箇所
広島市	広島県観光課、広島県庁 1F、広島港、広島市役所、広島県観光連盟、広島市南区民文化センター、広島市まちづくり市民交流プラザ、ジャイアントストア広島宇品、WineBar500 “CinqueCento”
廿日市市	古民家「輪～Rin」
江田島市	切串港、三高港、ふるさと交流館
呉市	であいの館（上蒲刈島）、海駅三之関（下蒲刈島）
その他	広島県庁及び三次市役所職員内への情報周知、建設コンサルタンツ協会中国支部所属企業・団体への情報周知



(一社)建設コンサルタンツ協会プレゼンツ

## まちトーク 2017

# 「どうする中山間地域?!」

尾道松江線開通の光と影・残された道の新たな役割とは?



尾道松江線の開通後、広島県～鳥根県の交流が益々活発になりました。

一方で、人の行き来が減少した国道 54 号や国道 184 号沿線地域では、いったいどのような問題を抱え、解決に向けて取り組んでいるのでしょうか?

沿線地域をより良くしようと活動するゲストのお話を聞くとともに、「道の駅」「サイクリング」といった話題も交えたトークセッションを行います。

このイベントを通じて、あなたも「地域づくり」や「道路の新たな役割」というテーマについて考えてみませんか?

【日時】平成 29 年 **1 月 14 日(土)** 14:00 ~ 16:25(開場 13:30)

【会場】広島市南区民文化センター(2F スタジオ)

(広島市南区比治山本町 16 番 27 号 TEL082-251-4120)

参加費無料!

定員 150 名

### プログラム

- 14:00 開会  
話題提供：やまなみ街道沿線地域の現状
- 14:15 パネリストの活動紹介
- 15:15 休憩
- 15:25 パネルディスカッション
- パネリスト / コーディネータ(五十音順・敬称略)
  - 上野 一 ジャイアントストア尾道 店長
  - 勝部 貴大 広島工業大学大学院工学系研究科 建設工学専攻 博士前期課程 2 年
  - 梵 大英 専法寺副住職 / 344Project 代表
  - 難波 孝憲 飯南町観光協会(道の駅赤来高原駅)
  - 服部 恵子 飯南町地域おこし協力隊
  - 宮口 直之 プロロードレーサー(eNShare CyclingTeam)
  - コーディネーター
  - 森島誠司 建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員長
- 16:25 閉会

■主催 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部 地域計画委員会  
後援 公益社団法人 日本技術士会中国本部

■お問合せ先 まちトーク 2017 事務局  
株式会社 長大 広島支社 佐藤・鈴木  
TEL:082-545-6541 FAX:082-545-6698



facebook アカウント

図 フライヤー (表)



**パネリスト  
コーディネーター  
の  
ご紹介**

**もりしま せいじ**  
**森島 誠司**  
建設コンサルタンツ協会中国支部  
地域計画委員長

東京農業大学卒。15年間の在京生活を経て郷里・広島にUターン。ランドスケープデザインや地域活性化等のプランニング取り組むかたわら、地域では自治会長、NPO 法人事務局、行政のアドバイザー、学校講師など、積極的に活動中。文部科学省登録技術士(建設部門：都市及び地方計画)(中電技術コンサルタント(兼勤務))

**うえの はじめ**  
**上野 一**  
ジャイアントストア尾道 店長

株式会社 ONOMICHI U2 サイクリング事業部マネージャー。同施設内にある GIANT STORE 尾道 店長。しまなみ海道のサイクリングロード本州側出発地点として、レンタサイクル・メンテナンスを手掛け、遠方から来られるサイクリストのフォローを行っている。また、自転車店としても販売・PRを行い、地元の方に対してサイクリング普及に努めている。

**そまぎ だいせい**  
**梵 大英**  
専法寺副住職 / 344Project 代表

浅野内匠頭夫人阿久利姫の故郷・三次藩。そのお膝元の専法寺。お寺の長男に生まれながら、海への憧れからサーフィンが趣味となり、大都会への憧れもあって関東に出ていったがUターン。歴史の流れの中で今をみつめ、関東での経験を活かしながら、同世代の若者をつないで、地域に根差し、受け継がれている伝統を守りつつ、新しい価値を生み出している。

**はっとり けいこ**  
**服部 恵子**  
飯南町地域おこし協力隊

東京都出身。平成 26 年に島根県飯南町へ地域おこし協力隊として着任。国道 54 号活性化を担当し、「食」「自然」「歴史文化」「人と道」の 4 つの柱に沿って活動を実施。町内の方へ向けた飯南町の魅力に気づいてもらうための取り組みも行っている。また、自然体験を通して自然の魅力や森林管理の必要性を伝える活動も行っている。

**かべ たかひろ**  
**勝部 貴大**  
広島工業大学大学院工学系研究科  
建設工学専攻 博士前期課程 2年

広島工業大学大学院工学系研究科建設工学専攻 2年福田研究室所属。島根県出雲市出身。道の駅の活性化のために情報発信に着手し活動中。現在、道の駅の利用が少ない若者をターゲットに、スマートフォンアプリを使って情報発信をする仕組みを行政や民間企業と協力し作成中。その他に道の駅を舞台にいくつかのイベント企画に関わる。

**なんば たかのり**  
**難波 孝憲**  
飯南町観光協会  
道の駅赤来高原駅長

(一社)飯南町観光協会の事務局員として、平成 28 年度 4 月からサイクリング事業を担当し、レンタサイクル運用やサイクリングツアーの実施、「やまなみサイクリング」の環境整備に取り組んでいる。また、道の駅赤来高原の駅長を兼務し、島根県内や中国地方の道の駅との連携強化のため情報発信・情報共有に係る取り組みに携わっている。

**みやぐち なおゆき**  
**宮口 直之**  
プロロードレーサー  
eNShare Cycling Team

広島県福山市出身、福山市在住のプロロードレーサー。小学 5 年生から自転車競技を始め、2015 年には国内最高峰のジャパンプロツアーに参戦。地域密着型チームの運営にも携わり、レース活動のみならず自転車普及活動や自転車の交通ルールの啓蒙活動にも力を入れている。自転車を通して地域とスポーツの活性化に取り組んでいる。



**会場：広島市南区民文化センター (2Fスタジオ)**

住所：広島市南区比治山本町 16 番 27 号  
TEL：082-251-4120

**会場までのアクセス**

JR 広島駅から路面電車 (5 番)  
比治山下經由広島港 (字品) 行 (約 10 分)  
「南区役所前」下車

紙屋町・八丁堀からバス (23 番・横県線)  
大学病院行 (約 12 分)「比治山橋」  
または「皆実町一丁目」下車

※バス (23-1 番・横県線) 大学病院行は経由先が違いますので、ご乗車にならないようにご注意ください。  
※近くに駐車場がありますが電車・バスでのご来館をおすすめします。

**[ 参加申込票 ]**... 下記の項目を明記のうえ、Eメール又はFAXでお申し込みください！

フリガナ お名前	連絡先 ご住所
電話番号	E-mail
[ 送付先 ] FAX : 082-545-6698 Eメール :hiroshima-kenkon@chodai.co.jp	

図 フライヤー (裏)





## 2) facebook ページの作成・配信

facebook にて、まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」のイベントページを作成した。

イベントページでは、閲覧者にイベントに興味を持っていただけるよう、各パネリストとの打合せの実施状況やパネリストの取組内容、国道 54 号・国道 184 号沿線地域の様子や事前調査の実施概要等、フォーラムの内容に関するコメントを写真入りで連載した。

あわせて、閲覧者が多い facebook のグループページ及び個人に、イベントページのシェアを依頼した。(主にサイクリストの閲覧が多いページを対象にシェアを依頼)

また、開催日当日の朝に「当日参加 OK」のアナウンスをすることにより、当日参加者の集客促進を図った。

### ■facebook イベントページの集客効果

参加者：19 名（うち運営者（地域計画委員会関係者）+パネリスト 7 名）

興味あり：105 名（イベントページの閲覧のみで不参加）

その他効果：当日参加者（約 20 名）の集客促進に寄与



(一社)建設コンサルタツツ協会プレゼンツ

**まちトーク 2017**

**当日参加OK!**

参加費無料!  
定員150名

# 「どうする中山間地域?!

## 尾道松江線開通の光と影・残された道の新たな役割とは?

尾道松江線の開通後、広島県～島根県の交流が益々活発になりました。  
一方で、人の行き来が減少した国道54号や国道184号沿線地域では、いったいどのような問題を抱え、解決に向けて取り組んでいるのでしょうか?  
沿線地域をより良くしようと活動するゲストのお話を聞

**1月14日** まちトーク2017『どうする中山間地域?!  
～尾道松江線開通の光と影・残された道路  
の新たな役割とは?～』  
公開・主催者: 佐藤 裕治さん、森島 誠司さん

✓ 参加予定 ▼

2017年1月14日 14:00 - 16:25  
約3ヶ月前

広島市南区民文化センター  
〒732-0816 広島市南区比治山本町16番27号

地図を表示

図 facebook イベントページ (①タイトルページ)



## 詳細

～しまなみからやまなみへ～

広島県尾道市～島根県松江市を結ぶ『尾道松江線』開通後の旧道沿線地域が抱えている課題や地域づくりに関する取組を踏まえて、沿線地域で活躍する方や「道の駅」「サイクリング」といった話題に関するゲストを招き、「より良い地域づくりを行うためのヒントを探る」トークセッションを開催します。

やまなみ街道の事例を通じて、あなたも「地域づくりとは何か？」というテーマについて考えてみませんか？

定員150名、参加費無料！

パネリスト（敬称略・五十音順）

- ・上野 一 ジャイアントストア尾道 店長
- ・勝部 貴大 広島工業大学大学院工学系研究科 博士前期課程2年
- ・梵 大英 専法寺副住職/344Project 代表
- ・難波 孝憲 飯南町観光協会（道の駅赤来高原駅長）
- ・服部 恵子 飯南町地域おこし協力隊
- ・宮口 直之 プロロードレーサー（eNShare CyclingTeam）

コーディネータ：森島誠司 建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員長

### ■申込方法

下記にお名前、ご住所、電話番号、e-mailの情報を明記の上、お申込みいただけます。

[hiroshima-kenkon@chodai.co.jp](mailto:hiroshima-kenkon@chodai.co.jp)

また、当ページでの「参加予定」を押していただいても、お席を確保いたします。

やまなみ街道 地域おこし サイクリング

図 facebook イベントページ（②イベントの詳細）



今日はパネリストとしてご登壇いただき、島根県・飯南町地域おこし協力隊の服部さんと事前打合せを行いました。地域内の繋がりの強化をはじめとした、沿線に住む人たちの意識向上に係る取組に携っており、当日は「地域づくり」というテーマの中で最もコアで重要な部分に関するお話が聞けるのではないかと考えています。

打合せ後は、飯南町内にある「大しめなわ創作館」という施設を見学しました。

飯南町は出雲大社の大しめ縄をはじめ、全国各地のしめ縄を制作している生産地なのだそうです。... もっと見る



図 facebook イベントページ (③コメント：沿線地域の状況 (飯南町頓原地区))



今日はパネリストとしてご登壇いただき、344project代表の専法寺・梵副住職と事前打合せを行いました。

広島県の中山間地域に位置する三次（みよし）には、霧の海、鶏飼、古き街並み、土地の恵みを生かした日本酒・ワインやチーズづくり等々、魅力的な物や場所がたくさんあるのですが、それら地域内の垣根や市町・県を跨いだ地域間の垣根を越えた取組を行うことの重要性、それに対する現状の課題についてのご意見などのお話が印象的でした。

三次でのランチは、梵副住職がプロジェクトに携わっている三次のご当地名物「唐麵焼き」をいただきました。唐辛子を練り込んだ真っ赤な麵の辛味が特徴の唐麵焼きは、三次市内を中心に約30店舗がメニューとして取り扱っているそうです。次回訪問するときは、ビールと一緒にいただきたいと思いました。

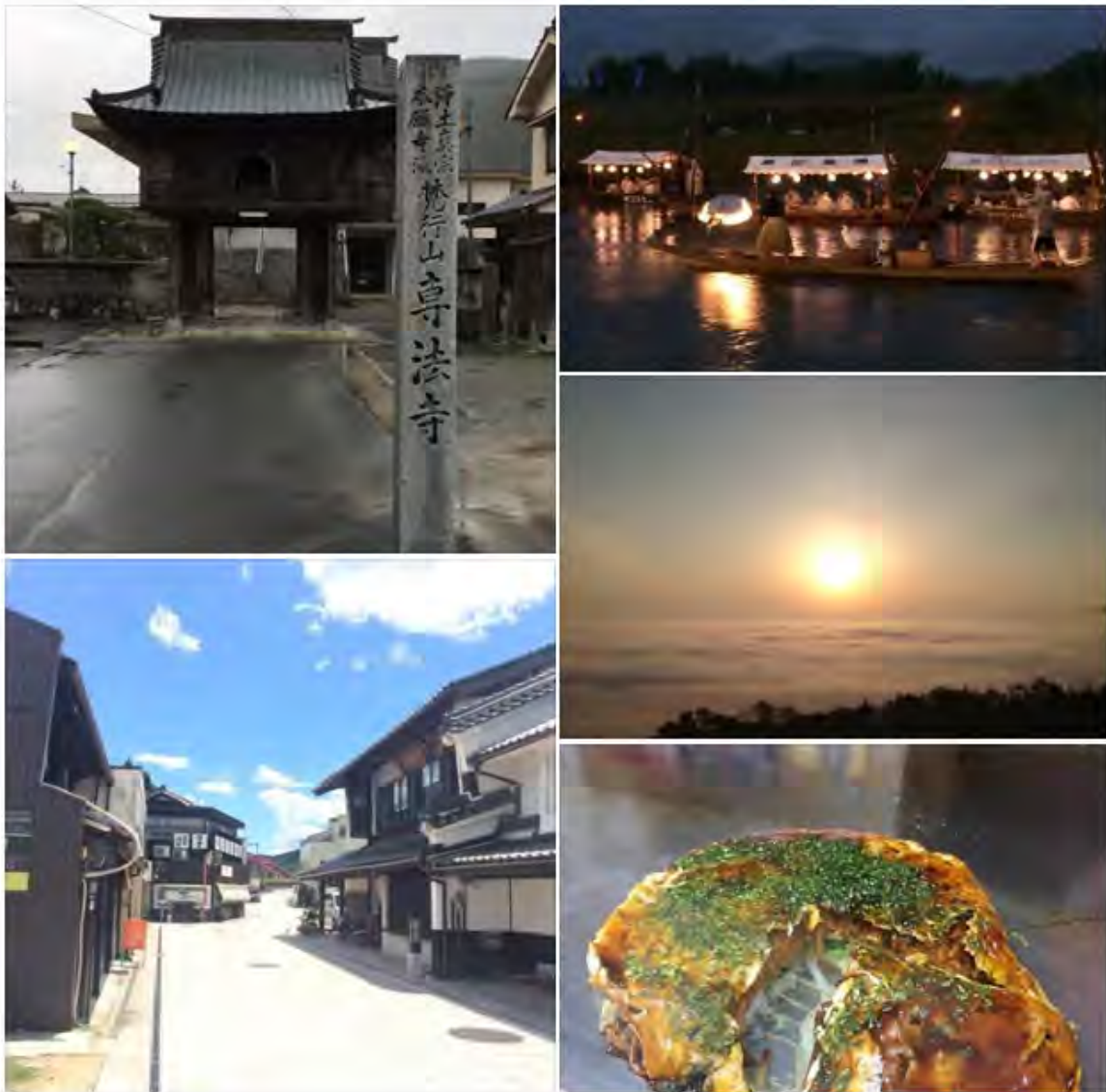


図 facebook イベントページ (④コメント：沿線地域の状況 (三次市市街地周辺))



連休やクリスマスは、充実したひとときをを過ごせましたでしょうか？  
クリスマスにちなんだやまなみ街道沿線地域の風景として、プロロードレーサー・宮口選手との打合せ後に立ち寄った、府中市上下町の街並みを紹介いたします。

尾道松江線の甲奴ICから車で約15分、世羅ICからは約20分の場所に位置する上下町には、歴史の趣漂う白壁の街並みが残されています。

その街並みのシンボリックな建物の一つが「上下キリスト教会」です。この建物が、上下町の街並みをよりユニークな存在として際立たせているように思えます。

さて、今回ご登壇いただく宮口選手は、競技活動とともに、自転車教室の開催をはじめ地域と一体となった自転車に関する取組に尽力されておられます。「やまなみサイクリングロードの可能性」という話題に加え、地域の人々の理解を得ながら自転車の取組を推進するヒントを、宮口選手からいただけるのではないかと期待しています。



図 facebook イベントページ (⑤コメント：沿線地域の状況 (府中市上下町))



## ■フライヤーとタイトル改題のお知らせ

事務局担当の佐藤です。

来年1/14（土）開催予定のまちトーク2017のプログラムとパネリストのプロフィールを記載した、フライヤーを作成しました。ご参照いただくと幸いです。

あわせて、今回のトークセッションでは、やまなみ街道を通じた「地域づくり・サイクリング・道の駅」というテーマを総合的に扱うことから、タイトルを『どうする中山間地域?!～尾道松江線開通の光と影・残された道路の新たな役割とは?～』に改題させていただきました。

ご理解のほど、よろしく願いいたします。

**まちトーク2017**  
**どうする中山間地域?!**  
 尾道松江線開通の光と影・残された道の新たな役割とは?

尾道松江線の開通後、広島県～島根県の交流が活発になりました。  
 一方で、人の行き来が減少した国道54号や国道163号地域では、いったいどのような問題を抱え、どう取り組んでいるのでしょうか?  
 白線地域をより良くしようとする活動するゲストのみなさんと、「道の駅「サイクリング」といった新たな役割」というテーマについて考えてみましょう。

平成29年1月14日(土)14:00～16:25(開場)

広島市南区民文化センター(2F スタジオ)  
 (広島市南区比治山本町16番27号 TEL:082-251-4120)

14:00 開会 話題提供: やまなみ街道沿線地域の現状	14:15 パネリストの活動紹介
15:15 休憩	15:25 パネルディスカッション
■パネリスト / コーディネーター(五十音順・敬称略) 上野 一 ジャイアントストア尾道 店員 藤部 貴大 広島工業大学大学院工学系研究科 建設工学専攻 博士前期課程2年 梵 大英 専法寺町住職 /344Project 代表 難波 孝憲 飯岡町観光協会(道の駅赤米浜道駅) 会長 服部 遼子 飯岡町地域おこし協力隊 宮口 直之 プロロードレーサー(eNShare Cycling Team) ■コーディネーター 島島誠司 建設コンサルタント協会中国支部 地域計画委員長	16:25 閉会

一般社団法人 建設コンサルタント協会 中国支部 地域計画委員会  
 公益社団法人 日本技術士会中国本部  
 せせ まちトーク2017事務局  
 株式会社 長大 広島支社 佐藤・鈴木  
 TEL:082-545-6541 FAX:082-545-6698

**会場: 広島市南区民文化センター (2F)**  
 住所: 広島市南区比治山本町16番27号  
 TEL: 082-251-4120

**会場までのアクセス**  
 JR 広島駅から西面電車(5番) 比治山下経由広島港(宇品)行(約10分) 「南区役所前」下車  
 紙屋町・八丁堀からバス(23番・横浜線) 大学病院行(約12分)「比治山橋」または「紙屋町一丁目」下車  
 バス(23-1番・横浜線) 大学病院行は経由先が違いますので、ご乗車にならないようにご注意ください。近くに駐車場がありますが電車・バスでのご乗車をオススメします。

**【参加申込票】...** 下記の項目を明記のうえ、Eメール又はFAXでお申し込みください!

連絡先  
 ご住所  
 E-mail  
 先] F A X: 082-545-6698 Eメール:hiroshima-kenkon@choda

図 facebook イベントページ (©コメント: フライヤー作成の告知)



## ■フライヤー配布場所と申込方法のご案内

事務局担当の佐藤です。

平成29年も、引き続きまちトーク2017をよろしく願いいたします。

さて、本イベントのフライヤーについて、下記の施設等にて配布しております（予定含む）

フライヤーを見かけた方は、是非お手に取ってご覧になってみて下さい。  
あわせて、イベント参加の申込方法について記載いたしましたので、ふるってのご応募よろしく願いいたします。

### 【フライヤー配布場所】（なくなり次第終了）

#### ○広島市

・ 広島県観光課、広島県庁1F、広島港、広島市役所、広島県観光連盟（予定）、広島市南区民文化センター、広島市まちづくり市民交流プラザ（予定）、ジャイアントストア広島宇品、WineBar500 "CinqueCento"

#### ○廿日市市

・ 古民家「輪 Rin」

#### ○江田島市

・ 切串港、三高港、ふるさと交流館

#### ○呉市

・ であいの館@上蒲刈島、海駅三之関@下蒲刈島（予定）

#### ○三次市

・ 三次市役所（予定）

### 【申込方法】

下記にお名前、ご住所、電話番号、e-mailの情報を明記の上、お申込みをお願い致します。

[hiroshima-kenkon@chodai.co.jp](mailto:hiroshima-kenkon@chodai.co.jp)

また、フライヤーに上記内容を明記したFAXや、当ページでの「参加予定」を押していただいても、お席を確保いたします。



図 facebook イベントページ (⑦コメント：フライヤー配布場所と申込方法)





## #みちぼち

事務局担当の佐藤です。

今回はパネリストとしてご登壇いただき、広島工業大学大学院・勝部さんの活動“みちぼち”についてご紹介いたします。

“みちぼち”とは、『広島「道の駅」秋のおでかけインスタでポチッとキャンペーン』の略称で、広島県内の道の駅とその周辺施設や風景、特産品を写真に撮り、ハッシュタグ「#みちぼち」+「#道の駅名」でInstagramに投稿すると、選考でプレゼントが貰えるキャンペーンです。

【みちぼち詳細URL】

<http://michipochi.com/>

勝部さんがどのような動機でこのキャンペーンに取り組んでいるのか、「地域づくり」「道の駅」という本イベントのキーワードとともに触れられるのではないかと考えています。

キャンペーンは2017年1月15日までとなっておりますので、今週末などで広島県の道の駅に立ち寄られたときは、是非“みちぼち”でInstagramに投稿してみてくださいはいかがでしょうか。

道の駅とその周辺で使えるお得クーポンもあるよ!

期間 2016年 10月6日 ~ 2017年 1月15日

広島「道の駅」秋のおでかけ  
インスタでポチッとキャンペーン

#みちぼち Instagram で投稿に参加しよう

あなたの投稿写真が Instagram 展パネル でもらえちゃう!!

主催/広島工業大学工学部建築工学科建築研究室 共催/ちかまーアップロゲイト 後援/広島県道中地区振興局、広島県、中国・四国づくり推進会（道の駅連絡会中国ブロック） 協賛/広島県（一財）広島県人権啓発財団

図 facebook イベントページ (コメント: パネリストの活動紹介 (みちぼち))



今回ご登壇いただくジャイアントストア尾道の上野店長との11月の打合せ時に「デニムラン」というサイクリングイベントに参加しました。ファッションとサイクリングをテーマにしたこのイベントのドレスコードは「デニム」。尾道や備後地区で活発なデニム産業にちなんだイベントで、サイクリングとともに日本のファッション文化や備後地区のものづくり文化に対する見識を深める機会となりました。

さて、上野店長が所属するジャイアントストア尾道は、しまなみ海道のサイクリング文化を支える非常に重要な拠点と言えるのではないかと思います。上野店長には、しまなみ海道での取組で得た経験や、実際にやまなみサイクリングロードを試走した経験などを踏まえて、やまなみ街道でのサイクリングの魅力や課題などについて、ご意見をいただけるのではないかと期待しています。

■ 尾道デニムプロジェクト

<http://www.onomichidenim.com/concept>

■ ジャイアントストア尾道

<http://giant-store.jp/onomichi/>

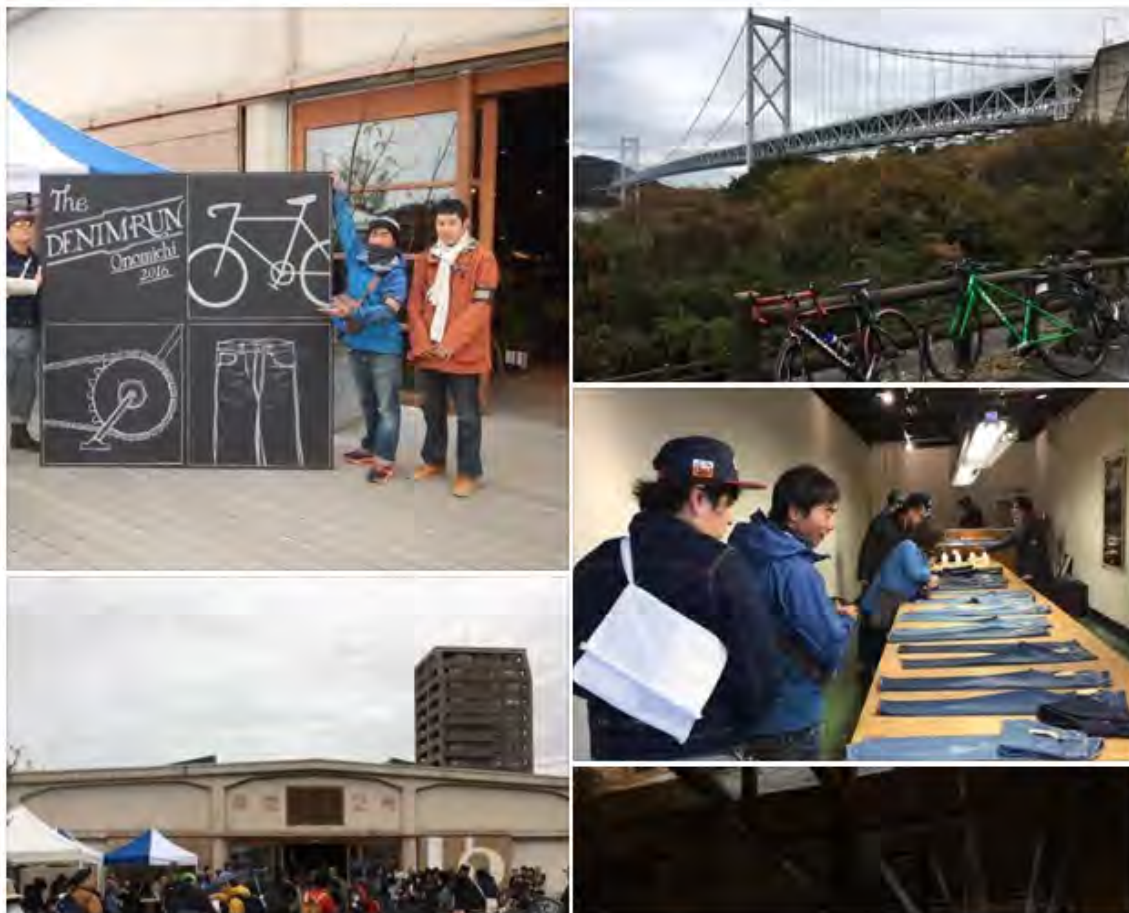


図 facebook イベントページ (©コメント：沿線地域の状況 (尾道のサイクリングイベント))



事務局担当の佐藤です。

今回パネリストとしてご登壇いただき、飯南町観光協会の難波さんがおられる赤名地区に立ち寄ったときの様子を紹介します。

赤名地区は、かつては宿場町として栄えていた地域であり、いまもわずかにその面影を残しています。そこに「銀山街道 赤名宿」と書かれた看板が掲げられた、赤名酒造という酒蔵があります。

こちらの蔵では原材料の酒米は飯南町産のみを使用し、日本酒は醸造アルコールも糖類も用いない、純米酒系のお酒のみを造る「純米酒蔵」として、最新の技術を取り入れたこだわりのお酒を造っておられます。...

もっと見る



図 facebook イベントページ (⑩コメント：沿線地域の状況 (飯南町赤名地区))



まちトーク2017を開催するにあたり、我々建設コンサルタンツ協会のメンバーでやまなみサイクリングロードの尾道～出雲間を2グループに分けて試走調査を行いました。

どちらかというサイクリング初心者側の視点で、道路状況や沿道環境をチェックしています。実際に自転車で走行して感じた当サイクリングコースの魅力や特徴、課題についてもお伝え出来ればと考えています。

なお、この日の試走では飯南町地域おこし協力隊の服部さんが参加されていた地域のイベントに顔を出し、絶品の採れたて椎茸をいただきました。



図 facebook イベントページ

(①コメント：事前調査の実施状況 (やまなみサイクリングロードの試走))



事務局担当の佐藤です。

いよいよ明日に迫りました「まちトーク2017」

会場では、ご登壇いただくパネリストやトークテーマに関連する、以下のパンフレットやチラシを配布する予定です（当日内容変更の可能性あり）

- ・とんぼらぼん（飯南町頓原エリアの自己紹介ブック）
- ・飯南町のスノーキャンドルのイベントチラシ... もっと見る



図 facebook イベントページ (⑫コメント：会場での配布資料の告知)



■ 当日参加OK

本日14:00より開催します、まちトーク2017。

少し余裕を持ってお席を用意しましたので、申込なしで直接ご来場いただく方も大歓迎です！

自分のまちや地域を良くするにはどうすれば良いだろう？ということを考えるきっかけづくりに、または中山間地域の魅力の再発見に、サイクリストの方には今年のサイクリングライフを考える「ストーブリーグ」的な位置づけとして、よろしければお気軽にご参加下さい。

みなさまのご来場、心よりお待ちしております。... もっと見る

まちトーク 2017  
**「どうする中山間地域?!」**  
 摩訶不思議な中山間地域の光と影・隠された道の新たな役割とは？

尾道松江間の開通後、広島県～尾道市の交通が益々活発になりました。  
 一方で、人の行き来が減った国道54号や国道184号沿線地域では、いったいどのような問題を抱え、解決に向けて取り組んでいるのでしょうか。  
 中山間地域をより良くしようとするサイクリストの活動を背景に、ともに1道の駅「サイクリング」といった試練も交えたまちトークセッションを行います。  
 このイベントを通じて、あなたも「地域づくり」「交通の新たな役割」というテーマについて考えてみませんか？

【日時】平成 29年 1月 14日(土) 14:00 ~ 16:25(開場 13:30)  
 【会場】広島市南区市民文化センター(2F スタジオ)  
 (広島市南区比治山2-1-1 電話 27-79 15302-251-4120)

参加費無料！  
 定員150名

14:00 開会  
 14:15 基調講演：やまなみ街道沿線地域の現状  
 14:45 パネリストの活動紹介  
 15:15 休憩  
 15:25 パネルディスカッション  
 ●パネリスト / コーディネータ(五十音順・敬称略)



図 facebook イベントページ (⑬コメント：当日参加OKのアナウンス)



「まちトーク2017」にたくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。また、こちらのページにも100名を越える方がご興味を持っていただき、重ね重ね御礼申し上げます。

やまなみ街道という中山間地域の一事例をテーマに「地域住民」「取組を行うプレイヤー」「エキスパート（自転車・道の駅）」というそれぞれの立場の経験に基づいたトークセッションを通じて、地域づくりという課題について知り・興味を持ち・考えるきっかけになっていただけると幸いです。

本イベントでは各パネリストはもちろん、ご来場者の中にもこのテーマについて熱心に考えておられる方も多く、イベント終了後もパネリストや来場者同士でも交流や議論をされている姿が多々見受けられたのが印象的でした。このイベントがはじまりとなり、新しい交流や取組を生むきっかけになっていただけると幸いです。



図 facebook イベントページ (14コメント：フォーラムの開催状況)



### 3) 「ひろしま里山チーム500」ホームページによる案内

広島県中山間地域振興課が運営する「ひろしま里山チーム 500」ホームページに、フォーラムのタイトルと facebook のイベントページのリンクを掲載していただき、開催案内を行った。

The screenshot shows the homepage of the Hiroshima Ryusan Team 500. The header includes the team logo, navigation tabs (Home, About Team 500, Member Profiles, Player Activities, News, Entries, Contact), and social media icons for Twitter and Facebook. A search bar is also present. The main content area is titled 'ニュース' (News) and features a list of announcements:

- 2月11日、広島県で「すごい交流会」を開催します！
- 【1/20fri HCC】Hiroshima Creative Cafe Vol.6開催★
- まちトーク2017『どうする中山間地域?!』～尾道松江線開道の光と影・残された道路の新たな役割とは?...
- 申込書からのご支援が可能になりました【廃校リノベ・クラウドファンディング】
- チーム500の設立に関して中国新聞に掲載いただきました！

At the bottom of the news list, there is a pagination control showing '2 / 4' and buttons for navigating between pages (1, 2, 3, 4).

図 ひろしま里山チーム500による開催案内





## 2.2.2 開催概要

イベント名：まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」

尾道松江線開通の光と影・残された道の新たな役割とは？

開催日時：平成29年1月14日（土）14：00～16：45頃

会場：広島市南区民文化センター2F スタジオ

パネリスト：上野 一 氏（ジャイアントストア尾道 店長）

勝部 貴大 氏（広島工業大学大学院 工学研究科建設工学専攻博士前期課程2年）

梵 大英 氏（専法寺副住職/344project 代表）

難波 孝憲 氏（飯南町観光協会（道の駅赤来高原駅長））

服部 恵子 氏（飯南町地域おこし協力隊）

宮口 直之 氏（プロロードレーサー（eNShare Cycling Team））

コーディネータ：森島 誠司 （建設コンサルタンツ協会）

プログラム：開会

話題提供：やまない街道沿線地域の現状

パネリストの活動紹介

パネルディスカッション

閉会

やまなみ街道に関する中山間地域が抱えている問題をテーマに、地域計画委員会の話題提供と各パネリストの活動紹介を踏まえて、地域の魅力と抱えている問題点「光と影」を話題の切り口に、問題解決に関する熱いトークが開催された。

### 【話題1】地域の魅力と抱えている問題点「光と影」

地域の抱える課題として、市町間をまたいだ地域連携、地元の住民が見落としがちだった魅力の発見・活用、交通アクセスや施設・環境・マナーの充実、情報発信の充実という意見が挙がった。

### 【話題2】道の駅や国道のこれからの使い方

道の駅や道路のこれらかの使い方という話題については、道の駅を情報発信の拠点として周辺地域を盛り上げていく役割、サイクリストの拠点や地元住民・子供たちが楽しめる拠点づくりへの展望や実施事例、地元の人々が主体となった拠点づくりやサービスの必要性、地域の特色・魅力の発信、ターゲットを見据えた道の駅と周辺地域の整備の必要性といった意見や話題が寄せられた。

### 【話題3】地域づくりの人材育成に関する取組

地域づくりの人材育成という話題では、受け皿となる雇用・経済の充実、自分だけでなく他者や他地域のニーズや利益を考えて行動する姿勢、地元の魅力の再発見と次の世代への継承が重要であるという意見が挙げられた。

### 【話題4】会場からの質問

1つ目の質問では、若者を地域に呼び込むためのアドバイスが求められ、他にはない特色のある施設や仕掛け、多様なイベントの継続的な開催、様々な取組の情報発信の必要性といった意見がパネリ



ストより挙げられた。

2つ目の質問では、九州で同様の課題を抱えている地域に対する意見が求められ、全国のサイクリストや自転車チームが連携した取組の実施（合宿の誘致）という回答が、例示的に挙げられた。

#### 【総括】

パネルディスカッションの内容を総括すると、地域活性化の課題及び解決策を考える上で、以下の内容が全体を通じて話題に挙げた重要なキーワードであると考えられる。

- 「市町村間をまたいだ地域連携」
- 「地域の魅力の再発見と活用」
- 「地元の人々が主体となった取組の実施」
- 「地域の魅力・特色の情報発信」

やまなみ街道という中山間地域の一事例をテーマに「地域住民」「取組を行うプレイヤー」「エキスパート（自転車・道の駅）」というそれぞれの立場の経験に基づいたトークセッションを通じて、来場者が地域づくりという課題について知り・興味を持ち・考えるきっかけを提供する機会となった。

また、本イベントでは各パネリストはもちろん、来場者の中にもこのテーマについて熱心に考えておられる方が多く見受けられ、イベント終了後もパネリストや来場者同士でも交流や議論をされている姿が多々見受けられたのが印象的であった。

イベント終了後には、来場者から「これまで知らなかったことを沢山知ることが出来、発見の多いシンポジウムだった」「とても充実した内容で、今後の自分たちの取組にも活用できる」といった感想が寄せられた。



開催状況写真



### 2.2.3 開催結果

まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」には、約 80 名の参加があった。

主な来場者の顔ぶれ：地方自治体職員、地域おこし協力隊、フェリー会社、建設コンサルタント各社、  
自転車関係者（プロロードレーサー、サイクリングチームスタッフ、自転車愛好家、） 他

以下に、開催内容を掲載する。

#### (1) 開会

##### ■森島（建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員長）

はい、大変お待たせ致しました。ただ今より建設コンサルタンツ協会中国支部主催であります、「まちトーク 2017 どうする中山間地域?!」を開催させて頂きたいと思っております。わたくし今回進行を務めます、建設コンサルタンツ協会地域計画委員長をしています森島と申します。本日はどうぞよろしくお願いいたします。年の初めの市内ではほとんど祭りも今日しきりに準備されている姿がありましたけれども、いろんな行事がある中で我々のこの主催行事に参加していただきましてほんとにありがとうございます。

我々建設コンサルタンツ協会というのは、ピンとこない方が多いんじゃないかと思うのですが、皆様の身近にある例えば道路だったり、橋だったり、川だったり、港だったり、あるいはダムだったり、そういったもの社会のインフラ全般に関わる調査とか設計とかあるいは計画とかあるいは維持といった、そういったものに携わっている業界の集まりが建設コンサルタンツ協会という団体となっております。

私ども地域計画委員会は街づくりに関して様々な活動を行っておりまして、その中で社会貢献活動としまして毎年 1 回から 2 回このようなフォーラムを実施させていただいております。今回のフォーラムで 10 年目 10 回目を迎えます、昨年 10 月には「公営競技とまちづくり」ということで、公営競技というのはギャンブルのことですね。ボートレース、オートレース、競輪、中国地方でいえばこの 3 つですけれども、こういったものが縮小していく中でこれからそういった公営競技をどう生かしていくか、どうやって街づくりに生かしていこうかというトークを昨年の 11 月に実施させていただきました。

年あたりの今年の第 1 弾としまして、今度は「どうする中山間地域?!」ということで我々特にインフラ整備を担っている中では、尾道松江線が開通して様々なところで取り上げられて道の駅も繁盛もしている状況などが取り上げられる中で、54 号線という所の道の駅会社の解散といったような寂しいニュースも流れています。こういったところで、せっかくの社会インフラ、いろんな道の駅も整備されていますし、道路もあるということでこういったものをどう地域に生かしていくべきかというところをテーマにしまして、今日のこのまちトークの企画とさせていただきます。

今回 6 名のすばらしい実践をいろんなところでされているパネリストの方をお呼びしますので、後半はその皆さん方のトークをゆっくり楽しんで頂ければと思います。このまちトークとしますのはシンポジウムとか講演会ではなくてパネラーの方同士のトーク、会話の中から皆さんで感じ取ってもらってこのセッションの中で答えそのものを見つけ出していくわけではなくて、皆さんに感じ取ってもらって会場の皆さんにもやり取りするコーナーもございますので、そういった意見交換の中で皆さんなりの答え



を見つけて頂きたいという趣旨でトークとさせて頂いております。

それでは少し長い時間になりますけれども最後までよろしくお願いいたします。最初に我々建設コンサルタント協会の方から話題提供ということで、尾道松江線についての状況というのを報告させていただきたいと思います。



開会挨拶（森島委員長）の様子



## (2) 話題提供：やまなみ街道沿線地域の現状

### ■奥田（建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員）

どうも皆さんこんにちは。建設コンサルタンツ協会中国支部地域計画委員の奥田倫全と申します。どうぞよろしくお願いたします。それでは私から本日、やまなみ街道の沿線地域の現状というテーマで話を進めさせていただきたいと思います。話の流れといたしまして、まず、やまなみ街道の特徴、次にやまなみ街道の整備効果、やまなみ街道沿線地域の現状と課題、そして最後に活性化に向けた取り組みの事例という流れで話を進めさせていただきたいと思います。

やまなみ街道ですが、こちら開通前に公募で集められた愛称でありまして、正式には中国横断自動車道尾道松江線という道路の名前です。総延長が137kmで、平成27年3月22日に吉舎IC間と世羅IC間が開通いたしましたして全線開通いたしました。開通したことによって尾道から松江の137kmの所要時間が2時間となりまして開通前と比較して80分の時間の短縮となっております。

特徴といたしましては新直轄方式という方式の道路で造られまして、尾道北ICから三刀屋木次IC間の約104kmが無料の高速道路ということになっております。山陰と山陽を繋ぐ無料の高速道路が出来たことによって、さらなる交流の促進や活性化が期待されている道路となっております。ではこの高速道路がなぜ無料なのか、新直轄方式ということをご簡単に説明したいと思います。

道路は道路法上、高速自動車道路と国道と都道府県道と市町村道という4つに分けられます。私の道と書いて私道というのがあると思うのですが、道路法上では一般の個人の所有物ということで道路にカウントされていません。

高速自動車道路ですが道路の延長の割合でわずか0.7%しか占めておりません。全国に張り巡らされているので、もっとあるのかな、と思うのですが0.7%しかありません。その0.7%の高速道路ですが、新直轄方式という道路方式で造られた整備方式、左下になるのですが新直轄方式は9,000kmの高速道路の中でも834kmの計画しかありませんので、その0.7%の計画の中でも10%未満の計画のため、全国でも非常に珍しい整備の方式とすることができます。

それで、新直轄方式とは何なのという所ですが、新直轄方式は普通の有料の造り方とは違ひまして、3/4以上が国の負担で造られる高速道路となっております。残りは広島県と島根県が負担しています。

その新直轄方式のメリットとデメリットですが、メリットといたしましてはもちろん料金が無料という事、そして無料という事で料金所がいらすに人件費がかからないという事、料金所がいらないのでICをわりと簡単に作ることができ、ICの間の距離が短いという事、そして、その土地もあまり必要ありませんのでその維持費とかもかからないという点が上げられます。

デメリットといたしましては、有料高速道路との乗り継ぎですね。JCTで普通の高速道路同士だったら結べるのですが、必ず料金所を挟まなければいけないのでICで1回降りなければいけません。尾道松江線だと中国自動車道が三次東ICで結ばれているのですが、1回降りてからまたICを通過して乗るという方式となっております。

またもう一つのデメリットといたしまして生活交通ですね。普通、有料高速道路ですと短い区間の利用はあまりないのですが、無料という事で生活道路も高速道路に乗ってしまつて現道側の交通を吸い上げてしまうという点がデメリットとして考えられます。



ではそのやまなみ街道の整備効果を話していきたいと思います。こちらのグラフが広島県のやまなみ街道周辺にある有料観光施設の年間利用状況のグラフですが、松江自動車道が全線開通した平成 25 年 3 月と尾道松江線全線開通平成 27 年の後にグラフの利用状況が上がっているのがわかります。特に三次にある奥田元宋・小由女美術館は利用者数が激増しているのが一番下のグラフですが見てわかると思います。

同様に島根県内のやまなみ街道周辺の観光施設でも松江自動車道、尾道自動車道の開通によって前年より利用者数が増加しています。一番上のグラフは松江城で、とてもすごい上がり方をしているのですが、平成 25 年は出雲大遷宮、平成 27 年に松江城は国宝に認定されましたのでその影響も大きいかと思いますが、一律上がっていることがわかります。

道の駅さくらの里きすきなどでは、ずっと右肩下がりだったのですが、開通によって三刀屋木次 IC までが無料の区間ですので、そこで降りてそこから現道を走る方が利用されているため、右肩上がりに利用が増えているのではないかということが考えられます。

次にやまなみ街道全線の道の駅の来場者数ですね。全線開通後には来場者数と売り上げともに上昇していることがわかります。来場者数は新しくできた道の駅も入れて 1.6 倍に増え、売り上げも 1.5 倍に増加しています。

道の駅の売り上げと来場者数が増えることで地域が活性化するという事はどういう事なんだろうという事を見ていきます。まず単純に人が来るという事でそれ自体も活性化になるのですが、まず地域にお金落ちるという事が一番にあります。地域にお金落ちると、そのものを売る人だったり生産する人の働く場所など作るために労働が生まれ、それによって街の活性化に繋がる。この図を見て頂けると分かるのですが色んな方面で街にプラスなことが起こります。

続きまして交通量ですね。現道側の交通量を青色で現道側と尾道松江線の交通量を足したものを赤色で表現しています。地点 1 地点 2 地点 3 地点 4 と測っているのですがどの地点でもやまなみ街道と現道の交通量を足した交通量が大幅に増えている事がわかります。これは南北の行き来が増えているという事が分かるグラフとなります。

それに対して現道の交通量、青色の交通量は 52%から 60%、29%、64%とかなりの量が落ちていることがわかります。先程見た交通量でも分かるのですが、やまなみ街道の全線の現状と課題という事で、やまなみ街道に並行する国道の交通量が減少し、道の駅など立ち寄り施設の入り込み客数が減少しました。道の駅赤来高原を運営していたフロンティア赤来高原ですね、去年解散いたしまして現在は飯南町観光協会の方が道の駅赤来高原を運営されております。

こちらのグラフを見て頂いても分かるのですが、もともと人口減少などによって少し下がり気味になったところが、尾道松江線の開通の影響で大きく減少してしまっていることがわかります。

右が北になっているので分かりづらいのですが、一畑バスの運行ルートの変更という事で、平成 25 年の 4 月に松江広島線と出雲広島線が一畑バスでルート変更したもので、今までずっと現道を走っていたのですが、やまなみ街道にルートを変更いたしまして所要時間は確かに短くなったのですが、現道側の地域としては公共交通の減少などで大変不便になりました。他のバス会社のほうも色んなルートや路線で減少していますので、現道側にはとても大きな影響があったと思います。

やまなみ街道沿線地域のそれぞれの課題に対するやまなみ街道沿線地域の活性化への取り組みにつきましては、本日来られているパネリストの方々からお話があると思いますので、私からは一つ自転車



というテーマのみで話を進めさせていただきたいと思います。

なぜ自転車なのという所なんです、平成 28 年 4 月に沿線関係者によってやまなみ街道サイクリングロードというものが設定されました。やまなみ街道サイクリングロードは国道 54 号、184 号などの沿線地域の活性化の取り組みとして、沿線関係者として、国土交通省、広島県、島根県や沿線地域の市町村の方々が連携いたしまして、尾道駅から松江しんじ湖温泉駅を結ぶ全長 187km をやまなみサイクリングコースと選定いたしました。またその沿線に 18 の主要コースも合わせて選定しております。

左下の中国山地をぐるりと一周道の駅グルメ堪能コースというのを見て頂くと分かるのですが、こちらのコース高低差図を見て頂けると、とても高低差がありまして、全長 120km ありますので初めて挑戦しようという方には厳しいコースなのですが、自転車を何度も乗っている人にはとても走りがいのあるコースで、道の駅なども 6 つ寄れるのでとても魅力的なコースです。その他にも距離の短いコースなどありますので是非サイトを見て頂きたいなと思います。島根県や広島県のホームページにやまなみサイクリングロードと検索して頂きますと出てきますので是非ご覧ください。

実際にこのサイクリングコースを体験してみようという事で、尾道三次チームと三次出雲チームの 2 つに分かれて 11 月 26 日に行ってきました。まず尾道三次チームです。もう一個の資料、やまなみサイクリングレポート尾道三次、このオレンジ色の A3 の両面のものを見て頂けただけだとどのようなコースを走ってきたかというルート図と、実際に走ってみた感想などを 1 枚にまとめていますのでご覧ください。少し暗くて見えづらいかもしれませんが是非あとで見てみてください。

三次尾道チームは尾道まで車で行きました。そこからジャイアントさんでレンタサイクルをして自転車を借りてスタートしました。最初クロスロードみつぎなんですけども、クロスロードみつぎまで坂がきつくて大変でした。この方向は右の方に自転車が停められるような場所があるのですが、しまなみサイクリングコースと書いてあったのでちょっとやまなみバージョンを作ってほしいなと内心思った所です。軽快に走りまして、これもうゴールなんですけども正直笑ってはいるんですけども足も笑ってました。

次が三次松江チームです。三次松江チームは広島から三次、赤名の道の駅赤来高原まで、自転車をバスや車に積んで移動しましたので解体している様子です。バスに乗せて三次を観光して赤来高原へ移動して走り始めています。こちらは山を越えてから赤名という下り坂ですね、松江までずっと下り坂のルートを進んだので基本右のマインドが黄色い簡単なオレンジの顔になっています。ほんとはかなり赤来高原まで上り坂なので是非そちらも体験してほしいなと思います。余裕ですねやっぱり。こちら自転車も停められるスポットがあります。もう着いたころには真っ暗になってます。

試走を終えてという事でやまなみサイクリングロードの特徴といたしまして、豊富な休憩施設ですね。道の駅やコンビニ等休憩する施設のスポットの魅力が特に感じ取れました。また起伏に富んだ走りがいのあるコースという事で、山道ですので上り坂上り終えた後は辛いんですけど下り坂が気持ちいいコースとなっております。また道中の雄大な自然、山間風景というのはなかなかあの距離を走ってて見ること体験することは難しいのかなと感じました。

逆に課題なのですが、レンタサイクルの整備ですね。尾道と松江にはあるのですが 187km あるということで、なかなか 1 日でそのコースを駆け抜けられる人はいないので途中の起終点、三次周辺でも乗り捨て可能なレンタサイクルのスポットがあるとより利用しやすい環境にはなるのかなと思います。先程見て頂いた 18 の周遊コースですね、三次から結構起点でスタートできるコースが多いので、三次にあ



ると望ましいのかなというのはいました。

もう一つが少ない情報で、休憩施設や立ち寄りスポットの情報を見ることができるマップやサイトがしまなみ海道と比べて少ないのではないのかなと思います。封筒の中にもう一枚しまなみサイクリングマップという青い紙が入っていると思うのですが、しまなみ海道のサイトからダウンロード出来るのですが、裏を見て頂くと緊急時の対応であったりコインロッカーやシャワー、温泉施設の情報であったり、どこで乗り捨てできたり自転車を借りられるよという情報だったりがこの一枚で見ることが出来ますので、とても便利なマップになっております。また色々体験した人も多いのでいろんな感想をサイトの中で調べることができて、とてもしまなみ海道は情報が充実しているなと感じるところです。

また急カーブや急坂など危険な箇所への注意を促す標識が少なかった。自転車目線なのですが、やっぱりどこが危険目線か直前になるまでちょっと分かりづらかったのでその点、標識などあれば便利のかなと思いました。また路面の凹凸やトンネル内が暗いので走行に危険な箇所が見られたという所があります。

今課題と良い点を述べたんですけども、自転車による活性化は可能なのか？というところで二つ考えられる事があって、自転車ニーズの高まりによる需要の増加と言うことで、こちらジャイアント尾道レンタサイクルの利用実績なんですけども、2014年から2016年にかけて2年で利用実績が2倍以上になっておりまして、自転車に乗る人の人口が確実に増えているなというのが伝わってきます。環境にも良いので、日本世界でも利用が促進されるトレンドとなっているという事ができます。

僕、台湾に行ってきた自転車に乗ってきました。しまなみ海道と姉妹自転車道と言う、日月潭と言う所で台湾の真ん中にあるのですが、バスターミナルで地下にジャイアントのお店があってそこでレンタサイクルができるんです。湖を一周できる約30kmのコースなんですけども、結構やまなみ街道と同じで山の中を回るコースで高低差があるんですが、かなり外国人の観光客の方や台湾の人が自転車で走っていて、山の中でも設備とか整ったりコースがしっかり整備すれば自転車に乗る方は来るんだなというのを実感したところであります。

こうやって自転車道の道を人が普通に歩いていたりしているのですが一周にわたってきれいに整備されております。これ休憩施設なのですがとても綺麗です。自転車以外の人も利用されていたのですが、とても自転車の環境としてすばらしい施設だなと思いました。

もう一つ自転車による活性化の可能性といたしまして、サイクリングロードの選定と自転車関連の法整備で行政の支援が望めるという点があると思います。先程やまなみサイクリングロードが選定されたということで道路整備や周辺施設等の整備に行政支援が望めるのではないかという点と、2016年の12月に自転車活用推進法案というものが国会で可決されまして、自転車活用のための政策を国と自治体がしなければいけないという事を定めている法律になります。これによって今まで自転車というものが日本の道路の中であまり考えられてなかったのですが、これからもっとメインに考えられていくのではないかなと思います。

最後に島根県がやまなみサイクリングロードをどういう風に整備するのかというのをのせています。トンネルが暗いとか路面凹凸とかしまなみ海道みたいにブルーラインを引くという整備を考えているみたいです。建コンといたしましても魅力は大変ある自転車道だと思いましたので、これからしっかりと環境を整えていけば自転車で街を活性化するっていうのはできるのではないかという結論で話を終わらせて頂きます。ご静聴ありがとうございました。





## ■森島

はい、ありがとうございました。だいぶ時間がオーバーしてしまいましたけども、彼は自転車大好きで、広島への就職が決まった時横浜から広島まで自転車で実走してきたぐらい自転車好きなのでちょっと話が長くなりました。



話題提供（奥田委員）の様子



### (3) パネリストの活動紹介

#### ■森島

それでは早速なんですけども、パネリストの皆様をご紹介したいと思いますので、皆さん壇上の方にお上がり頂いても宜しいでしょうか。今日6名のパネリストの方に来ていただいております。それでは、私に近い方からご紹介したいと思います。三次専法寺副住職であります、三次プロジェクトの代表の梵大英さんです。

#### ■梵（専法寺副住職／344Project 代表）

よろしくお願いします。

#### ■森島

そして続きましてお隣ですけど、広島工業大学大学院工学研究科の勝部貴大さんです。

#### ■勝部（広島工業大学大学院工学研究科 建設工学専攻 博士前期課程）

よろしくお願いします。

#### ■森島

ジャイアントストア尾道店長の上野一さんです。

#### ■上野（ジャイアントストア尾道 店長）

よろしくお願いします。

#### ■森島

プロロードレーサーの宮口直之さんです。

#### ■宮口（プロロードレーサー eNShare Cycling Team）

よろしくお願いします。

#### ■森島

飯南町地域おこし協力隊の服部恵子さんです。

#### ■服部（飯南町地域おこし協力隊）

よろしくお願いします。

#### ■森島

最後になりますけれども、飯南町観光協会道の駅赤来高原駅長でいらっしゃいます、難波孝憲さんです。



■難波（飯南町観光協会 道の駅赤来高原駅長）

よろしくお願いいたします。

■森島

今日はこの6名の方でトークセッションですが、最初に皆さんから1テーマずつご紹介いただきますので、それでは一旦皆さんお席の方にお戻りいただけますか。それではトップバッターはあいうえお順という事にしましたので、上野さんよろしくお願いいたします。



パネリスト紹介の様子



## ■上野

みなさんこんにちは。ジャイアントストアの上野と申します。先ほどやまなみ街道の自転車のこと、説明を色々聞かせていただいたのですが、非常に大変なコースで僕も走ったのですが、大変大変で、最後もう道の駅・赤来高原さんでは死んだ魚のようになってたんですけども、練習コースとしてかなり良いコースだと思いますので、私も今後宮口さんと一緒に走っていきたいと思います。よろしくをお願いします。自己紹介ですけども私、ONOMICHI U2 のジャイアントストア尾道というところで働いております。私以前ですねまあ地元ですね造船会社ですね法人営業みたいなことをやっていたんですけども急に、社長から「お前、自転車をやれ」って言われてですね、それで数年前ですねこの業界にジャイアントさんのほうに修行に行きまして、それで三年前にジャイアントストアの方で、こちらで働いています。そうですね、ONOMICHI U2 なんですけども。みなさん、ONOMICHI U2 の名前何からきているかご存じですか？わかんないですか？ちょっと見えにくいんですけど、県営って書いてあるんです。県営2号って書いてあって、広島県の実業倉庫をリノベーションをしてですね。建物の正式名称は県営上屋2号なんですけども。有名な建築家にですね、お願いして古い趣を残しながら、一見して外観からは想像がつかないようなコンテンツを擁するとして、大変ありがたいことに尾道の観光名所としていろんな観光客の方においで頂いております。U2 のシンボルマークの屋外サインのところに、観光客の方が自撮りで写真を撮られたりして結構名所になっている所でもあります。名前なんですけども、県営上屋2号なので上屋2号を取ってU2 という名前になっております。ちなみに私が、上野一なのでU1。ちょっと、微妙でしょ。

なので、U2 の中でU1 が働いているということでもよろしくお願いします。

ではお店の話をしますと、ジャイアントストア尾道は2014年3月22日にオープン致しまして今年で3周年を迎えます。レンタサイクル、修理メンテナンス、自転車の車体およびパーツ販売をしております。レンタサイクルにつきまして先ほどご紹介にあがりましたが、2014、15、16年と結構倍近く伸びています。2014~2015年の間に、実は初年度にだいたい30台ぐらい当初レンタサイクルやっておりますと予約がかなり埋まってしまったので、パンパンでみんな借りれないということで50台に増大しまして2016年オペレーションもうまく回るようになりまして、貸出累計5,300台となっております。お客様の内訳を申し上げますと、ほぼほぼ観光客の方が移動なさっております。地元の方は少ないです。インバウンドの方が体感なんですけども1~2割ぐらいいらっシャっています。男女比率を申し上げますと大体6:4、7:3ぐらいです。結構女性の方も利用なさって正直販売の方は、女性のお客様はうちの少ないんですけどもレンタサイクルにおいては非常に女性の方が多いです。それはやっぱりカップルで旅行にいらっシャったりとか、あとは女子会っていうんですかね。女子の集まりにですね、他にこられたりする方が結構いらっシャって思ったよりも女性の方の利用が多いです。

メンテナンスなんですけども、こちらはしまなみ海道を走られる方がメインで例えばパンクしたとか、チェーンが切れてしまったりとかそういったトラブルを対応するためにうちのほうも最初は、立ち上げの時は大変だったんですけども色々部品も用意することができるようになりまして大概の修理のほうはできるようになっていますので、そのあたりはお客様の方に安心ということで評価いただいております。自転車とパーツ販売につきまして自転車というのは、観光客のかたは「じゃ買ってかえるか」というわけにはいかないので地元のお客様が中心の販売になっております。



パーツについては、観光客の方いらっしゃるんですけども。自転車のお客様、購入されるお客様なんですけども…ありがたいことに尾道地区っていうのは観光客の方が全国からいらっしゃって来て、サイクリストなので上から下までヘルメットとかジャージとかそういった物をフル装備で来られるんですね。そういう方がですね、要は地元の方に対してのロールモデルになっているんですね。なので、自転車乗りというのは「こういうものだなあ。」っていう感じで結構ある程度私たちスタッフがいかにか説明しても所詮それは、販売者とお客様で営業トークになっちゃうんですけども、横の目線でお客様がサイクリストというのはこういう格好しているんだなというのをロールモデルになっていただいているので、そのあたりパーツと自転車の販売は他の店舗に比べて非常に多いです。

それと、あとですね。もう1つ興味深いものがありまして結構お年寄りの方が実は当店買いに来られてですね。例えば島で、畑を耕しているおじいちゃんおばあちゃんが「私らにもできそうじゃない」ってことで。「家の前をサイクリストの方がよく走っている」って結構買いに来られる方が多いです。普通は先入観なんですけども、そういう自転車というのは若い人のスポーツじゃないのか。という風に思われがちなんですけども、見事に当店ではそれが若い人のスポーツではないと実証されているような気がしますね。という内容で、ジャイアントストア尾道はやっていきます。ジャイアントの方で私修行しまして一応販売とか整備のほうを勉強しまして、とりあえず向こうの会社さんと一緒にやっていくうえでビジョンいうのを共有しないとイケないということで。何の為にやるのかいう部分をちょっと勉強したんですね。それでこういったですね、ジャイアントの冊子のようなものなんですけども、この中に走る楽しさをもっと身近にとかいうんですけども。これちょっと、僕もピンとこなくてなんのこっちゃっていう感じだったんですけども。先日ですね、臼井部長というジャイアントNO.2の方と雑談をした時ですね。「上野君これはね、我々は自転車を売っているんじゃなくてサイクリングを売っているんだ」ということをおっしゃっておりました。これで僕は、結構それが腹に落ちたというかそう思ったんですね。要はお客様のニーズというのは、自転車を買いに店に来ているんじゃなくて自転車を利用して、例えば走ることによって気持ちよく滑走する爽快感だったりとか、痩せるとか体が引き締まってくるフィットネスとかダイエット、あとは女の子同士で綺麗なサイクリングウェアを着てみんなで写真を撮ったりして。「私かわいいかしら」みたいなそういったファッションですね。そういったものがあって自転車を買いに来てくれるということなんです。ニーズとして、楽しいサイクリングを求めに来ていらっしゃる。その中で当然自転車というのは必要だしフィールドというのは走る環境です。

今回、やまなみ街道が一つのテーマになっているんですけども、当然フィールドというのも大事です。あとは、コミュニティです。これは宮口さんすごく得意なんですけど、「みんなで走ろう」ということなんです。一人で走っても楽しくないです。みんなでワイワイしながら写真撮ったりしながら、「ここ美味しい」とかそういうこと言いながら一緒に走ることによって楽しいサイクリング。これがうまくかみ合うことで実現するということです。当然ですね、私も自転車だけ言うところにはいかないので、やまなみ街道を自転車で走ってみました。10月27日にジャイアントストア尾道からジャイアントストア松江の方まで188.7kmを1日でなんですけども、標高が延べなんですけども、登りだけでしたら1,900mですね。本当に朝6時から晩の7時までかかりましたけども、なんとか行ってまいりました。先ほどの写真にあるように、道の駅・赤来高原さんの方でお世話になったんですけども。この頃は、かなり私も死にました。余裕は全然なかったので、走ることだけで写真とか全然撮れなかったんですけども、なんとか行ってまいりまして。いろいろ課題というか楽しいところもありましたし、ここあった方



がいいなというのもありましたので。今日はそういったところをセッションして楽しいトークにしたい  
なと思いますのでよろしくお願いします。ありがとうございました。



パネリストの活動紹介（上野 氏）の様子



## ■森島

ありがとうございました。では続きまして五十音順で勝部さん、でも道の駅の話全部してからの方がいいかもしれませんので急遽梵さんでお願いします。

## ■梵

失礼します。皆さんこんにちは。三次からやって参りました梵と申します。よろしくお願い致します。少しプロフィールをまどろっこしくまとめさせて頂きました。本職は僧侶であります。浄土真宗の本願寺派の専法寺と言うお寺の副住職をさせて頂いております。個人的に町と同世代、20代、30代、40代と共にですね、色々できるグループ、まあ団体と言うよりはグループを作ろうじゃないかという事で「344(さんよんよん)プロジェクト」というグループを数年前に立ち上げまして。“み” “よ” “し” の3、4、4の三次で344プロジェクトという事になります。あと、三次商工会議所の青年部に所属をさせて頂いたり、観光協会の理事を務めさせて頂いております。実は関東の方からUターンして参りまして鎌倉市と言う所に住んでおりました今年で9年目に入りました。趣味はサーフィンです。最近、田舎の三次に帰ってきて海が無いものですから、自転車乗ろうかなあと思っております。実は私、一時期ですね、20代、それぞれ大卒すぐにですね、国営備北丘陵公園っていう所に就職をしましてオートキャンプ場で4年間勤めておりました。今思い起こせばその時に三次から庄原まで自転車で通いよったなあ、ふと思い出しまして、丘陵公園でもクロスカントリーの自転車の大会とかですね色々ありまして自転車は個人的にも好きで。今、こんなに自転車が熱くなるとるんかというのを今、改めてお伺いさせて頂いてびっくりしております。

まあ、梵という名前でもどうしても出てくるのがまあ、彼で、似とるようで似てないですが、似とったとしても彼が僕の方に似とるわけで。まあ…そういう事です。まあ、彼の、まあある意味こう効果というか、梵って名前、珍しいものですから、わりと注目をさせて頂いているんですが当初はまあ、あまり心地良いものじゃなかったです。広島特に関東に住んでる頃は広島に帰ってきますとですね、梵という名前に非常にこう敏感に反応する広島県があったなあというのをびっくりした事もありまして、一時期名前を伏せて「田中です」と言ったりですね、田中さんいらっしゃったらすみません。まあ、ある時ふと開き直りというか隠しても隠し通せるものでもないし、彼にも力を貸してもらって色々やっていこうかなあという事になりまして。で、今では、彼も三次の方へ寄せて頂いて色々協力をして頂いております。で、その中でどうしてもこうカーブというのが出てくるので、今、カーブスピリッツという今年の2017年のが出ると思いますが、この週間スケジュールの中に僕の週間への一言が書いてあったりですね、あの、アスリートマガジンでは月一の連載をさせて頂いております。ですので、どうしてもカーブというこの切っても切れないところもありまして、その中で三次で毎年カーブの試合があります。そこは、今では、もうチケット出したらすぐ完売で、すぐオークションに出るような時代になりましたが、ほんの数年前まではなかなかこうチケットも売れなくて外野の自由席もこう当日券が余っているという状況でしたので、3、4年前からスタートしたのがこの三次の試合を盛り上げようという事で344番の背番号でカーブにも協力を頂いて商標をお貸し頂いて、三次の試合を盛り上げようというのがスタートになりました。今では、ファンの方にも非常に好評で選手にも好評頂いております。今年は、三次の伝統文化である鶺鴒の鶺鴒が大量死したりだとか、色々な事がありましたので、何とか盛り上げようよという



事で“鵜飼坊やTシャツ”というのを作ったりですね、カープ坊やと鵜匠さんをコラボしたり、いろんなことをさせて頂いております。三次の試合は、こういう風に女の子が来てくれたりして、だいたい今年で約 3,000 枚の販売になりました、収益金の一部は、今年は三次のスポーツ団体、三次スポーツ連盟というところだったり、今の三次の鵜飼の保存事業、あと、三次のお好み焼きの事業“三次唐麵焼きプロジェクト”というところに運営費は使わせて頂いているほか、一部は寄付をさせて頂いております。で、その寄付をもとにですね、いろんなことに使わせて頂くんだけれども、一部、私の方のグループの中でもこう、運営金として確保してこう言ったスポーツイベントを実施しております。皆さんから向って左の方は三次ベースボールフェスティバルという、これは 2 年に 1 回させて頂くんですが、三次市はプロ野球選手が非常にこう輩出が多いものですから、今、カープで言うと梵君と永川君、実はこの二人は同級生で、あの、少年野球もずっと一緒にチームメイトなんですが、あとは昨年引退された阪神タイガースの福原忍投手、数年前に引退されました元ジャイアンツの二岡さん、こういった方々に帰ってきて頂いて子供たちに野球教室をしています。合わせてですね二岡さんのとき、今年は福原投手がそうだったんですが、引退をされた時は是非、地元の同級生有志のみなんで合わせて引退のセレモニーを地元でしようじゃないか、という事でやっております。こういった所に資金を活用させて頂いたりですね、広島と島根という事で今、ちょうどやまなみ街道の話ですのでちょうど出てくるのが広島ドラゴンフライズと島根スサノオマジックというプロバスケットボールチームの試合を年一回、山陽と山陰の国取り合戦をちょうど真ん中でしようじゃないかというので始めさせて頂いております。

スポーツイベントもそうなんですが、地域イベントとしましては“三次町七夕夜市”と言う、まあこれはうちのお寺も会場になっているんですけども、商店街の夜市を復活させようという事で、こういう夜市をさせて頂いております。あと、三次さくら祭、これは三次観光協会が母体となってやっているイベントなんですけれども、このポスターに出ているお姫様“あぐり姫”と言いまして、忠臣蔵で有名な浅野内匠頭の奥さんで三次の姫であるあぐり姫をこうして推したり、そういった地域イベントにも、344T シャツの売り上げを活用させて頂いております。

344 プロジェクトと言うのとはまた別にですね、私あの、商工会議所の宣伝部に所属させて頂いております、そこの活動としましては三次唐麵焼きというこのご当地のお好み焼きの推進事業をしております。三次は毛利醸造という所がありまして、カープソースの本社が三次にあります。で、数年前から唐麵という辛口の麵がですね、非常に三次の中でも人気でしたので、これを組み合わせた三次唐麵焼きとしてブランド化して、地域経済の活性化を図ろうという事で商工会の宣伝部で行っております。で、今から三年前も広島鉄板グランプリというご当地のお好み焼きのイベントでは優勝をさせて頂いて、地域経済への効果も非常にこう出てきております。この唐麵の単体の売上は当初、年間 300 食くらいだったのが、今は数万食に増えたり非常に効果が出ております。カープソースも当初と比べて約 30%から 40%増という事を聞いておりますので、雇用にも繋がっていただけたら非常に嬉しいなと最近は思います。ただ、まあ私もあの 1 人でやっているわけではなくてですね、こういうメンバーがいて初めて私もできる事があります。で、最後になります私はこの格好をしておりますが、私のお寺は約 500 年続くと伝わっております。多分、500 年間いろんな方々にお世話になったということで非常に公共的な役割が今、私にも非常に責任としてあるかなあと。

ですので、三次の活性化といういろんな意味合いが含まれるんですが、その地域活性化という言葉の中にはいろんな言葉が含まれますし先程の説明では雇用だったり、ビジネスだったりがありますが、





それは専門の皆さんにお任せして。私はやっぱりお寺の立場としてお坊さんの立場としてやはりこう地元の方々が儲かった儲からなかったはちょっと置いといて、この地元の皆さんが地元の良さに気付いて、地元の足元、まあなかなかね、地元にいると地元の良さは気づかんもんですが、地元の良さに気付いて頂いて誇りにして、そして私たちの子供たちが一回は都会に憧れて出て行って、沢山もまれて帰ってこれる町、「ああ帰ってきたいなあ」と思える街づくり、そういった心の部分を大事にしながらこれからも活動していきたいなと思っております。今日はこういったスタンスで僕もいればいいのかあといまだに思っておりますが、いずれにしても私自身も勉強させて頂くつもりで今日、来させて頂いております。どうぞよろしくお願いいたします。ありがとうございました。



## Profile

- 梵 大英
- 浄土真宗本願寺派 専法寺 副住職
- 344プロジェクト代表
- 三次商工会議所青年部
- (一社)三次市観光協会
- 広島県三次市三次町在住
- Uターン9年目
- 趣味 サーフィン

パネリストの活動紹介（梵氏）の様子



## ■森島

はい、ありがとうございました。それではどうしましょ。いきますか。それじゃあ、道の駅の事で広島工業大勝部さんの方から紹介してもらいたいと思います。

## ■勝部

こんにちは。広島工業大学大学院の勝部と申します。今日は僕 1 人学生なんですけど、今回このような機会を与えてもらったので、お話しさせていただきます。僕だけ学生なので、気合いを入れて普段着ないスーツで来ました。今日はよろしくをお願いします。

まず、僕が何をやっているかという話ですが、道の駅のアプリを作ろうとして活動しています。メンバーは僕が所属しているゼミ、福田研究室のゼミ生をメインとして行っています。このアプリを作ろうとした目的なんですけど、道の駅の利用者をみってみると高齢の方が多くて、僕ら世代、若い世代の利用者が少ない。その層の世代の利用をどうやったら増やせるかを考えたときに、僕らの世代はネット社会で生まれ育ってきて、本当にそういうものがないと生きていけないくらいの感じなんですけど、ネットを使って情報発信することで、なじみのあるツールを使って情報を得られる環境を作ったらもっと魅力が伝わって利用していくんじゃないかと考えて、今回こういうアプリを作ろうと思っています。活動内容としては、このアプリを作るために広島県の道の駅を調査したり、情報発信ページの作成・運営を行ったり、道の駅のイベントの企画を行ったりしています。僕ら学生はお金が無いので、中国建設弘済会からの助成を受けて活動しています。

それで、実際にどういうことをしているかですけど、全体の形はこのようになっています。アプリを作ろうと思っているのですが、アプリ自体はまだ出来ておらず、このようなネットを使って情報発信をすることでどういう効果があるか等を調べる実験を行いました。実験の主催は僕ら工業大学の学生と、“ためまっぶ”という、元々地域の情報発信のアプリを作っておられる民間の会社があるんですけど、そちらと連携して実験主体として行っています。道の駅のアプリを作ることなので、中々難しいんですけど、道の駅の方に協力をお願いしないといけないことになっていて、道の駅の方にはフェイスブックを使って情報発信をしていただきました。なぜフェイスブックを使ったかということなんですけど、まずお金がないのでアプリをいきなり作ろうと言っても現実的ではない。そこで、まずこういう仕組みを作ったらどれくらい効果があるかっていうことを確認するため、今回は無料のフェイスブックを活用することにしました。道の駅の方にはフェイスブックに情報を投稿してもらって、各道の駅の情報を発信してもらっています。それらのデータから道の駅の利用者がどれだけ増えたか等、実証実験のデータ等を道の駅の方にフィードバックすることで、負担を掛けるだけでなく、何かお返しできるものがあるのではないかと考えています。

具体的に何をしているか、ということなんですけど、大きく分けて 2 つあります。まず 1 つめが情報の総合的なプラットフォームの作成ということ。こちらは先ほど言いましたフェイスブックを使って道の駅の情報発信をしていくということで、運営者側からの情報発信を行っています。こちらの内容なんですけど、各道の駅の方にフェイスブックで情報をあげてもらって、それを僕らが“広島県「道の駅」”というフェイスブックページを作り、そこに道の駅の方があげられた情報を 1 つに集約して、そのサイトさえ見れば最新の情報だったり、簡単な情報はそこを見ればわかるようにして、気軽に情報が得られ



る状況を作ろうと思っています。

2つめとしては道の駅利用促進イベント。こちらのタイトルが“広島「道の駅」秋のおでかけインスタでポチッとキャンペーン”とちょっと長いんですが、略して“みちぼちキャンペーン”というものを行っています。何をしているかですが、Instagramという、若い世代にはなじみのある写真投稿アプリを主に使っています。これで何をしているかっていうことなんですけど、1番目のフェイスブックを使ったものは運営者側からの情報発信なんですけど、2つめのInstagramを使ったものは利用者が道の駅を訪れて魅力に思ったところをInstagramに投稿してもらって、魅力として発信してもらう。こちらは利用者側からの情報発信ということで、この運営者側からの情報発信、利用者側からの情報発信という2つのテーマで、今回実験を行っています。

こちらが“広島「道の駅」”のフェイスブックページとなっています。こちらには、先程も言いましたが、各広島の道の駅の方が投稿していただいた情報を集めています。フェイスブックっていうのは、道の駅で既にやっておられる様に思ったんですけど、実際に調べてみたら広島県でもやっておられない道の駅が結構あり、情報発信してもらうためには、まずフェイスブックページを作ってもらわないといけません。そのため、作っておられない道の駅の方のところを伺って、作り方が分からないとおっしゃるんですけど、そういうところでは一緒に作って、今回広島県の道の駅では全てフェイスブックページを作っていただきました。その際、各道の駅でお話を伺ったんですけど、ちょっと多いので適当に選んで話すと、やっぱり情報発信については各道の駅で意識の違いっていうのがすごくあって、積極的にやられているところは毎日更改されているんですけど、中々そこまで手が回らないっていう道の駅も多く、まずそういう方は作っておられなかったり、作っていたとしても中々情報を更改・発信していないという状況がありました。やっぱりネットへの信頼度だったり、そういうスキルや時間など、結構な課題が多く見分かりました。

こちらは、Instagramを使った“みちぼちキャンペーン”のチラシです。期間は10月6日から1月15日、今日までです。こちらでお願いして、利用者の方が自然に投稿をしていく、っていう状況をつくっていきました。この2つ、“みちぼちキャンペーン”とフェイスブックページというのは仕組みの話になると思うんですけど、それ以外にも道の駅の方と協力して一緒にイベントを企画して行ったりしました。

こちらは、僕たちと竹原の道の駅の方と一緒にイベントを行ったときのチラシになっています。左の方は僕たちが企画して、竹原の道の駅で竹を使ってクリスマスツリーを作りました。僕らはクリスマスツリーを作って終わったんですけど、クリスマスツリーを作ったことをきっかけに、道の駅の方が別のイベントとして、右側の“クリスマスナイト”というイベントを自主的に行っていただきました。こちらは竹のクリスマスツリーを見ながら夜お酒を飲んだり、食べ物を食べたりするイベントですが、僕らがイベントを行ったことをきっかけに、新しいイベントを行っていただくことができました。

僕らの活動は、中々大きい動きというのはできないんですけど、僕ら学生が活動をして、実際に道の駅の方と協力していくことで何か新しい動きができるのではないかと思います。ありがとうございました。



パネリストの活動紹介（勝部 氏）の様子



## ■森島

ありがとうございました。それでは続いて飯南町観光協会難波さんよろしく申し上げます。

## ■難波

改めまして、島根県飯南町観光協会会長の難波と申します。よろしくお願いいたします。今日、私自身このような場所でこういった色んな活動っていうのを述べさせてもらうほど、まだ全然実績としては何もしていませんけど、皆さんの色んな意見を聞く勉強の気持ちで来ました。まず、島根県飯南町というところですけど、ご存知の方がいらっしゃるかどうか分かりませんが、先般 5,000 人程にアンケート、これは NTT ドコモさんのアンケートでやったところ、83%の方が「知らない」。そんな感じです。要は知られていない町。その中で観光協会が昨年立ち上がりました。私も道の駅の方ですと 16 年間やっていたんですけど、いよいよ尾道松江線開通で車が少なくなるということで、観光協会のお話をいただきまして、是非ともやらせて欲しいということで観光協会の方で今、昨年 4 月から働かせてもらっています。簡単に書いていますけど、要は尾道松江線開通で、6 万人が本当にガクンと減りました。開通の後、自宅から国道 54 号線に出たんですけど、車が全く通らないんですね。もう驚きというか、ショックというか、道の駅の売り上げなんかはすぐ頭をよぎったのを今でも覚えています。そういった中で、数字上で色々減ったりとか、経済効果の方もマイナスになったんですけど、これを何とかしたい、ということでうちが立ち上がりました。観光協会は、島根県の中で飯南町だけが無かったんですけど、いよいよということでさせてもらっています。

こういった組織になっています。私がいるところは事務局ですが、私は観光ブランディング担当に最初決まりました。観光ブランディング担当って何なんだろうな、ということで、地域ブランドとは何かを勉強させてもらいました。色んな勉強会にも行きました。その中で、どうしたら知らない町を知ってもらって来てもらえるか、というのがずっと悩んで、もう何ヶ月も悩んで、色んなところ、尾道市にも行きました。そこで、自転車に乗っている観光客の方を見た瞬間に「自信無いけど、これかな」っていうので何か閃いてですね、飯南町で自転車。そこで、ブランディング担当として、自転車をさせていただいてことで局長の方に行き、まあやってみるかってことになりました。そのとき周りに誰も自転車について詳しい人もいませんし、観光協会の中でもサイクリングに詳しい人が誰もなくて、尾道に何回も何回も通って、観光協会とか、それこそジャイアントさんとか、レンタルはどうしてやっているのかとか聞きに行きました。その中で今、飯南町の観光協会としてはレンタサイクルを 10 台で始めています。これはまた増やしていこうと思っていますけど、1 年間で 100 名ではあるんですけど、レンタサイクルの利用がありました。

私の他に色々スタッフは居るんですけど、情報発信などをやっています。その中で情報発信は、さっきのアンケートの結果、知られていない、ということでフェイスブックとか、本当にもうできるメディアは全部使っております。それから、まず来てもらう人にレンタサイクルとかを知ってもらうために観光案内所を町内 2 箇所で運営しております。専属でコンシェルジュを置いて、道の駅の方に常駐させております。そこで来てもらった人に観光情報を発信しております。

その他に観光協会の方が旅行業を取得しております、三次市とか近隣の大田市とかと連携して、三次の鶴飼いと飯南町のツアーを作ったりとか、美郷のカヌーと飯南町の森林セラピーとか、地域と地域



を結んだことも仕掛けております。

それからインバウンド事業、これは今タイと台湾に絞って進めています。今日もタイの方に1人行ってありますが、リンゴとか、それから飯南町は雪がありますので、そういったタイに無いものっていうのを発信して、今300名くらいですかね、タイ、台湾の方から来てもらっています。最後にサイクリング事業ということで、ガイド付きのサイクリングですとか、広島空港、米子空港、出雲空港、割と近い位置にありますのでそこから自転車プラス手荷物の運搬サービスとかも始めております。インバウンドの方なんですけど、写真を見てもらうとわかると思うんですが、台湾とタイの方に絞って飯南町の魅力を現地に行って営業しております。中でもリンゴ、雪っていうのが向こうの方々に響いて、来てもらっている現状です。サイクリング事業の方は、これは私が担当しておりますけど、今道路整備というところが1番の課題になるかなと思っています。また、国道54号線の道はすごく良くて、確かに走りやすいんですけど、スピードが非常に早いもので、そこら辺の地元の理解とかですね、近隣の市町村と連携しながら気持ち良く走ってもらえるように、今から本当に我々が呼びかけて、色々なイベントとかツアーを頑張っただめていきたいな、と思っております。

この観光動態調査は毎年やるんですけど、27年は、少し上がっていますけど、これだけでは全然元に戻りませんので、これからサイクリングとかインバウンドとか、そういったところで、小さな5千人足らずの町なんですけど、出来る事を三次市さんとか近隣の市町と連携しながら頑張っていこうかな、と今思っている所です。以上でございます。ご静聴ありがとうございます。

少し時間が余ったということでもう少し自転車のことについて深くさせていただきます。失礼いたします。

しまなみサイクリングが非常に年々増えていて、行く度に新しいサービスとか新たな取組とか、コンビニにサイクリングスタンドがあったりとか、もう町中が自転車のお客さんを取り込みたいっていうのが本当に伝わってきて、僕たちはすごくいつも刺激を受けて帰るわけなんです。さっき少しありましたけど、写真を撮ったりするところが本当にさりげなく作ってあったりとか、そういった事からSNSでの広がりも増えているんだな、と感じております。

道の駅の方なのですが、来年度、指定管理をさせていただくのが先日決まりましたので、道の駅、というよりも“チャリの駅”みたいな形のイメージに、来年はリニューアルを考えております。中にも自転車を持ち込めるようにしますし、ほとんどがサイクリングのためにある道の駅みたいな形のイメージにして、それからがんばっていこうかなと思います。道の駅の方をずっと長年やっているんで、私担当でまた来年度も、ということで決まっております。

なかなか「やまなみサイクリング、気持ちいいですよ」という響きではなくてですね、来年度4月からは3つの提案に絞って活発に進めます。飯南町に来たらここに来て欲しいっていうのをはっきりと提案して、それから必ずここでこれを食べてほしいなど、これも地元の企業とか店舗と協力しながらサイクリスト向けのメニューを開発していきます。3つめの「ここで写真を撮って」は、大きなパネルを作り、そこで必ず写真を撮って、やまなみサイクリングの休憩地点、道の駅に来たよ、ということでまた広げていただければな、と考えております。

これから企画もいろいろとやっていきます。この中で手応えがあったのは、ファミリー層へ田舎でできる体験をしてもらって自転車を活用するっていうもので、1番今までで驚きました。都市部のお子さ



んとかお母さんが来られて、自転車ももちろん楽しみだったんですけど、田舎なんですごく川が綺麗だったりとか、栗が落ちていたりとか、銀杏が落ちてたりとかっていうのを、子どもが不思議がって見ていて、すごく目が輝いているそのお子さんをお母さんが見て驚かれ、また今度行かさせてください、というありがたいお手紙もいただきました。やっぱり自転車がきっかけだったんだけど、そこにあるものとか自然とか、そういったものがすごく響いていくんだな、というのを感じております。

あとは今、宮島が凄くお客さんが多いので、広島空港からどうしたらお客さんがこの島根に来てくれるのかな、ということでツアーを募集したところ、宮島でやっているカヌーの業者さんと知り合いになってですね、そのカヌーと飯南町のサイクリングと一緒にやったりしたことで東京から来てもらった、という事例も写真ではありますけど紹介させてもらっています。

これから、道の駅の中にレンタサイクルのターミナルを作ります。それからサイクリングサポートのサービスも充実させます。これは写真にある通りですが、地元のタクシー業者がわざわざ作ってくれまして、これを元に人の運搬であるとか、自転車の運搬、それから手荷物を運びます。本当にしまなみさんの、言葉は悪いですがパクる、というカリスペクトというやつですね、思い切りリスペクトさせてもらっていて、困ったらすぐ尾道に行く癖があるんで、また上野さんの方にもお世話になりますので、よろしくをお願いします。以上でございます。失礼します。



パネリストの活動紹介(難波氏)の様子



## ■森島

ありがとうございました。それでは、服部さんの方に続いてご紹介をお願いしたいと思います。

## ■服部

皆さん、こんにちは。島根県の飯南町地域おこし協力隊をしております、服部恵子と申します。本日はよろしくお願いいたします。

この写真なのですが、実はとあるガイドブックを作る時に撮ったのですがボツになったやつです。凄く気に入っています。自転車を借りただけなのですが、こうやってすぐ草花を撮って写真をとって普段の自分が十分に表れている1枚で、非常に気に入っているのですがボツになったのですがせっかくなので活用しています。今日は自転車がテーマということなので、自転車がテーマに合っているかなと思います。

自己紹介なのですが、私は東京出身で元々は父の出身が島根だった関係で小さいころから島根に遊びに来ていたこともあって、孫の代に戻ってきた「孫ターン」と言っています。前職は旅行業界で添乗員であったり事務作業ということをやっていました。現在は、先ほど言った通り飯南町役場地域振興課に事務局を置いている、国道54号活性化アクションプラン推進協議会の事務局を担当しています。

本来ならば、役場に座る席を置く所なのですが地元の方ともしっかりと接するよというということで、座る席は頓原公民館ということで公民館に席を置いています。飯南町に来て2年6ヶ月ということで、あと半年で任期が終わりになります。担当している国道54号活性化アクションプラン推進協議会というのは、「人でつなぐ54号」というのを合言葉に活動していきまして、先ほど話をしていました観光協会の難波さんも会員になっていただいたり、産直市の方、学校の魅力化の方、道の駅にある店舗の方だったり、公民館の方、商工会の方、個人として参加して飯南町を盛り上げていきたいというすごく熱意のある方の集まりがあります。

今、活動が4つの柱があるのですが今年、自然、食、歴史・文化、人と道という4つの柱がある中で、今年度から一部会と二部会に分けております。一部会は食と自然を扱う部会ということで飯南町に今ある山を活用していくために、ただ登山をするだけではなくて山にくるお客様に対して飯南町の食をPRしたりですとか、そういうことはできないかということで理想と現実の課題を整理して町に提言しております。提案ということで一緒に山を活用するためによくしていきましょう。ということをやっています。

二部会の方が人と道、歴史・文化ということで私こちらの部会を担当しているのですが、人と道ということで元々は安心快適ということで、二輪車・バイクや自転車などをやっていたのですが、人と人を繋ぐということでそういうことも多いので5千人総活躍、5千人の人口の皆様が活躍できるようにしていきたいということ。飯南町にある歴史文化というのを次の世代に伝えていきたいですとか、意外と地元の方が歴史を知らないということでそういうことを新たに気づく機会を作ろうということで、飯南町の歴史文化やわが町の自慢を紹介するなどそういう紹介の冊子を作っております。おそらく来年度には町の広報に歴史などのミニコーナーを作って頂いて連載をしようと思っています。その中でも今、歴史文化の中で私がこの2年くらいかけてやってきたのが、秋祭りの魅力を高める取組ということで、自由にやってくださいということで、地域おこし協力隊に着任して最初に任されたことです。どういう風に





するかということで、町内のお祭り全部まわりました。I ターンの見方からみるとお祭りって凄いなと思ったのですが、2015年の広報に2014年のときにお祭りを見て、その翌年にどこでどういうお祭りがいつ行われているのかみんなに知ってもらいたいということで、町の広報にこのように載せました。そしたら隣の地区の祭りのことはみんな知らないのです。基本的に自分の宮のお祭りの事しか知らないのですが、これをきっかけに隣の宮では何日にやっているのだね。ということや、こんなお宮があったのかということに気づいてもらえました。

私も次の段階にいきたいということで、本年度は右側ですね地図の中にだいたいのお宮の場所を載せて、私がそれまでに撮った写真を載せてお祭りの日時、例祭の神楽、その後に私が思ったことを一言書いてみたりしてまとめました。それをしながら今年度もう1つやったのが、ふるさと教育パネルと言って教育委員会さんがふるさと教育をするためにやっているものなのですが、“はやしこ”について写真付きでまとめてこれを町内のいろんなところに掲示をしております。公民館関係のイベントがあるとこれを出すことで、服装の違いや雰囲気の違いに気づいてもらえたらいいなと思ってやっています。

あと、やっている取り組みとしては飯南の自然ということで雪。今、センター試験があるのに大雪で大変だという話もしていますが、飯南町は雪も資源で雪って楽しいねというのをPRしていこうとしています。町内の方にとってみれば雪はすごく邪魔なもので、本当に困るものです。私も2年半生活してきて雪はすごく良いと思っていたのですが、だんだんと雪は怖いものだと思うようになってきています。その中から雪について、地元の方も悪い事だけでなく良い事もあるよね、ということに気づいてもらおうとしておまして、「これ見たことある方いらっしゃいますか？」広島旧市民球場に島根県の雪をもってきています。雪が多い時期はだいたい飯南町の雪を持ってくるのですが、今年は雪が少ないのでどこから雪を持ってくるのかまだわかりませんが、来週の土曜・日曜日にまたこんな感じでやります。私も来ますので、お近くにおられる方お時間ありましたらぜひ遊びに来ていただけたらと思います。これも飯南町に住んでいて見ると雪がすごく堅くてべちゃべちゃです。でも広島の方にとってこんなに雪が珍しいし、楽しく遊んで頂けるのだなと感じたことでした。

で、飯南町の中でやっぱり地元の方の参加、地域の活動に参加して欲しいということでやっているんですけど、その中で、“雪あり月”というものをやっておまして、これは1月から2月の雪のある時期、今ちょっと雪不足に非常に悩んでいるんですけども、雪がある時期には、あるイベントを一体的に発信しようということで、1つにまとめました。こんなに雪のある時期にいろんなことをやっているんだなということ、PRしようと思って、チラシを作って配布していましたが、今年度からは、観光協会さんに“飯南さとやまにあ”に“い～にゃん雪あり月”のページを作ってもらってそこで発信をお願いしてもらっています。

そこで、地元の方が雪の楽しさを知ってもらうための機会を作ろうということで、「みんなで作って灯そうスノーキャンドル」というのをやっております。これ前回の様子です。こうゆう風にちっちゃいかまくらをいっぱい作って、みんなで灯しています。ライトをつけるとこんな感じです。で、「みんなで作って灯そうスノーキャンドル」、1月28日(土)点灯式は16:45分から、道の駅頓原で行います。午後大体1時過ぎからは、来場した方が、作成したりとかしますし、今なによりも雪がないので本当にこれできんのかってことをすごく言われているんですけど、雪がなくてもできる方法を考えてみたりですとか、雪が少なくても、除雪の山があればやります。全くなければスノーキャンドル自体は中止になってしまいますが、道の駅にある“ラムネMILK堂”さんのコンサートをやります。地元のコー



ラス団体、お母様方のコーラス団体が歌を歌うというコンサートをやりますので、そっちの方で賑やか  
しをできたらいいなと思っております。

で、以上となりますが主な活動をお話ししました。言いたいことをちゃんとここで話していいのか  
不安もあるんですけども、精一杯努めたいと思います。よろしくお願い致します。



パネリストの活動紹介（服部 氏）の様子

**■森島**

ありがとうございました。

それでは最後になります宮口さんよろしくお願い致します。

**■宮口**

みなさんこんにちは。すごい皆さん熱い思いも持つ方々だったので、ぼくも負けにくいくらい熱い思いがあるので聞いてください。

まず、プロフィールからちょっと話させてもらおうと思います。自転車のレーサーやっています。今 35 才です。誕生日はバレンタインでもうちょっとで 36 になるんですけど、36 でもまだレーサーやっています。それぐらい自転車が大好きです。で、僕今日福山市から来ました。生まれも育ちも福山市新市町という、今日のあの道中の中山間地域、福山市の中でも山間地域、山間部に僕住んでいます。そんなところで 35 年間育ってきて、非常に僕も地元大好きです。そんな中で中山間地域、田舎をどうやっていっていかってということを考えながら、レースをやっています。で、なぜここにレーサーとして僕が、自転車レースと中山間地域の地域活性化ってそう関係ないかなあって思われると思うんですけど、今日呼んでもらった中に、この活動の一つとして、今僕が、まあもちろんレーサーなので、レースも、ロードレースとって、世界的に有名なのがツール・ド・フランスという大きなレースがあるんですけど、レースやっています。レース以外に、下の方になるんですけど、交通安全教室、それと、あとは地域貢献活動として、いろんな自転車を使ったイベントをやっています。自転車と、地域を結びつけるようなこと。たとえば、サイクリストだけで楽しむんじゃなくて、地域の方も参加してもらって楽しめるような自転車のイベントっていうのをやっています。それとやっぱり、レーサーなので自転車が好きなので、自転車の活動、自転車の普及活動だったり、サイクルスポーツの発展というところをやっていく活動っていうのもやっています。

で、その活動の中なんですけど、やっぱり僕が一番今、サイクリストのしまなみ海道もそうなんですけど、いろんな広島市内もそうだと思うんですけど、スポーツ自転車すごい今普及してきて、あちこちで見かけるようになったんですけど、一番やっぱり問題があるなあとと思っているのが、交通安全、交通ルールを守って、マナーの良いサイクリストが、全てかって言うとそうじゃないんですよ、悲しいことなんですけど。それはなんでかっていったら、やっぱり交通安全、自転車のルールって、学校で、皆さんどうですか、年に 1 回ぐらい自転車教室とかありましたかね？ぐらいしかないんですよ。車の免許取る時って、自動車学校行って、運転の練習して、学科やって、試験が有りますよね。自転車も実は同じ軽車両、車両の仲間なんですよ。車両の仲間なのに、まあ免許証はもちろんないんですけど、そういう勉強する場っていうのが少ないので、僕は、この今福山市さんと一緒に、小学校、保育所、幼稚園というところに、レーサーの立場として行って、交通安全教室をやっています。小っちゃい頃からやっぱり教育することが、すごい大事だなあとあって、やっぱり中学生・高校生になるとみんな思春期だったりいろんな想いがあって、なかなか言うことを聞いてくれなかったりとか、素直になれない部分があると思うので、僕はなるべく低年齢からこういう交通安全教室をできればいいなという想いで今、福山市の各小学校とかを回って、こうして自転車の乗り方をレーサーとして今伝えています。

僕がなんでこういう活動をやっているかということなんですけども、さっきも言ったように、低年齢



から教育をやっていきたいというのもあるんですけど、自転車のこういう教室って例えば、地域の警察だったりとか、交通安全協会とか学校の先生がやられるんですけども、やっぱりそれってこう生徒さんと距離感があったり、やっぱりかしこまってしまうんですよ。そこに僕がこの格好で行くんですよ、いつも。常にこれで行ってるんですよ。そしたら、子どもたちってやっぱりあの、目が釘付けになるんですよ。今でこそね、広島市内のどこもすごいこういう格好の人見かけると思いますし、いろんな所でこういうサイクルウェアっていうのはもう、スポーツショップで販売されてるぐらいなんで見かけるんですけど、まだまだね、子どもたちの中にはこういう格好を目にする機会が少なくて、僕がこう、ぱっと立つと子どもたちがざわざわしとって、ぱっと視線が向いてくれるんですよ。やっぱりその、プロのレーサーがやってきたとか、自転車の選手がやってきた、プロ野球選手がやってきたっていう、そこが僕大事だと思って、子どもたちってやっぱりその日教えてもらったことの記憶が、だんだん薄れていくんですけど、それを僕がこういう格好で、インパクトのある恰好で子どもたちの前にレーサーとして立つことで、ちょっとでも子どもたちがしっかり交通安全について考えてくれて、記憶に残ってくれたらいいなと思ってこういう活動を今、やってます。

今、福山市全体、府中市、こういう活動をやらさせていただいてもらっているんですけど。

年間 40 件から 50 件ぐらいはこういう交通安全教室のお願いがあって、行ってます。

後は先ほどあの、地域を巻き込んだイベントっていうので、地域の住民だけじゃなくて地域の企業も一緒に、こういう活動を取り組んでもらっています。これあの、左は気持ち悪そうな感じの、マクドナルドなんですけど、子どもたちは結構気持ち悪いとか言って…

あの、マクドナルドさんとか、あとは行政のほうとも絡んでいたり、あとはもちろん、ジャイアンツの上野さん、ジャイアンツショップ尾道さんもこういった活動協力して下さって、自転車をジャイアンツさんから提供して頂いたり、こういう活動、やっぱり個人だけじゃなくて、地域の企業・行政っていうのを巻き込んでイベントっていうか、こういうことをやっています。

それとやっぱり、自転車乗っている人って、自転車好きで乗ってるんですよ。基本走るのが好きなんですよみんな。僕はそれで、すごい良いと思います。そこは、それでやってもらったら良いと思うし、僕は、自転車乗るだけじゃなくて僕は自転車に乗っている、サイクリストの皆さんが気持ちよく走れる環境をつくっていききたいなと思っているんですよ。

そのためには、社会的に自転車が、自転車乗っている人ってマナーがいいね、ちゃんとしてるんだね、自転車に乗っている人が良い事してるって思っほしいんですよ。そのために、普段皆さんがなかなか出来ないところを僕はやっていこうと思っていて、これ、福山市のグリーンラインっていう山があるんですけど、そこで、清掃活動をやらせてもらいました。これは定期的にずっと今もやっています。あとはしまなみ海道の清掃活動っていうのをやっています。みなさん走っている間に僕がせっせと草を取ったり、しているんですけど、それもやっぱり地元で認められて、そうすると地元の方はサイクリストを歓迎してくれる、歓迎してくれたらそこにサイクリストが集まってくるっていう流れができると思うんで、自転車の普及だったり、いろんなサイクリングスポーツの周知につながっていくのかなという思いでこういうこともやっています。あとは、先ほど道の駅の駅長さんもおっしゃっていたイベントなり、いろんな所をレーサーとして、トレーニングで走ります。当日は広島から、大山まで…すみません島根じゃなくて。大山とか、まあ島根、やまなみ街道も何度も走らせてもらいました。こういう、レーサーとして一日に 150km とか 200km という距離を走ったりするんで、いろんなとこ



ろを走りに行っています。という中で、いろんな魅力をこういうイベントなどで伝えられたらいいなという、上野さんが先ほどおっしゃっていましたが、サイクリングを買うという、やっぱり買った後にどういう楽しみ方をするかっていうのを提案していければいいな、それプラスで地元になんか貢献していける、例えば大山行ったときは、地元の飲食店でご飯食べて地元にお金が落ちるし、っていうのもできたらいいなって思っています。そうすることで、サイクリストが歓迎されて、またじゃあ来年、またその次ってなった時に、そこの市町村では、宮口さんのやってるイベントがやってきた、あ、自転車の人ってこういう事してくれるんだ、っていう風に思ってもらえるのかなと思ってやっています。で、今年1月1日に新しいチームを、今まであの、プロのチームに在籍させてもらっていたんですけど、やっぱり僕も、レースだけじゃなくて、いろんなこういう地域と連携していく、いろんな活動をやっていきたいなという思いがありまして、今年に、新しいチームを設立して、“eNSare Cycling Team” っていうんですけど、これあの、eN のえんはご縁の縁とって、今日ここでこうして話を聞いて下さる方も何かのご縁で集まってくださった方だし、こうしてパネリスト6名がこうして集まったのも何かのご縁だと思うんですけど、そういういろんな人と人の繋がり、その繋がり縁をシェアしていく、共有していくというチームになっていきたいなと。そうすることで、地域との繋がりだったりサイクリスト以外の、サイクリストと地域・サイクリストと企業っていう、いろんな所を繋げていけるチームになっていけばいいなという思いで、eNSare Cycling Team というのをつくっています。っていう事で今日はたぶんお呼び頂いたと思うんで、今日はこの後、パネルディスカッションの方では、いろんな運動、地域に対する取組だったりいろんな思いを話させてもらおうと思うんで、よろしくお願いします。

#### ■森島

ありがとうございました。はい。6名のパネラーの皆様から、いろんなご紹介を頂きました。それではこの後パネルディスカッションの準備を致しますので、こちらの時計で10分後、46分まで休憩にさせて頂きたいと思っておりますので、それまでに集まって頂ければと思います。それではよろしくお願い致します。



パネリストの活動紹介（宮口 氏）の様子



#### (4) パネルディスカッション

##### 【話題 1】地域の魅力と抱えている問題点「光と影」

###### ■森島

それではお時間がまいりましたので、2 部後半ということで、まちトークということで、6 名のパネラーの皆さんと始めさせていただきたいと思います。

たっぷり皆さんの地域の紹介をいただいたところですが、今回「光と影」というタイトルをつけていますが、皆さんが活動をされている地域、住まわれている地域、あるいは学生さんであれば研究しているフィールドの中という観点でも結構なのですが、改めて皆さんが感じられている自分の地域の最大の魅力、これが一番、これから伸ばしていきたいなと思われている最大の魅力と、逆にこれがなかなか乗り越えられない問題点、大きな問題を抱えているということを端的に 2 つの「光と影」ということで、一言ずつご紹介いただければと思います。

###### ■梵

課題でもあり特色でもあるかなと思うのが、課題の方からいくと、今、飯南町さんもいらっしゃいますが、行政単位というか、三次は三次、庄原は庄原。これは予算的な部分もあるし、仕方ないと思いますが、もうそういう時代ではないかなと。「グローバル、グローバル」と言っているのに自分のことばかり気にしながら、「我がところに観光客が来るように」ではなくて、地域連携、横の地域、横のことを。先ほど地域おこし協力隊の方も「我が地域何があるのか」を一回出してみたら、横のことを知らなかったとか。そうではなくて、どんどん市をまたいで、区をまたいで、町をまたいで連携していくことがこれからいよいよ必要ではないかと、それが課題でもあるし。でもそれができたらもっと飯南町へも三次からお客さんが行くだろうし、逆に飯南町と三次で足りないものを補えあえると思う。松江と尾道、三次唐麴焼きのことを先ほど申し上げましたが、一昨年くらいにネーミング募集がありました。三次商工会議所青年部もネーミング募集に手を挙げて応募しました。採用はされませんでした。採用はされませんでした。「麴ロード」という名前をつけた。これは採用されないと思った。松江の出雲そば、尾道の尾道ラーメン、三次の三次唐麴焼き、「三次唐麴焼きだけ食べに来て」ではなくて、3 つの連携をしていきたいという思いから「麴ロード」という名前にした。もっともっと地域連携、地域間の行政の枠組みを外してやっていくことが必要ではないか。光と影に関してはそれができればよくなるし、なかなかこれが難しいところでもあるかなと思います。

###### ■難波

まず、「光と影」というテーマなので、「影」は先ほど言った通りで、まちが 2 年前に交通量が減って、みんな「どうしたらよいかわからない」ということで、観光協会ができたが、「飯南町には観光場がないよ」と言われ、「確かにないな」と正直思いました。でも、やっていくうちにいろんな観光客、来てもらった人たちが口にするのが、「あそこの旅館のおばちゃんがよかった」とか「あそこの道の駅のだれだれさんと話してそれがよかった」とお便りもらうことがよくある。最終的には人が救ってくれるのかなというところで感じています。



「光」としては気付かなかったものが少しずつ改めて感じると、隣の服部さんも言われているが、地元で意外と見落としがちだったことが、ある国の人たちに響くことだったりするところが少しずつが見えてきた。それに対してうちにはできないかなということ、最近「もっとうちも呼び込みたい」という相談が多い。そういったことが「光」となってくるのかなと期待しつつ、しっかり答えていかなければいけないと感じています。

#### ■服部

「光と影」ということなのですが、町内の方が光っているところというと、私が思うにはお祭りとか地域行事、消防団、婦人会だと思う。難波さんは20年消防団に入られているということで、こういうところを見ていると非常に使命感を持って、ひとりひとりが必ずそこには何としてでも行く、「火事があれば向かう」「祭りといえば仕事を休んでいく」。そういうところが、すごく伝統を大切にしている姿が飯南町の良いところだなと思っています。逆に短所としてはそうでありながら「飯南町には何にもないしつまらないよ」と言う。そういうことを言われた人が作ったのが「とんばらぼん」なのです。探してみれば本当はいっぱい魅力があるのに、「つまらないところに来たね」とかよく言われました。私も東京から来ましたが、よく「なんで来た、こんなつまらないところに」と言われました。それが私の中で「よく来てくれたね」「よく飯南町を選んでくれたね」という言葉に変わっていけばよいと思っています。

#### ■上野

自転車の話でもよろしいですか。「光と影」なのですが、やまなみ街道の可能性として、しまなみ海道で私が自転車屋を始めて半年くらい経ったとき、いきなりインバウンドの方がどっと来た。これって何なのかというと、実はメディアのCNNで「世界7大サイクリングロード」にしまなみ海道が取り上げられた瞬間にいきなり来るようになった。「何でこんなに外国人の方が急に来られるようになったのだろう」というくらいびっくりしていたので覚えています。メディアの力は非常に大切で、そのあたりをしっかりとアプローチをしていくというのが非常に大事なかなというところで、これだけ「しまなみ海道」はブランドネームがあり、「やまなみ街道」というネーミングもつけられているわけなので、「しまなみ」、「やまなみ」というのをツートップというか一緒にプラスワンという形で巻き込んで、マーケティング&コミュニケーションをしっかりと取っていただければ。単体だと難しいが、しまなみ海道に来てくれたお客様に対して、「もっと広島県を楽しんでね」というアプローチをかければ、やまなみ街道にも来てくださるのではないかなというところ。あとはアクセスです。インフラが高松、四国で、しまなみ海道を走る方は高松空港から来て本州へ抜けるとか、広島空港という山の中に空港があるので、こちらではLCCも飛んでいるので、インバウンドの方が来られる際に割とアクセスしやすいので、そのあたりもアクセスをしっかりと考えていただければ、観光客の方にアプローチすれば来るのではないかと思います。

課題としては、しまなみ海道のコース上に「自転車屋がない」ということで、お父さんお母さんがやっていらっしゃる田舎の自転車屋では、サイクリング中のトラブル対応など、サービスとしてしっかり機能するかというと少々難しいという行政をはじめとする判断もあり、弊社で尾道市から「サイクルセイバー」という事業を受託したことがある。実際にはストアがバタバタしている時期に引き受けたので、サイクルセイバー自体がなかなかうまく回らなかったが、サイクリングする方は常に落車のリスクがあ



って、そこに対して担保が取れることは非常にありがたい。ジャイアントストアスタッフでやまなみ街道を実際に走ったときも、全員自転車を1から組み立てることができるスタッフだったが、例えば「落車してホイールが曲がってしまったときにどうするのか」という話になって、トラブルを考えると非常に不安だなというところはある。その点で、やまなみ街道でもしっかりバックアップしてくれるサイクルショップ等をたてていただいて、盛り上げてもらおうと、自転車で来るお客様に対しては非常に喜ばれるのではないかなと思います。

### ■宮口

今日、広島のカイクリストの代表として来させてもらっているのですが、自転車に特化した話ばかりしてしましますが、「光」の面だとカイクリストが増えた、自転車競技が盛んになった、広島県に住んでから顕著に感じています。先ほどジャイアントショップさんのレンタルの数字も右肩上がりになっていたように、実際自転車に興味を持ってくださる方だったり、こうして今日も自転車の話題にこれだけ、いろんな自転車というキーワードが出てきているので、そこが「光」としてはものすごい。競技をしている僕からしてもそうだし、自転車に乗っている1カイクリストとしても、すごく嬉しい。「自転車が今、こんなに広がっているんだな」と。僕が24年前に始めた頃はこの恰好でコンビニとか商店、飲食店に入ると変な目で見られていたが、今は「光」という意味で、自転車やこの恰好、サイクルスポーツが認知されてきたというのは、すごい「光」だと思う。

その一方で、先ほど僕が話した中にもあったが、マナーの悪いカイクリストだったり、交通ルールを知らない大人たちが増えているというのも「影」の部分としては問題なのかなと。実際、現場の声、しまなみ海道などはスピードの出る自転車が住宅街をすごいスピードで駆け抜けていく、とか2列になって走っていくとか。地元の邪魔になっている部分が自転車にはあると思うので、そこは今後自転車文化が広がっていく中で、交通ルール、交通マナーはきちり守っていかないと、自転車が社会の中でのけにされるような存在になってしまうので、そこは「影」の部分。「光と影」をうまく架け橋できるように僕は頑張っていこうかなという思いでやっています。

### ■森島

ちょっと立場が違うと思いますが、道の駅という立場で勝部さんどうでしょうか。

### ■勝部

道の駅を研究する立場ということで、道の駅のことで話します。

道の駅の調査をして、広島県の道の駅の全部を回ったのですが、そこで思った最大の魅力というのは、それぞれの道の駅で特色があってそれぞれの地域のものを販売していたり、コンセプトとして行っているので、地域の魅力を発信するという面ではいい面、「光」の面ではないかと思っています。「闇」の面、課題ということなのですが、各道の駅での差がすごく大きくて、僕の活動で得た情報発信のことでいうと人手不足でなかなか情報が発信できなかったり、そもそも発信するものがなかなかないと言われる方もいたりして、施設の面で言うと20年くらい経つ道の駅だと、道の駅の施設が古くてそれが改修できなかったりするとか、比較的新しいところだと、それを魅力にできたりはするのですが、そういう道の駅の差の面でマイナスのところは「闇」になっているのではないかなと思っています。





パネルディスカッション（パネリスト・コーディネータ）の様子



## 【話題 2】道の駅や国道のこれからの使い方

### ■森島

はい。ありがとうございます。今、光と影ということで、それぞれの立場でいろんなフォームの話があって、これを進めるのはなかなか大変なのですけれども。今、大きくあるのは、ソフトな話で人づくりとか、人材とか組織の問題の話とか、それが光と影で両方出ていたり、道の駅とか道路、ハードの整備、インフラの話、あとは情報発信というのがキーワードとして出てきていたかと思います。今回は主な趣旨としては、やまなみが盛り上がり全線開通して、すごくメディアにも出て盛り上がっているけれど、過去に頑張ってきた道の駅はそのまま消えていくのは正しいのかというのが、我々このコンサルタント業界でそんなインフラの悲しい終わりはないでしょうというのがあって、これをどううまく活用というか、せっかくあるインフラをどう地域に役立てていけるのか。例えば道の駅という切り口から見たときに、今まではどちらかという外から来た人にものを売るとか、休憩というサービスを提供するところでもあるのですけれど、どちらかという、観光の人に商売という色が濃い部分があったかと思うのですけれど、そうではなく、人が減って通過交通がなくなった中で、道の駅の新しい役割がこれからまた生まれるのではないかとということも考え始めている。

そういった中で、1つ目は道の駅をそれぞれの立場から、これはこう使えるのではないかと、三次の中心部にいらっしゃって活動されている立場の方が道の駅に求めるものとか、難波さんなどは運営側としてこういうサービスができるのではないかと、サイクリストの立場とか、道の駅の研究は地域の方との接点だと思うので、そういった面で、今後道の駅とか、もう少し広げれば国道も含めて、こういう使い方できないかな、こういうもの買えないのかな、というご意見があれば。急に振って申し訳ないんですけど。どなたか先陣切ってください。

### ■梵

道の駅なんですけど、私の家が三次市三次町という旧市街地になります。54号線まで出るには車で5分走れば出られる場所にあるのですけれど。そこから島根方面に向かっていくと、まず最初に出てくるのが道の駅布野、その次が赤来高原になります。僕らは赤来高原というより赤名という方がなじみがあるのですが。

布野の道の駅の方々とは、ご近所ではないですけど知らない仲ではないので、いろいろ交わりはあります。やっぱり今日もいろいろ話を聞いていて、ふと思ったのは、駅というところで行くと、僕らも電車、自動車に乗るときは目的があって、学校に行く、どこかに行きたい、職場に行く、目的があって駅を使うと思うのです。駅に行きたくて駅に行っている人はほぼいないと思います。やっぱり目的がそこにあるかないか、先ほど赤名、赤来高原だったり、あの周辺の情報に特化しているコンシェルジュがいるって言われる、これも非常に大切なところで、そこに行くと駅を通過点としてどこどこに行く、やっぱり駅を盛り上げるのではなくて、その周辺の盛り上げという方が、その職員の方々、周辺の方々には必要なことではないかなと。どうしても木を見て森を見ずじゃないですけど、ここに特化しすぎて周りが見えづらくなるということも無きにしも非ずなのかなと話を聞きながら思いました。



## ■森島

難波さんも分野を合わせてどうでしたか？

## ■難波

道の駅、来てすぐ梵さんと話したのですが、赤名と頓原って今、合併して10年前につくったのですが、それまで54号線にドライブインがたくさんありました。ドライブインがいろんなところに国道沿いにできて、おそらくいろんなことを繰り返して商売になって、元気だけを求めるドライブイン。そこに入れ替わって道の駅が、地元を出していこうというところから出てきたと思います。全国に広がっているのですけれども、やっぱりドライブインがそうであったように道の駅も利益、仕入れが何%に抑えろ、昨年の何%アップとかというように、つついそうになってしまうのです。道の駅が誕生して22年とか言われていますけれど。また今度、一方でサービスエリアを見るとまた特色が出てきている。これは道が変化すれば当然そういうふうになるのだろうと当然のごとく感じているわけです。

先ほども説明しましたが、道の駅、特色だったりするのですけれど、通過客がないのに目的地としてやっていないと、全然集客が見込めないのです。何度も言いますが、どうしたらよいかということだけでこれだけ盛り上がってるサイクリストが増えている現状で、自転車の方に楽しんでもらえたらいいなという道の駅だったりとか、地元で公園が無かったりするので、子供さんと遊び場があるようなのです。そういった子供さんとかが休める道の駅という2つの特化した道の駅に来年はしようと思っているのです。

## ■森島

ありがとうございます。子供の遊び場という話が出て、我々も試走したときにちょうど頓原で休憩していたら、林の中で子供たちが落ち葉と木の枝でがんがんに遊んで、おじいちゃんたち、公民館の館長さんが焼き芋を焼きながら待っていてくれるというすごく楽しい空間で、「これが道の駅なのか」という話だったんですけど、その辺はどういう経緯でなったのですか？

## ■服部

今、ちょっと外の連携という話も出ていますが、私、自分が活動するときに1つ思っていることがあって、外への発信と町内の方が自主的に動くという2つの側面がないといろんなことが動いていけないと思っていて、両方やろうと思うとなかなかどっちつかずになってしまう。観光協会さんは外への発信が得意分野にあるので、発信は観光協会さんをお願いして、私は町内の方が自分で参画してやっていくってところに重点を置いて活動しています。さっき出た道の駅の話というのは、道の駅頓原というのがあります。飯南町には2つ道の駅があって、赤来高原と頓原で、私はどちらかという道の駅頓原で活動することが多く、道の駅頓原の周辺施設で、ある自主団体があって、先ほど見られた、場所で緑地公園というのがあります。道の駅の裏にだいたい普通に歩けば20分くらいで1周できる山があり、そこには非常に豊かな植生があるというところで、あそこの場を管理する人たちとワークショップをして、どういう道の駅にしたいかということをお話したときに、自然教育の場、自然体験ができる場所にしていきたいという意見が出ました。

先日来られた時に、先ほど出ていた焼き芋の話というのは、道の駅のフィールドを使って自然体験



をしてもらいたいという思いと、飯南町にあるサツマイモがおいしいということで、お芋がおいしくできるように「究極の焼き芋とほかほか焚き火」というイベントをしました。イモは焼いてもらったのですが、そこで自然体験をすることで、こういう植物が飯南町にはあるのですが、クロモジを知っておられますか？爪楊枝のなる木なのですが、すごくいい香りがあって、そういったことを体験してもらっています。

これからの役割というところはいろいろありますが、通過交通がなくなったということは、真の目的者が来る時期が来ているのかなと思っています。とはいえ、外から人が来るのを待っているだけではなくて、地元の方がそこに行けば何か学びや発見がある場所になるという役割もあるのかなと思っています。道の駅頓原については自然体験とか大人も子供も行って楽しめる道の駅にしたいという思いを持って、今活動しています。

#### ■森島

ありがとうございます。赤名の方も、赤来の方もテーマが大切ということですか。それを検討していくということですね。では、上野さんの立場からするとどうですか？

#### ■上野

先ほどおっしゃったように地元の方から言葉というか、されることは非常に重要なことで、結局その観光協会の方とか一人でトップダウンで落としてしまうと、地元の方の反発というのは否めないです。どちらかという、自主的に動いていただいた方が、例えばそういう場を提供するグループワークとか、結構しまなみ海道も最初、「サイクリング道路にしよう」といったときにNPO法人が立ち上がり、彼らサイクリストのために自分たちにできることはなんなのかということを考えましょうということ。田舎というのは、非常に地元の意識というのが強くて、やっぱり隣の集落だったり、隣の島だったりするところで仲があまり良くなかったりする場合もあるのです。そういったところで、でもサイクリングロードは同じところを全部走るので、ラインとしてつなげていかなければいけない部分なので、そこをやっぱり考えていかなければいけない、というところで、皆さん自主的に考えていただいて、その結果、ソフト面として地元の方がみかんをくれるとか、やまなみ街道も先ほどおっしゃったように焼き芋をくれるとか、そういうのをサイクリングロード、車の道路だったりするところに巡る楽しさというものを考えて頂いておもてなしの姿勢というか、そういったものがあれば、利用された方から「ここいいよね」というような声がうまれるのではないかなと思います。

#### ■森島

ありがとうございます。宮口さん何か熱い思いがありそうなので。

#### ■宮口

僕も、いろんなサイクリングエリアを企画したり、いろんなところに行かせてもらっているんですけど、やっぱり道の駅、やまなみ街道の中で6つあるとおっしゃいましたが、特色がまずひとつ大事だと思います。そこに行ったらまず何があるか、しまなみ海道だったら海が見れる、ジェラートがある、尾道ラーメンが食べられる、そういう何か発信源になるような、例えば先ほどの焼き芋なんかもすごくいいキ



ーワードだと思うのですが、「冬のこの時期に行けばこの時期にしか食べられないこれがあるよ」とかいうのがすごい大事ななとは思いますが。

僕は選手として、トレーニングとして実際やまなみ街道は行くと思います。そういうサイクリストって結構少なく、やっぱりイベントをやっていく中で大半の方がグルメを楽しみにしていたりとか、写真を撮るのが楽しみだったりだとか、景色を楽しむとか、楽しみのために走ってるっていうサイクリストが大半だと思うので、その楽しみをどう道の駅から発信していいのか、どういうところを売りにして、どういうターゲットでどういう客層を呼んでくるかというのが大事ななと思います。特に、家族連れとかだったら、お父さんは自転車で走ってもらって、その間に家族は道の駅で時間をつぶせたり、備北丘陵公園で遊べたりだとか、そういう道の駅から含めた周辺の整備というのも大事ななというふうに思います。

#### ■森島

サイクリストの人は、ほんとにただカレーを食べに行くだけなのに 100km 走っちゃいますもんね。僕のフェイスブックに上がってくる人たちも、今日もこの会場にいらっしゃいますが、自分のことを変態と呼ぶくらいですよ。

#### ■宮口

それを例えば、SNS にアップしてくれるのでサイクリストがサイクリストを呼んで来るという仕組みができると思うんです。ここに来たら、これが食べれる。これがあるよという、お土産やグッズなど、何か売りになるものを一つ決めて頂いていただくといいと思います。

三次やまなみ街道を自転車で走ってますけど、何が特産品で何があるのと言われると、僕自身分からない部分があるのでアプリの話もありましたが、もっと情報発信してもらって、いろんな人の目に入るようにしてもらったら、サイクリストの誘致につながるのではないかと思います。

#### ■森島

勝部さん情報発信ということが出てきたので、お願いします。

#### ■勝部

情報発信は、外の人を呼ぶものなのですが、道の駅に行ってみたりすると、発信されていないものが結構多くて、実際に行ってみないとわからないという状況がほとんどでした。そういったことを発信していくことで、外の人が興味を持つことが増えるのではないかと思います。

#### ■森島

行ってみないと分からないということもあるので、大事なところなんですよね。全部わかってしまっても困るし、でも手がかりがないと行けないしというところですね。



### ■ 梵

僕がいつも思うのは、道の駅というのは独立採算性なんですね。基本的には補助金なしで運営していくものなので、もっともっとビジネス的にやってもいいのではないかと思います。公共的なところが多いので、もう少しビジネス的なところをしてもいいのではないかと思います。

### ■ 服部

今ビジネス的なところということで、今私たちのやっている協議会があることで、1つのイベントをするのに、たとえば、スノーキャンドルのイベントをやりますとなった時に、周りにあるレストランの人たちは“うちは売上を上げるためにこういうことをやろう”ということで、その利益をもっと大きなものにするというのはなかなか難しい部分があります。ですが、そういったことで自分が関わっていく1つのイベントをきっかけとして、売り上げを上げるためにこういう風に関わりたいという動きは最近できています。

### ■ 森島

ありがとうございます。今のことに関連して、難波さんとしてはどうですか。

### ■ 難波

公益性と収益性というバランスがあります。道の駅は今までは採算は取れていましたが、交通量が減ったことで収益が減った。それによってバランスが崩れ、解雇しないといけないという現状に陥ったとか、バランスがいつか崩れる時もあります。時代と共に仕方ないのかなと思います。崩れたときに、特色を持って、自転車にまず来てもらう。呼び込みたい。その中から、そこで運営するスタッフがまた違うアイデアを出し合って、そのバランスを取り戻すために頑張っていくというのが道の駅赤来高原で言えば、そういうものなのかなと。やはり、市町が投資して建物を建てていますから、最終的には市長さん、町長さんの判断で決まってくるというのが現状なんですけども、バランスを取り戻すためにスタッフが頑張っていると、町長さんなんかも協力してくれると思います。ですから、心底頑張るって地域にどれだけ貢献できるかというのが道の駅の運営にとってカギとなると思います。



パネルディスカッション（パネリスト：服部 氏の回答）の様子



### 【話題 3】地域づくりの人材育成に関する取組

#### ■森島

ありがとうございます。そうやって進めていく上で、地域に戻ってきて来てくれる子供を育てたいということもあって、僕自身もUターンで、きっかけというのは、仕事で世界遺産の白神山地に行っていました。そのときに役場へ行くと東京からコンサルが来たのと、よろしく申し上げますとその一言でした。東京からアイデアが来たから後は頼んどけばなんとかなるだろうという感じでした。先ほど言われるおように“何も無いんだよね、ブナ林しか。”という話だったのですが、近くの小学校を訪問させていただくと、小学生はみんなブナ林の絵を描いてて、いかにうちのブナ林がすごいのか、東京の人にも見てもらいたいと作文を書いてありました。こどもは大人が目線と違って、すごい宝を大事に思っていて、みんなに見てほしいってあんなにエネルギーがあるのに、大したことないなと言うことが衝撃的で、その仕事が終わって次第広島に帰ってきました。やはり東京で田舎の仕事してるとずるいなと、広島で仕事するしかないなと思って帰ってきました。

人材は大切だがその地域で1人で頑張るのはしんどくて、重荷になって最後は去って行ってしまおうということもあると思うんですけど、人を育てる人材というところで、特に梵さんはお話・説法でされていると思うんですけど、ひとづくりという面で取り組まれていることを、改めてお願いします。

#### ■梵

お坊さんだからというわけではないのですが、まずは子どもたちが帰ってこれる環境づくりというのが、地元の誇りをつくっていくというのがきれいごとのように聞こえてしまっていて、具体的に子供が帰ってくるには何が必要かとなると、やはり雇用が必要なんです。だから経済というのは必要で、いずれにしても自分主義の時代から自他の主義というか、仏教では自利利他と言いますが、自分も求めていくんだけど、人が求めていることをまず先にやってみる。そういったところも大事になってくるのではないかなと思います。

灯台下暗しという言葉もありますけども、仏教では脚下照顧と言いますが、足元を照らし省みようという言葉があるんですが、私も三次に帰ったときに地元の人が“何も無い”とよくいっていました。私からしたら、すごくあったんですが、広島市内の方が三次の人と出会ったら、“三次遠いよね、芸備線でも2時間”という会話というのはネガティブトークなんですよ。それを普通に三次の人はしてしまう。自虐ネタにしてしまってたんですね。ただ今はちょっと変わってきてるんです。三次っていいところだよって自慢したいところが出てきてるんですね。だから足元を照らし省みながら、他者との付き合い方、自分だけ、ここの観光地だけというのではなく、尾道だったり松江だったり飯南町だったり三次からすれば、そういったところと色々、うちがこれやるよあっちがどうなるかを考えながらやっていこうねと私たちのグループでは言っています。

#### ■上野

若者が仕事などで都市部に集中していき、地方に人がどんどん少なくなっていくなかで、「ディスカバーリンクせとうち」（株式会社 Onomichi U2 親会社）という会社名で取り組んでいるのですが、地



域の良さをディスカバー（発見）して、育て、次の世代の若者たちに継承していくという方針が、この会社のはじまりでした。

現在、ちょうど観光ブームというところで、観光に対して、国が様々な取り組みを行っていることや、地方創生ということもあり、そのような部分で取り組みを応援していただいております、追い風になってきています。

私たちが普段見ても何とも思わないようなことをもう一度ディスカバーして、しっかり良さを伝えていくことによって、その地域のブランド価値もどんどん高まっていくんですね。

現在、私たちは、い草細工なども行っているのですが、昔からある伝統産業は、採算性がとれませんが、良いものをしっかりと私たちの世代でおしあげて、世界に広めるという取り組みを行っています。

私の勤務するジャイアントストア尾道の向かいに「SHIMA SHOP」というライフスタイルショップがあって、自社開発商品やそういった地域のをセレクトした商品を販売しています。

こういったものを、やまなみ街道でもクローズアップして、しっかり発信してもらえれば良いと思います。



パネルディスカッション（パネリスト：梵 氏の回答）の様子





#### 【話題 4-1】会場からの質問：20～30 代の若者を地域に呼び込むためのアドバイス

##### ■森島

ありがとうございます。会場の方からご質問があれば、どなたか個人に向けてでも、皆さんに向けてでも構いませんので、ご質問がございましたら挙手していただけたらと思います。

##### ■一般参加者（山口県柳井市地域おこし協力隊 シラキさま）

山口県柳井市で地域おこし協力隊をしております。シラキと申します。

私は自転車での広域観光ルート開拓に取り組んでいます。実際のところ、よいサイクリングロードは整備されており、道路も悪くない、ただ、設備がないといったところです。

そういった点では、走り慣れている方には走りがいのあるコースですが、やまなみ街道と同様、走りがいのあるコースということだと、自転車を始めようとする 20～30 代の女性などにとっては、ハードルが高いです。

20～30 代の若者を呼び込むためのアドバイスがほしいです。

難波さん、上野さん、宮口さん、アドバイスがあれば教えていただきたいです。

##### ■難波

飯南町は、20～30 代の若者が来訪して喜ぶものってあるのかなって思っておりましたが、ふたを開けてみたら 20～30 代の女性が多いです。レンタサイクルも行っておりますので、友達やフェイスブックからどんどん情報発信されており、楽しい雰囲気を出すことに取り組んでいます。地元の方だけでなく、来訪された方や、友達と来た人などに協力していただき、レンタル料無料にするからフェイスブックで発信をお願いするなど行っています。とにかく飯南町で盛り上がっているという雰囲気を発信しています。また、中国新聞をはじめとするメディアに記事にさせていただくことも重要で、紙面に掲載されたほうが情報発信としては早いです。これらの取り組みや、本日私がこの場でお話をしていることもその延長だと思いますが、緻密に様々な取り組みを行っていくことで、広がりが生まれてきます。何かの参考にしていただけたらと思います。

##### ■上野

観光客の方に少しでも多く、走っていただきたいということですかね？

弊社には、参考事例としてベンチマークに来られる、自治体やコンサルタント・企業の方々がいらっしゃいます。それらの対応で、いつも同じことを申し上げているのですが、しまなみ海道と同じことをやってみても、例えば、海があって、田舎の走りやすいコースがあって、美味しい食べ物があって、というのであれば、ネームバリューがあるしまなみ海道に集まってしまいます。そのため、それをこれからがんばって盛り上げていくのはなかなか厳しいものがあります。では、何を考えたらいいのかというと、そこにしかないものを考えなければいけない。例えば、箱の力。箱といえば、リノベーションであったり、変わったもの、変わったモニュメントを作ったり。それを見に、写真を撮りに、面白いものを見に来たり、自転車乗りが楽しめる大きなアーチを作って、「ここがスタート」としたり。山がある



のであれば、山を登るヒルクライマーなど、上り坂が好きな方々がいます。そういった人がタイムを競ったり、そこをあえてアプリにするのではなく、そこに設置する。例えば、スタートとゴール、ボタンを設置して年間ランキングを表示して、それで競ったり、色々な面白いことを考えて頂いて、呼びこむ。そういったオリジナリティが重要だと思います。そういった取り組みによって、普通の景色の良い道が、サイクリストにとって魅力のあるところになると思います。

#### ■宮口

イベントとかも結構させていただいて、イベンターとしても活動していますが、特に、女性を呼び込むうえでは、上野さんが言うように、「しまなみ海道」というブランドが一つ出来上がっているのので、同じような取り組みを行っても、それを越えることは難しいと思います。

山口には山口のいいところがあると思いますが、イベントの内容が重要だと思います。イベントを立ち上げていくというのが大事です。イベントに応じた参加者というのは、様々なイベントに来てくれます。全国から誘致していくかたちで、柳井市で、色々な取り組みを行っていく。例えば、案として現在考えているのが、自転車を活用した合コン・お見合です。自転車に興味のない女性・男性がその町に来てくれる。そこで、自転車に興味を持ってもらう。そして、女性が集まることによって、男性も集まるという仕組みが生まれる。

まず、イベントを立ち上げて、定期的で開催して、イベントの内容を回によって変えていく。そうすると、若い女性でも、コースがきつくても、みんなで協力して走りきるといった充実したことができると思います。

#### ■森島

ありがとうございました。よろしいですか。



パネルディスカッション（会場からの質問）の様子



## 【話題 4-2】会場からの質問：九州で類似した問題を抱えている道路に対して出来る取組

### ■福田（一般参加-復建）

昨年まで建コンの九州支部におりました福田です。九州では、東九州自動車道が開通した。福岡県東部北九州地区と大分県北部の地区で、高速道路ができることで素通りされるといった問題がおこり、その地域の活性化に向けた検討を九州工業大学が中心となって取り組んでいました。

私は、それをサポートする仕事をしていたが、大分県と福岡県の行政による地域連携は、中々難しいといった課題がありました。

今日は、皆様から、54号線、新しい道路が出来たことで様々な努力をしていることを聞いて非常に勉強になりました。

つまり、地域同士の問題、地域の外にどのように発信しながら、どのように地域の力を向上させていくかが重要となると思います。

私自身、九州で地域連携団体をつくったが、それとの連携を是非していただければと思う。いかがでしょうか。

### ■森島

広島と九州との連携、中々答えにくいとは思いますが、どなたか。

### ■宮口

自転車の話になるが、全国どこでも、サイクリストや自転車のチームがあり、福岡にもあります。そうした自転車チームをベースに連携を取りながら、自転車の合宿を誘致するなどすれば、広島と福岡の連携が生まれてくると思います。



パネルディスカッション（パネリスト：宮口氏の回答）の様子



## (5) 閉会

### ■森島

色々と話足りないこともあると思うが、時間がだいぶ過ぎたので今日のトークはここまでにします。今日来ていただいた方々は、これから旧 54 号線を麵ロードと呼んでいただき、各道の駅に寄っていただき、ジャイアントストアで自転車を買う、または借りにいくということで立ち寄ってほしい。また、広島工業大学の勝部さんが研究しているマップも是非、見てもらって頂ければと思います。

今日のこの素晴らしい方々との新しいネットワークが生まれたことを活かしながら、各自でこの問題を持ち帰り、引き続き、それぞれで考えて頂ければと思います。

本日は長時間にわたり、ありがとうございました。パネリストの方々に大きな拍手をお願いします。



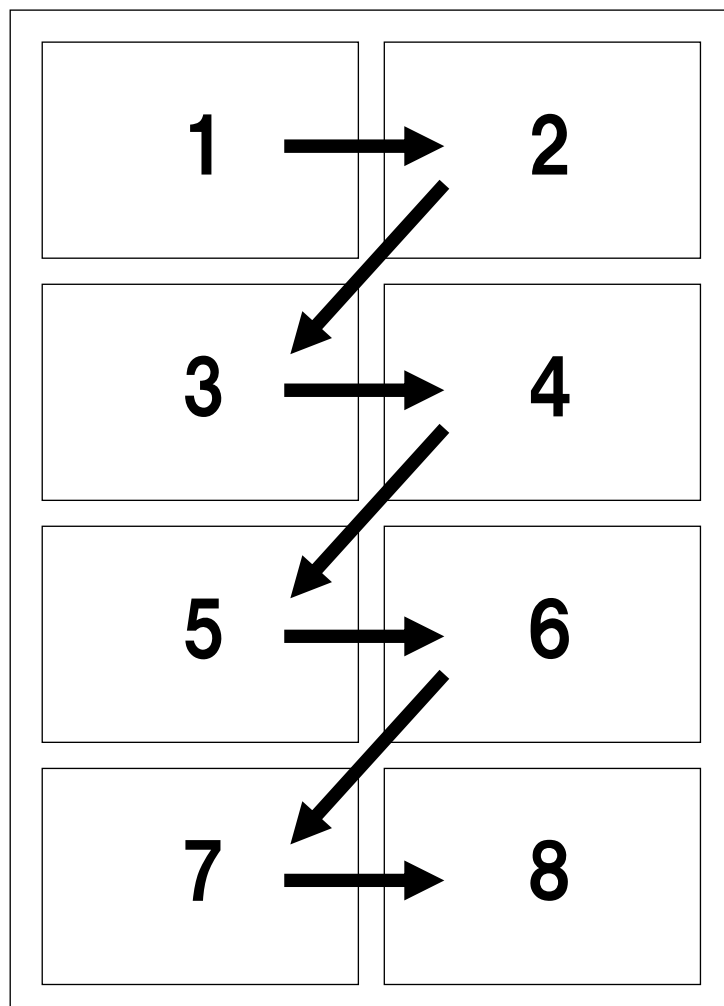
## 2.2.4 まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」関連資料

ここでは、まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」に関連する資料として、話題提供及びパネリストの活動内容紹介に用いられた発表資料を掲載する。

### 【発表資料】

- 建設コンサルタンツ協会：話題提供資料
- ①上野 一 氏（ジャイアントストア尾道）：活動内容紹介
- ②勝部貴大 氏（広島工業大学）：活動内容紹介
- ③梵 大英 氏（専法寺副住職／344project）：活動内容紹介
- ④難波孝憲 氏（飯南町観光協会（道の駅赤来高原駅長））：活動内容紹介
- ⑤服部恵子 氏（飯南町地域おこし協力隊）：活動内容紹介
- ⑥宮口直之 氏（プロロードレーサー）：活動内容紹介

なお、各発表資料は、右下図の順に整理している。





建設コンサルタンツ協会：話題提供資料



1. やまなみ街道の特徴

- ・高速自動車国道は道路種別延長でわずか1%未満の割合、新直轄方式はその中でもさらに10%未満の計画のため、全国的にも珍しい。
- ・総事業費の3/4以上が国の負担(残りを広島県・島根県が負担)



1. やまなみ街道の特徴

■概要

～中国横断自動車道 尾道松江線～  
(中国やまなみ街道)

- ・開通：平成27年3月22日に世羅IC～吉舎ICが開通全線開通する
- ・効果：全線開通により尾道～松江の所要時間が約2時間に！開通前から約80分短縮
- ・特徴：無料の高速道路(尾道北IC～三刀屋木次IC)

山陰と山陽を繋ぐ新たな大動脈により、さらなる交流促進や活性化が期待されています。



2. やまなみ街道の整備効果

- ・広島県のやまなみ街道周辺の有料観光施設では、松江自動車道、尾道自動車道の開通によって前年より利用者数が増加している。



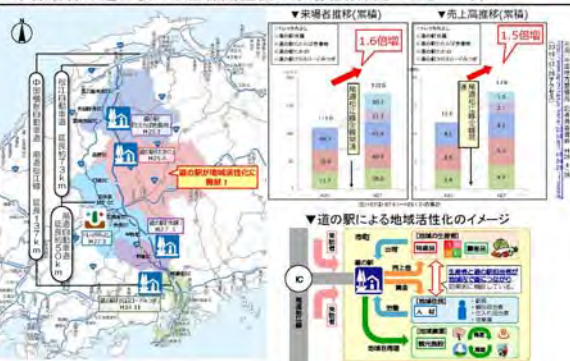
2. やまなみ街道の整備効果

- ・同様に島根県内のやまなみ街道周辺の観光施設でも、松江自動車道、尾道自動車道の開通によって前年より利用者数が増加している。



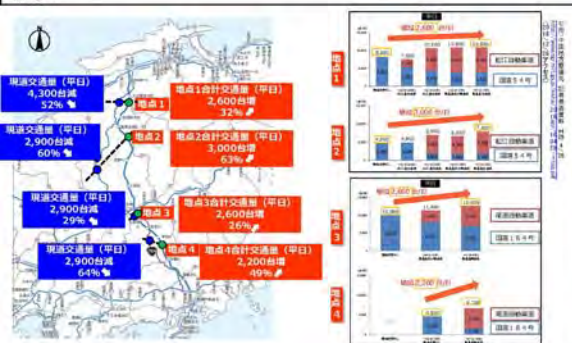
2. やまなみ街道の整備効果

- ・本線沿線の道の駅では全線開通後に来場者数、売上ともに上昇！



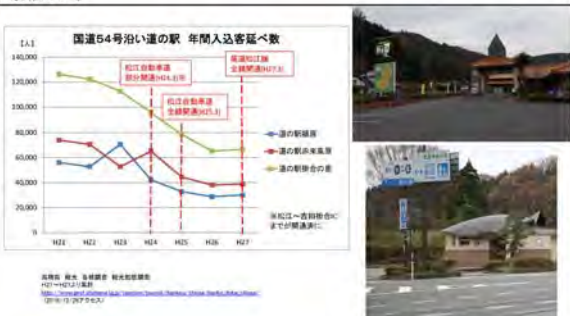
3. やまなみ街道と並行する国道の交通量

- ・やまなみ街道の開通で地点交通量が増加。多い所では平日で約5割の増加も！



4. やまなみ街道沿線の現状と課題

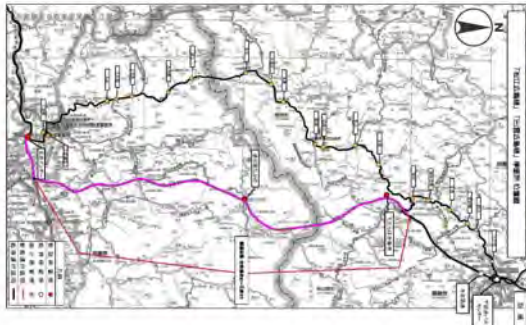
- ・やまなみ街道に並行する国道の交通量が減少し道の駅など立ち寄り施設の入込客数が減少。道の駅赤来高原を運営していたフロンティアあかさが解散した。





#### 4. やまなみ街道沿線の現状と課題

・やまなみ街道の開通でバス路線の多くがルートを変更。沿線の公共交通機関が減少した。



#### 5. やまなみ街道沿線に係る取り組み事例（サイクリングロード）

・平成28年に4月沿線関係者によって【やまなみサイクリングロード】が選定された。



#### 6. サイクリングロードレポート

・2つの班に分かれてやまなみサイクリングロードを実際に体験してきました！

日時：11月26日（土）  
天候：晴れ



尾道のジャイアントストアで自転車をレンタルしてスタート



広島からの高速バスに乗り込んで三次からスタート

#### 6. サイクリングロードレポート

～試走を終えて～

- 【やまなみサイクリングロードの特徴】
  - ・豊富な休憩施設（道の駅等）
  - ・起伏に富んだ走りやすいコース
  - ・道中の雄大な自然（山間風景）
- 【やまなみサイクリングロードの課題】
  - ・レンタサイクルの整備（起終点でそれぞれ乗り捨てが可能が望ましい。また中間の三次付近にも施設が欲しい）
  - ・少ない情報（休憩施設や立ち寄りスポットの情報を見ることが出来るマップやサイトが少ない。）
  - ・急カーブ、急坂など危険な箇所への注意を促す標識がなかった（自転車目録で）
  - ・路面の凹凸やトンネル内が暗いなど走行に危険な箇所が見られた。

#### 7. 自転車による活性化の可能性

・自転車ニーズの高まりによる需要の増加

【自転車ニーズの高まり】  
 ・しまなみサイクリングロードの玄関口、尾道にあるGIANT STORE 尾道では、年々レンタサイクルの利用が増えている。  
 ・環境にも良い自転車は日本、そして世界でも利用が促進され、トレンドとなっている。



#### 7. 自転車による活性化の可能性

・サイクリングロードの選定と自転車関連の法整備で行政の支援が望める

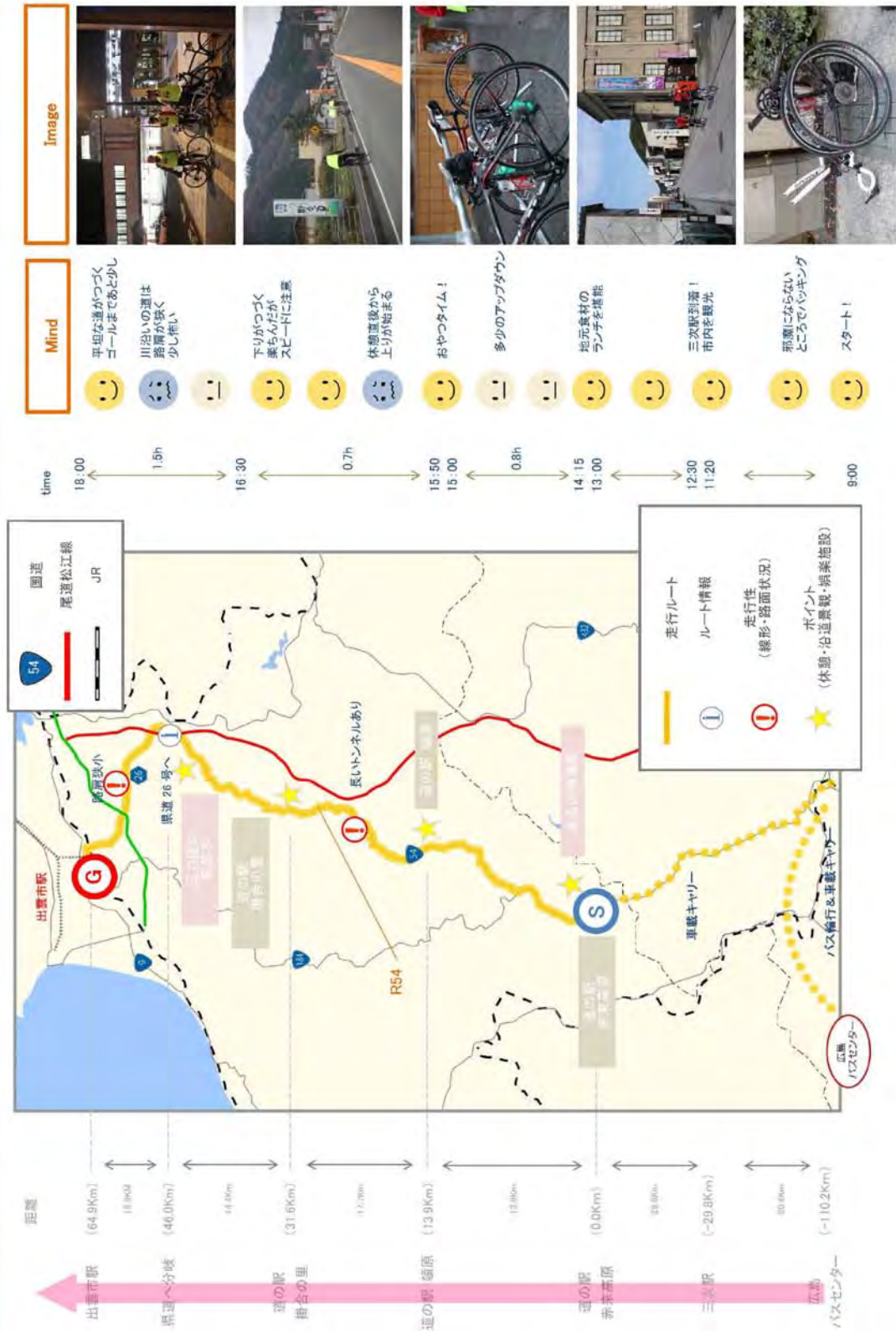
【行政の支援が望める】  
 ・サイクリングロードに選定されたことで道路整備や周辺施設等に対する行政の支援も望める。  
 ・また、2016年12月9日に「自転車活用推進法案」が国会で可決され、自転車活用のための施策を進めることが国と自治体の責務と定めている。







やまなみサイクリングレポート 飯南～出雲ルート





## 活動内容紹介

### ①上野 一 氏 (ジャイアントストア尾道)

#### 自己紹介



上野 一 (うえの はじめ)

株式会社ONOMICHI U2  
サイクリング事業部 マネージャー  
ジャイアントストア 尾道 店長



#### GIANT STORE 尾道

2014年3月22日OPEN

- レンタサイクル
- メンテナンス
- 自転車・パーツ販売



レンタサイクル年間利用実績 (台)

2014年	2 4 5 4
2015年	4 1 8 9
2016年	5 3 0 0



#### GIANT JAPAN VISION

走る楽しさを  
もっと身近に

「我々は自転車 (モノ) を売っているのではなく  
サイクリングを売っている」

自転車 + フィールド + コミュニティ = 楽しいサイクリング

#### やまなみ街道サイクリング 2016/10/27

やまなみ街道サイクリングロードを走る



走行距離：188.7km 走行時間：6:00~19:00 (13H)  
獲得標高：1900m 最大標高差：558m





②勝部貴大 氏（広島工業大学）

## 「道の駅」アプリ活動紹介

広島工業大学大学院  
工学系研究科建設工学専攻  
福田研究室所属  
勝部 貴大

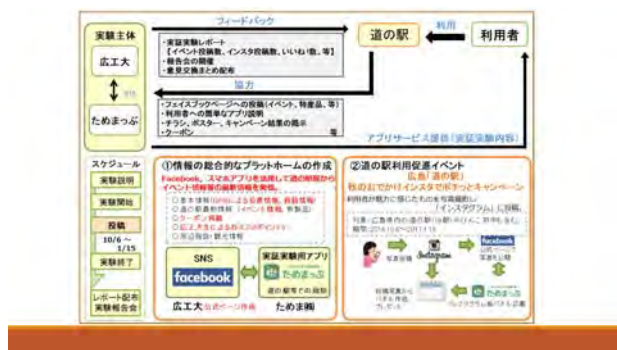
メンバー：広島工業大学 建築工学科 福田研究室

目的：現在、「道の駅」の利用が少ない若者に情報発信を行い、魅力を伝え利用を増加させる。

活動内容：広島県「道の駅」調査  
情報発信ページの作成、運営  
「道の駅」でのイベント企画



助成：一般社団法人 中国建設弘済会



広島県「道の駅」Facebookページ



情報発信に関するヒアリング結果

<p><b>情報発信の現状と課題セミナー</b></p> <p>1) 情報発信に対する姿勢</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「道」に限定せず、Facebookで積極的に情報発信を行っている。</li> <li>「道」に限定せず、積極的に情報発信しているが、ネットを使った情報発信の場には躊躇している。</li> <li>「道」に限定せず、積極的に情報発信しているが、ネットを使った情報発信の場には躊躇している。</li> </ul> <p>2) 情報発信の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「道」の魅力を伝えること。</li> <li>「道」の魅力を伝えること。</li> <li>「道」の魅力を伝えること。</li> </ul>	<p><b>道の駅からの生の声</b></p> <p>「道」の魅力を伝えること、ネットを使った情報発信の場には躊躇している。</p> <p>「道」の魅力を伝えること、ネットを使った情報発信の場には躊躇している。</p> <p>「道」の魅力を伝えること、ネットを使った情報発信の場には躊躇している。</p>
---	--

みちぼちキャンペーン

クリスマスイベント（道の駅たけはら）



③ 梵 大英 氏 (専法寺副住職/344project)

Profile

- 梵 大英
- 浄土真宗本願寺派 専法寺 副住職
- 344プロジェクト代表
- 三次商工会議所青年部
- (一社)三次市観光協会
- 広島県三次市三次町在住
- Uターン9年目
- 趣味 サーフィン



Brother

- 梵 英心(広島東洋カープ)
- 現役生活12年目
- 三次小中高~駒澤大学~日産自動車
- #最近見かけない #似ともよんでない



Media

梵大英の週間法語掲載



梵大英の「たなごころ」連載中



Activity 344

カープ×三次(344)



選手にも人気です



カープ坊や×鶉飼=鶉飼坊や ver.

Activity 344

三次の試合では344Tシャツで応援!



収益金の一部は市内スポーツ団体、地域団体へ寄付し活用させていただきます



Activity 344

収益金を活用してスポーツイベントを実施しています



三次出身プロ野球選手たちによる野球教室 & 引退選手のふるさと引退セレモニー



広島(山崎)×鳥飼(山崎)の園遊り合戦! プロバスケットボールのプレシーズンマッチ

Activity 344

収益金を活用して地域イベントを実施しています



Activity 344

三次商工会議所青年部/三次唐焼プロジェクト





## Community





④難波孝憲 氏

(飯南町観光協会 (道の駅赤来高原駅長))

### 日本版DMO候補法人 飯南町観光協会の取組

(一社)飯南町観光協会

### 飯南町観光協会の設立

#### 飯南町観光協会設立の経緯

- 飯南町においては、近隣市町と連携を進めながら、行政主導で旅行会社を設立し地域型旅行商品を企画販売
- 平成25年5月に中国横断道尾道松江線が部分開通したことに伴い、国道54号の利用者が半減し、観光入込客数36万人⇒30万5千人(平成25年度は約5万人減)
- 影響は、約2億円の損失(経済波及効果 H24:14億円→H25:12億円)と推計
- 人口減少に歯止めがかからず、観光誘客による地域経済の維持活性化が重要
- 当時、島根県内に観光協会がない自治体は飯南町のみ
- 行政はもとより観光関係者がこの危機感を共有し、国・県の観光振興の取組みと連動する体制を再構築する必要あり

↓

- 飯南町の豊かな自然と特色ある歴史・文化を核とした食卓・温泉・体験等をより連携・運動
- 飯南町内の観光に携わる個人・団体・企業などで組織する観光協会を組織化する必要性
- 観光客への情報提供及び様々なニーズへの対応並びに誘客活動の一元化による観光振興
- 飯南町民が、この地への親しみと愛着が持ち、多くの方々が訪れる賑わいのある町の創造
- 観光に携わる方々の活性化に寄与するため飯南町観光協会を平成27年5月1日に設立
- 平成28年4月22日、日本版DMO候補法人に登録。

### 観光協会の体制

**会員数【H28.11.30現在】**  
 ・正会員 41団体  
 ・賛助会員 6団体

**職員数【H28.11.30現在】**

- ◎観光部門
  - ・町から派遣 1名
  - ・正規職員 4名
  - ・嘱託職員 2名
  - ・国際交流員 1名
- ◎施設管理部門
  - ・嘱託職員 4名
  - ・臨時職員 6名

※施設管理部門は「飯南町総合交流ターミナル / 飯南町農産物加工工場」の指定管理業務。(H29.3末まで)

### 観光協会の業務 1

- 観光誘客宣伝事業**
  - ・ホームページ・Facebook運営、メディア取材等への情報発信。
  - ・旅行商談会等への参加、旅行会社への商品提案。
  - ・PRコンテンツ作成、パンフレット・デジタルサイネージ活用、Wi-Fi整備。
  - ・周辺地域、市町との連携。
- 観光客受入対策事業**
  - ・観光案内所の運営。(町内2か所)
  - ・各種イベントの協力及び後援。
  - ・観光客の周遊対策、観光商品開発。
- 観光調査事業**
  - ・飯南町認知度調査。
  - ・地域情報・商品情報の収集。
  - ・顧客・旅行会社等データベース化。

### 観光協会の業務 2

- 旅行業事業**
  - ・旅行商品の企画販売。
  - ・他の旅行会社との連携。
  - ・ランドオペレーター機能整備。
- 森林セラピー事業【町からの受託事業】**
  - ・セラピスト・ガイドの育成。
  - ・企業利用の促進、メンタルヘルス活用。
  - ・森林セラピー商品の企画運営。
- インバウンド事業**
  - ・海外来訪者の受入対策、企画提案。(主な受入国:台湾、タイ)
- サイクリング事業**
  - ・レンタサイクル。
  - ・ガイド付きサイクリング。
  - ・空港ポーターサービス。

### インバウンド事業の推進

スノー場でのお遊び、フライダルフット撮影、舟名街道での漁漁り体験、リンゴ狩り体験、しめ縄づくり体験

日本文化(しめ縄)、着、リンゴを中心に進めることし、ターゲットを台湾・タイと位置づけ、国内外の商談会に出かけ営業を行っている。

今年の1月・2月には、台湾から雪遊びしめ縄体験で約200名、台湾フライダルフット試行で6名、タイから舟名街道での漁漁り体験で6名、それぞれ来訪いただいた。10月にはリンゴ狩りに台湾から100名来店。11月には台湾から商業フライダルフット撮影の実訪もあった。今月は雪遊びでスノー場への実訪がある。

### サイクリング事業の推進

高尾道尾道松江線開通に伴い、国道54号線の自動車交通量は減少し、逆に二輪車、自転車が増えやすくなった。

そこで、自転車でも町内も周遊できるようにするため、今年度よりサイクリング事業をスタートした。ロードバイクを購入しレンタサイクルをスタート、ANAサイクリングチームの協力によるモデルプラン作成や、空港イン荷物ポーターサービスの実証試験等を行っている。町内を周遊するためのサイクリングマップも作成。また、ガイド付きサイクリングや地元農家等との交流・体験もできるサイクリングも企画して実施している。





# 飯南さとやまサイクリング

iinan satoyama cycling

飯南町の魅力をもっと感じてほしい・・・  
自転車だから、飯南町だからできること

## 現状

全国各地でサイクリング事業や整備が進められている。

### ・しまなみサイクリング 【13万人を超えるサイクリスト】

サイクリストに喜んで頂くサービス、イベント、施設など  
受け入れ態勢が充実し、しまなみを走る人が絶えない。  
そこで体験する事業に共感し、世界各国からしまなみへ  
サイクリストのみならず全体の観光客増につなげている。

### ・やまなみサイクリング

サイクリストは増加傾向にあるが、現状では国道54号の過渡。  
「道の駅」への立ち寄りにつながっている。経済効果は少ない。  
飯南町ならではのサイクリングを提案していかなければならない。

ロケーション・観光素材・交通網 すべてが揃う しまなみサイクリング



## さとやまサイクリングの拠点に・・・

飯南町に行く意味・目的を明確に提案する。

### 飯南町で（体験）してほしい3つの事を提案

・出逢いをしると気持ちいいですよ～では無く、飯南町でし（こ）を！

- ①飯南町に来たら、こ（こ）
- ②飯南町に来たら、必ずし（こ）を！
- ③飯南町に来たら、こ（こ）を！



## さとやまサイクリング 企画

飯南町に求んでこないサイクリング企画を・・・

### さとやまサイクリングの魅力提案

- ・スポーツ系サイクリストへ「やまなみコース」の提案
- ・都市部のサイクリストへの「プレミアム」ある企画を提案
- ・「ファミリー」層へ「田舎」で出来る体験型自転車ツアーを提案
- ・初心者や関心のある方々へ「飯南」のサイクリングを提案
- ・「近所」・「出逢い」・「体験」・「感動」の観光上を目指すサイクリング
- ・健康志向の「森林セラピー」を提案した企画を提案
- ・飯南町で「味」を提案（地元野菜・旬の食材）等



U2 = サイクリストにとっての拠点



しまなみレンタサイクルターミナル



→ サイクリストがうれしくなる・楽しくなる・誰かに教えたいくなる「やまなみサイクリング」を目指す  
出逢い・広域空港からのサイクリング  
サポート有料サービスの提案

### サイクリストが集う拠点の整備へ

#### 【今後必要な3つの事】

- ①レンタサイクル+観光案内ターミナル整備
- ②サイクリング サポートサービスの充実・広報
- ③町内各施設を含めたサービスの向上



⑤服部恵子 氏（飯南町地域おこし協力隊）



自己紹介と島根に来たきっかけ

- 名前： 服部 恵子（ハトリ ケイコ）
- 出身： 東京都（孫ターン）
- 前職： 旅行業界で事務や添乗をしていた
- 在籍： 飯南町役場 地域振興課  
（国道54号活性化アクションプラン推進協議会）
- 在席： 頓原公民館（地域を知るため）
- 飯南町歴： 2年6ヶ月（協力隊3年生）



国道54号活性化アクションプラン推進協議会

協議会では、「人でつなぐ54号」を合言葉に活動しております。  
今年度から「い〜やん人つなぎ協議会」という愛称が決定！



活動の4つの柱

協議会の4つの柱「自然」「食」「歴史文化」「人と道」



【歴史文化】

秋祭りの魅力を高める



ふるさと教育パネル



【飯南の自然】

雪も資源！雪って楽しい。







◎宮口直之 氏（プロロードレーサー）

## 宮口 直之 活動実績と方針

### プロフィール

- レーサー
- 宮口 直之
- 1981年2月14日生まれ
- 35歳
- 身長162cm 体重54kg
- 福山市新市町出身



- 小学校5年生の時にテレビを通して自転車競技を知り現在に至る
- 2010・2011 Jエリートツアーチーム総合優勝(クラブシルベスト)
- Jエリートツアー 入賞多数
- 2015年より日本最高峰の自転車レース、ジャパンプロツアーへ参戦
- 2015 年度ジャパンプロツアーランキング 121位(全選手234 人中)



### 現在の活動内容

急増する自転車利用者とともに、  
自転車による事故のリスクも高まっている昨今

交通ルールの周知徹底や安全な環境作りで、  
『皆が安心安全に楽しめること』を目指し活動中

《具体的活動内容》

- 安全教室
- 地域貢献活動（交通安全啓蒙・清掃活動）
- 自転車文化を広める活動  
（イベント企画、2017年度新チーム設立予定）
- レースへの参戦
- 講演会

### 安全教室の目的

- 交通ルールの周知
- 運転技術向上のお手伝い
- 車社会との共存
- 交通事故にあわないための心得
- 自転車の楽しさを伝える



### 自転車レーサー 宮口直之として なぜ交通安全教室を行うのか？

普段目にする事のないレーサーの  
ユニフォーム姿は子供たちにとって  
興味深々です。  
更に、実体験を元に話しをする事で  
しっかりと耳を傾けてくれます



結果として・・・  
交通安全に対する  
意識を高める効果  
**自分の命は  
自分で守る**

### 福山市・府中市一円で交通安全講習会を実施



場所	数
● 未就学	18
● 小学校	9
● 高齢者	3
合計	30

2015/9～現在

### 地域貢献～交通安全啓蒙活動～

【交通ルール=自分の命を守る方法】  
一人でも多くの人に交通ルールの大切さを知ってもらう為、  
イベントへ積極参加



**交通安全**  
宮口&マクドナルド交通安全ショー  
交通安全ファミリーランド2015・2016  
自転車利用者街頭啓蒙活動  
常金丸公民館社会教育活動事業  
福山西口ターリークラブ児童養護施設支援事業

### 地域貢献～清掃活動～

- 地域の方々へ皆で恩返し
- 安全な走行の環境作り



福山市グリーンラインでの清掃活動

因島大橋（しまなみ海道 尾道市）  
芦田川河川敷（福山市）でも実施



## 自転車文化拡大～イベント企画～

『自転車』というアイテムは  
性別・年齢・地域あらゆる垣根を超えて楽しめます

グルメサイクリングや自転車旅行、レース志向の人向け練習会など、  
『自転車』の楽しさをイベントを通して伝えていこうと思っています



2016/08 広島県発→鳥取県大山ライド

## レースへの参戦～目標レース～

- 広島県ロードレース
- 西日本チャレンジサイクルロードレース
- 中国地方で開催されるレース
- KINAN AACAカップ
- シマノ鈴鹿国際ロードレース



## メディア出演

- TBS系RCC「イマなまっ!」
- 日テレ系広島テレビ「テレビ派」
- エフエムふくやま
- 中国新聞
- 朝日新聞
- 山陽新聞
- 地元折り込み紙
- 経済レポート
- TJ広島
- ビジネス情報



### □自転車は、健康にいい、そして環境にもいい、夢の乗り物

誰もが乗ることのできる交通手段としての自転車。その用途は単なる交通手段としてだけでなく、**趣味やスポーツ、エクササイズ**など幅広く利用されています。

ヨーロッパにおいてはサイクリングは連日テレビなどでも放映されるほどの大人気スポーツです。その一方で老若男女、**生活の手段として買い物や通勤通学**に使うなどスポーツと生活の道具が同じという非常に珍しい乗り物でもあります。

自転車はCo2も出さない**エコな乗り物**としてだけでなく、家族のコミュニケーションツールとして、また**健康維持の生涯スポーツ**としての可能性に各方面から多くの注目が集まっています。

しかし、最近では自転車に関する**交通事故の増加、悪質なマナー違反、交通ルールの違反、放置自転車**の問題など、自転車に乗る人が社会的な悪者として取り上げられる事も多くなってきています。

**道路交通法の改正**により自転車の規則は更に厳しさを増す今日に至っています。

## 自転車文化拡大～新チーム設立～

《チーム名》 eNShare CyclingTeam(エンシェア サイクリングチーム)  
《発足日》 2017年1月予定  
《発起人》 伊藤翔吾・宮口直之  
《チームコンセプト》

- **楽しく安全に! Share the FUN!!**
- **自転車を通して縁(えにし)、楽しさを共有し広める**
- より地域に根ざしたチームを目指す
- サイクリストのみならず行政、地域住民、地域企業と連携し  
自転車を通して地域貢献・社会貢献、自転車環境の改善
- 自転車に乗る人も自転車に乗らない人もeNShare CyclingTeamを通して交流の場を作る(参加型サイクリングチーム)
- 自転車の楽しさの拡散、生涯スポーツとしての自転車の提案、  
自転車競技の浸透、周知を目指す

## 講演会

講演会内容

### 『出会いが成長の種』

多くの方に出会い、支えられ、  
自分が夢の舞台に立った体験を  
スライドショーを交えながら  
お伝えしたい



■ 講演場所 ■

常金丸中学校・神辺小学校・御野小学校  
福山西ロータリークラブ  
戸手高等学校(11月10日)

## 補足資料～自転車の現状～

### 自転車のおかれた現状と課題

自転車の交通事故の増大

自転車レーンなどの整備

放置自転車、違法駐輪問題

駐輪場の整備

交通ルール違反

道路交通法の周知

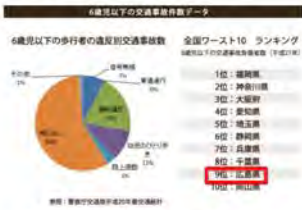


自転車はどうあるべきか

**自転車に関わる教育の充実が必要**



## 安全教室の目的



たった一つの命  
自分の命は  
自分で守る

交通ルールの重要性を伝えることは  
【子供達を重大な事故から守る事】につながります  
同時に自転車に乗る技術構築の基礎作りをお手伝いします

## 安全教室で伝えたい事

- ひとりでも多くの子どもに、自転車の楽しみを
- 自転車は交通ルールを守れば楽しい乗り物
- 子どもの頃の楽しみを大人になっても忘れない



### 子どもの心のインフラ整備

- 自分の力で動く自転車を使い楽しむ感性を育てる
- 自転車を通じて社会問題の知識を深める
- 交通社会の中において道をシェアする



## 2.3 ガイドブック検証

### 2.3.1 調査概要

#### (1) 被験者情報

No.	年齢	国籍	性別	名前(伏字)	滞在期間(2016.10末時点)
1	26	ミャンマー	男性	Aさん	0年4ヶ月
2	28	ミャンマー	男性	Bさん	0年4ヶ月
3	28	ベトナム	男性	Cさん	2年2ヶ月
4	37	ベトナム	女性	Dさん	1年1ヶ月

#### (2) 調査日

調査内容	実施日	参加者
大久野島と竹原の日帰り旅行	2016 9/23	Cさん、Dさん
雁木タクシー『水の都 広島を巡る』	2016 10/10	Aさん、Bさん
エキキタ周辺マップ『ぴーすくるでGO! 広島駅北七福神巡り』	2017 1/11	Aさん



## 2.3.2 調査結果

### (1) 『大久野島と竹原の日帰り旅行』

『大久野島と竹原の日帰り旅行』（Cさん）

○竹原駅からの所要時間（徒歩 15 分）が記載しているため、分かりやすかった。

○マップに島内の地図がないため、迷ってしまう。島内の地図を追加してほしい。

○マップには、キャンプ場、休暇村や夕陽を見るスポットなどが記載されていない。ウサギが多い場所や夕陽がきれいに見える場所などの情報を記載してほしい。

○竹原町並み保存地区のマップがないため、地区内の道が分かりにくかった。初めて来る外国人にとっては、地区内のマップがなければ大変である。



- ① JR の忠海駅から忠海港まで5分ぐら歩きします。
- ② 忠海港の前に自動券売機で乗船券を買います。運賃は大人片道でたったの310円。ここでも往復券を買えます。
- ③ 店の中にもウサギのエサのペット売っています。
- ④ 大久野島の上ではエサを買うことができないので、ここで買って行く方がいい。

- ⑥ パンフレットで地図がないので、島内の道を迷いました。島内の地図を追加してください。
- ⑦ 一番手前の鉄塔のある島が、目指す大久野島です。



大久野島 Ohkunoshima-Island

竹原町並み保存地区

大久野島へ行く時のお断り!!

竹原町並み保存地区マップ

- ⑤ パンフレットの中ではキャンプ場、休暇村、夕陽を見る所など書いていません。実は、この場所です。休暇村の辺りはウサギが一番多いところです。

- A. パンフレットで竹原駅から徒歩15分と書いていたので、分かりやすかった。
- B. パンフレットで竹原町並み保存地区のマップがないので、町内の道を分かりにくかった。
- C. 外国人にとって、初めての竹原町並み保存地区に来ると、町内マップをなければ、大変だと思います。



『大久野島と竹原の日帰り旅行』(Dさん)

- 大久野島では、海水浴やレンタサイクルの貸出などがあるが、このマップにはそれらの利用方法が掲載されていない。
- 各鉄道駅間の距離が書かれていない。
- 竹原駅から竹原町並み保存地区までの地図が書かれていない。

### 広島県内 大久野島と竹原の日帰り旅行

One day trip to OHKUNOSHIMA-ISLAND and TAKEHARA

竹原市に位置する「大久野島」は、瀬戸内海に浮かぶ周囲約4kmのほんの小さな島ですが、島中に愛らしい「ウサギ」が走り回っており、国内のみならず、海外からも注目度も高まっています。

「大久野島」や、同じく竹原市内にある「竹原町並み保存地区」は、広島市から日帰りで行くことができます。

大久野島で海水浴やレンタル自転車の利用方法がありません。

一 順 路

広島駅をスタートして、大久野島、竹原町並み保存地区を回り、広島駅へ戻ります。

注意) 運賃は、各駅間の金額の合計です。また、便により若干の差があります。

**時々のお願い!! Ohkunoshima-Island!!**

ウサギは弱い動物です。ストレスがたまりやすく、ケガをしやすいので、次の約束(ルール)を守ってください。

- ウサギを追いかけまわしたり抱っこしないで!
- 道路や道路脇 玄関前でのふれあいはダメ!
- ウサギの口もとに手をやらないで!
- ウサギにお菓子やパンを食べさせないで!
- ゴミをポイ捨てしないで!
- 島にウサギをすてないで!
- Do not chase or carry rabbits.
- Do not touch rabbits on the road, roadside, or in front of the entrance.
- Do not put your fingers nearby rabbit's mouth.
- Do not feed human food.
- Do not litter.
- Do not leave your pet rabbit in island.

### 大久野島 Ohkunoshima-Island

忠海港からフェリーで12分  
12-min. by ferry from Tadanoumi Port.

◆島に到着して船を下りると、さっそくウサギたちが出迎えてくれます。島内を歩くと、あっちもウサギ、こっちもウサギ。ウサギだらけで、とても癒やされます。

As soon as you get off the ferry for "Ohkunoshima-Island", cute rabbits will welcome you. Even when you walk around the island, you can see many rabbits, it will make you so relax.

◆大久野島は、太平洋戦争時に日本軍の毒ガス製造工場があり、秘密保持のために地図からも消されていたという悲しい歴史を持つ島でもあります。今も島内の各所には、毒ガス貯蔵庫跡や発電場跡など、様々な廃墟が残っています。

"Ohkunoshima-Island" has sad history. In the period of World War II, there is a Japanese army's factory manufacturing gas, and this island was disappeared from the map for the secret. Because of that historical background, many ruins such as a "gas factory" and a "power plant" still remain in this island.

### 竹原町並み保存地区

竹原駅から徒歩15分  
15-min. walk from Takehara St.

家屋など、古い町並みが残っています。近年は古民家を使ったカフェやイタリア料理店がオープンするなど、古い町並みなのに新しい雰囲気もあり、散策がとても楽しいエリアです。

In "Historic Preservation Area" in Takehara, there are a lot of old buildings built in Edo era. These past few years, cafe and Italian restaurant renovated old buildings opened. Buildings and street are old, but we sometime feel something new. It will be fun for you.

地図がありません。









**(3) エキキタ周辺マップ『ぴーすくでGO! 広島駅北七福神巡り』**

エキキタ周辺マップ『ぴーすくでGO! 広島駅北七福神巡り』(Aさん)

- 自転車の借り方や値段、使い方の情報がないため、掲載するべきだと思う。
- 方位がないため、掲載するべきだと思う。
- 他の建造物を巡るルートがない。他の建造物や目印などを加えるべきだと思う。
- 広島駅を出発地点として番号順に周るルートしかないため、他の出発地点や、番号順ではない他のルートを加えるべきだと思う。

① - not included information for bicycle. How to rent?, How much?, How to use?

② - not included symbol of North, East, South, West

③ - not included another starting point.

④ - not included another demonstrative buildings to get information for this route.

⑤ - should consider to add another route from Hiroshima Station to No.9 to No.8 to No.7 to No.6

⑥ - should consider to add another starting point.

⑦ - This Guide map showed Traveller must start from Hiroshima Station. If He had reached between Hiroshima station and No.2 (Shoko-ji temple), how to get information from map guide book.

⑧ - should consider to add another demonstrative buildings or other marks.





### 2.3.3 体験結果まとめ

#### 『大久野島と竹原の日帰り旅行』

- マップには広島駅からのアクセス方法及び所要時間が掲載されているためわかりやすいとの評価である。一方、大久野島内の地図や名所スポット等（ウサギが多く生息する場所・夕陽がきれいな場所・海水浴ができる場所・レンタサイクル貸出 等）について情報の掲載が求められている。
- また、竹原町並み保存地区内の地図や、竹原駅から竹原町並み保存地区への地図などの掲載が求められている。

#### 『水の都 広島を巡る』

- 雁木タクシーは、水上から見える街並みや自然を楽しめる交通手段として評価されているが、他の交通手段と比較して利用料金が割高であることや利用時間が制限され好きな時間帯に利用できないことなど、気軽に利用できる交通手段ではないことが指摘されている。
- また、乗り場の案内や多言語対応など利用方法をよりわかりやすくすることも求められており、それらの情報をマップに記載することが必要である。

#### 『ぴーすくろでGO！広島駅北七福神巡り』

- 広島駅を出発地点として番号順に回るルートしかないため、他の出発地点からのルートなども追加するべきと指摘されている。
- 七社寺と縮景園、猿猴橋の9つのスポットしか掲載されておらず、ルート間の他のスポットや目印などを加えるとよいと指摘されている。
- レンタサイクルの利用方法や利用価格などの情報の掲載が求められている。
- 方位の掲載が必要である。



### 2.3.4 配布先ヒアリング結果

ガイドブック 「ひろしまうらまちめぐり」 配布先ヒアリング

【サンモール】200部を納品

1. 配布した場所、数量（月別など）

○1F インフォメーションカウンター、120部程度配布、月当り最大配布数20部程度

2. 普段、どれくらいの人が訪れるか（配布の母数）

○1万人/日程度、うち外国人は数百人

3. 現在の残部

○80~90部程度

4. ゼロの場合、捌けるまでの期間、追加要望の有無（部数）

○半年くらいでなくなるのではないかと。なくなる前に追加して欲しい。

5. どのような人が持ち帰ったか（年齢、性別、外国人？）

○カウンターでの案内に使用しており聞かれてから渡しているため、外国人に多く配布している。

○年齢は30~40代、男性が多い。

○欧米人が多かったが中国人も増えており、団体で来店することが多い。

○中国人は大型客船入港時には特に多くなる。

6. その方々から、ガイドブックの記載情報に対して、何か質問などがあったか？

○施設への行き方を聞かれることが多いので、ガイドブックを見ながら説明すると理解されやすい。

7. もし分かれば、その方々はガイドブックに対してどう感じたか？ 印象でも結構です。

○電停が記号で表示されておりわかりやすいなど、全体に高評価である。

○もらってもいいかとよく言われる。

8. ガイドブックをみて、回答者の感想やアドバイスなど

○インフォメーションカウンターでの案内に使用するのに案内がしやすい。

○最近新しい施設が次々できているので内容の更新版が欲しい。

9. どのようなガイドブックがあれば効果的か？（特に外国人の方）

○中国人の客層として英語を理解しない方が増えているため、中国語版があれば助かる。

○第2版の発行を期待しているとのこと。



## 2.4 まちづくり活動への参加報告

### 2.4.1 サイクルフェスタ HIROSHIMA

#### (1) 活動概要

広島西飛行場跡地で開催された「サイクルフェスタ HIROSHIMA」に参加、ブース出展した。内容は下記の通り。

日時	平成28年9月22日(木・祝)
会場	広島西飛行場跡地
主催	サイクルフェスタ広島実行委員会
概要	ブース出展
参加者	メンバー13人



#### (2) 実施報告

ブースを出展し、過去の自転車マップのパネル展示、昨年度までのマップ、冊子等の配布等を行った。





## 2.4.2 広島バイシクル・フェスタ 2016

### (1) 活動概要

広島西飛行場跡地で開催された「広島バイシクル・フェスタ 2016」に参加，ブース出展した。内容は下記の通り。

日時	平成 28 年 11 月 5 日 (土)
会場	広島西飛行場跡地
主催	広島県サイクリング協会
概要	ブース出展
参加者	メンバー5人



### (2) 実施報告

ブースを出展し、過去の自転車マップのパネル展示、昨年度までのマップ、冊子等の配布等を行った。





### 2.4.3 わが国における観光とまちづくりの展望

(公社)日本都市計画学会中国四国支部との共催により、「観光とまちづくり」をテーマにしたフォーラム(2016年度第3回都市計画研究会)を開催した。

#### (1) 開催概要

開催日時：平成29年1月21日(土) 15:00~17:00

会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ 研修室B

参加者：30名

講演テーマ：わが国における観光とまちづくりの展望

講師：公益財団法人日本交通公社 理事/観光政策研究部長 梅川智也氏

今年度テーマ  
**『観光とまちづくり』**



公益社団法人  
日本都市計画学会中国四国支部  
2016年度第3回都市計画研究会

講演テーマ  
**わが国における観光とまちづくりの展望**

公益財団法人 日本交通公社 理事/観光政策研究部長 **梅川智也氏**

**【講師プロフィール】**

1958年 新潟県生まれ  
1981年 4月 財団法人 日本交通公社 入社  
1996年 2月 同 地域計画室長・主任研究員  
2005年 6月 同 研究調査部長  
2013年 6月 公益財団法人 日本交通公社 理事・研究調査部長  
2013年 10月 同 理事・観光政策研究部長  
筑波大学大学院サービス工学学位プログラム客員教授  
首都大学東京大学院非常勤講師



このたびの講師の梅川智也氏は、「観光リゾートを主体とする都市・地域計画の策定と計画実現に向けたプロデュース」や「観光計画、観光ビジョン、観光地経営、観光政策、観光まちづくり、温泉地再生など」をご専門の領域とされ、全国各地で観光振興等に係る公職・委員を歴任されています。

『観光地経営の視点と実践』(丸善出版、共著)、『観光まちづくり』(学芸出版社、共著)、『観光読本』(東洋経済新報社、共著)、『都市観光でまちづくり』(学芸出版社、共著)など、多数の著書も執筆され、日本観光研究学会「学会賞 観光著作賞」を受賞されています。

日本観光研究学会(副会長)、日本都市計画学会、日本不動産学会所属。技術士(建設部門/都市及び地方計画)。

**■ 日時:2017年1月21日(土) 15:00~17:00**

**■ 場所:合人社ウェンディひと・まちプラザ 北棟5階 研修室B**  
(広島市まちづくり市民交流プラザ) 広島市中区袋町6番36号

**■ 参加申込先: 企画・研究委員会 担当:高田 禮榮**  
**E-mail:takata@cecnet.co.jp**

ご氏名、所属を上記メールアドレスまでご連絡ください。  
できれば、1月18日(水)までにお申し込み頂ければ幸いです。  
一般の方のご参加、当日のご参加(定員内であれば)も可能です。

貴重な講演会です。どうぞお聴き逃しなく!  
皆様のご参加をお待ちしております!



主催：公益社団法人 日本都市計画学会中国四国支部 [ <http://cpj-j-chushikoku.jp/> ]

共催：JCCA 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中国支部 [ <http://www.jcca.or.jp/kyokai/chugoku/> ]



## (2) 実施報告（講演概要）

日本都市計画学会中国四国支部第3回都市計画との共催により、観光計画の立案、観光地経営、観光政策、観光まちづくり等を専門領域とされ、全国各地で観光振興等に係る公職・委員を歴任されている梅川氏をお招きし、観光地経営の理論と実践、観光計画の具体例等を中心に講演を頂いた。以下、講演内容を報告する。（「第47号 日本都市計画学会中国四国支部ニュースレターより」）

### (現在までの観光計画の流れ)

明治政府は、国際親善、国際交流、外貨獲得による国際収支の改善を目的に観光政策を展開し、その実現のため明治半ば頃から主に公園や温泉地の改良設計や風景利用策等を行ってきたのが「観光計画」起源といえる。その後、戦後は戦災復興の一環として、温泉法、旅館業法、通訳案内業法、国際観光ホテル整備法、旅行斡旋業法等、観光関連の法律が整備され、1950年の国土総合開発法施行以降、全国総合開発計画とともに観光計画は進化、発展した。1970年代の高度経済成長期（新全総の時代）に入ると、観光需要の高まりに対応した受け皿づくりを進めるための「観光開発計画」が盛んに行われ、1980年代後半のバブル経済期（四全総の時代）には、内需拡大、地域振興、余暇需要の変化への対応等を目的とした「リゾート開発計画」が進むなど、「開発のための計画」や観光計画論に関する研究が盛んに進められた。しかし、バブル経済崩壊後はハードからソフトへの転換が図られ、行政や民間企業主体の「観光開発計画」から、住民自らが地域資源を活かしたまちづくりを行う「観光まちづくり」の新たな潮流が生まれている。「観光まちづくり」は終わりのない“まちみがき”の活動であり、目標年次を定めて戦略的に行う「計画」とは性格が異なる。しかし、観光立国として国策に基づいた観光政策を推進するため、営利を目的とした民間企業の参画とともに、目標年次までに達成するという観光地全体の合意形成が必要となった。このため、環境変化に柔軟に対応した地域マネジメントシステムを考える「観光地経営」の視点を踏まえた「計画」が必要となっており、現在は「観光地経営計画」の時代といえる。



### (観光地経営の視点)

近年、訪日外国人観光客の急増や、少子高齢化の進展による国内需要衰退、観光旅行先の分散化などの市場環境の変化により、これまでの観光産業や観光政策が行き詰まっている。特に観光産業が地域経済の基盤となっている既存観光地において、新たな投資をためらう状況となっており、最適な産業構造への転換を図るためのイノベーション（＝「観光地経営」）が必要であるとの認識から、公益財団法人日本観光公社では『観光地経営の視点と実践』を2013年12月に発刊した。本書では、観光地としての魅力向上のためには、企業活動とまちづくりの相反する2つの取り組みが必要であり、それらのバランス、つまり「収益性の追求」と「公益性の追及」の折り合いをつけることが重要であることを述べ、「観光地経営」を「観光地の持続的な発展を目的として、一定の方針（ビジョン）に基づいて、観光地を構成する様々な経営資源と推進主体をマネジメントするための一連の組織的活動」と定義した。



### (観光地経営の実践)

観光地経営の考え方に沿った「観光計画」の具体例としては、北海道の阿寒湖温泉での取り組みが挙げられる。釧路市では「釧路市観光振興ビジョン」という市全体の観光計画を策定しているが、阿



寒湖温泉では別に地域版の観光計画を策定し、最初の関係者の意識改革に重点を置いた「再生プラン」は2002年3月に策定されている。計画期間中に観光推進組織の統一、法人化が行われ、体制が強化された後、2011年3月に「阿寒湖温泉・創生計画」という新たな計画を策定し、念願だった入湯税を活用した観光まちづくりの独自財源を確保へとつながっている。入湯税の活用については、平成27年度から平成36年度までの10年間、一般の宿泊者1人1泊について入湯税の税率を現行の150円から250円に引き上げる入湯税率の嵩上げを行っており、引き上げ分を観光振興に用途を限定した基金として積み立てるよう釧路市税条例を改正した。これにより年間約5000万円の独自財源となり、阿寒湖温泉で実施する観光振興事業に充てられている。また、阿寒湖温泉の他にも、長野県白馬村、三重県鳥羽市等が観光地経営の視点で観光計画を策定しており、地域の産業の中心を担う観光産業振興の取り組みが進んでいる。

#### (まとめ・これからの「観光計画」の方向)

近年の観光地は、住民との触れ合いや地域の生活文化を含めた「観光地全体の魅力」＝地域力が問われている。観光地経営は、公益性にも配慮した「企業活動」と、収益性をも念頭においた「まちづくり」のバランスの上で成立する地域マネジメントの考え方であり、その際、全ての観光地において共通する課題は「合意形成」である。この分野に多くの実践例があり、研究が進んでいる都市計画分野の知見は、観光計画にも転用、応用できるのではないかと考えている。





## 参考資料：共催申請書・回答書の（写）

## 共催申請書

2016年12月16日

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会中国支部  
支部長 小田 秀樹 様

公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部

支部長 藤原 章正

(事務局 (総務委員長) 行竹 和幸)

〒732-0052 広島市東区光町 2-10-11

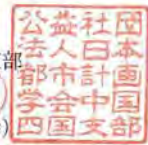
復建調査設計株式会社

TEL: (082) 506-1824 (直通)

(082) 506-1811 (代表)

FAX: (082) 506-1890

E-mail : cp-chushikoku@fukken.co.jp



次の事業を実施しますので、貴支部の共催をお願いいたしたく申請します。

事業名称	2016年度 第3回都市計画研究会「観光とまちづくり」
実施時期	2017年1月21日(土) 15:00~17:00
実施場所	合人社ウエンディひと・まちプラザ(広島市まちづくり市民交流プラザ) 広島市中区袋町6番36号(電話:082-545-3991) (予定:今後予約)
依頼内容	共催
C P D	日本都市計画学会での申請(予定)
実施内容	基調講演会の実施による都市計画事業の研究会の実施。 講演者:(一財)日本交通公社 理事 梅川智也氏 演題:「わが国の観光とまちづくりの展望」 内容:観光立国日本を都市計画・まちづくりの面で支えていく上での、現状・課題・対策等について概説いただく。
共催等 団体 予定の場合は (予定)を記入	主催:公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部 共催:建設コンサルタンツ協会中国支部(予定) 後援:広島市(予定)公益社団法人 日本技術士会中国本部(予定)
申請額 後援は記入不要	共催賛助額:25,000円(予定) 使途内訳:会場費・備品使用料等
連絡先	高田禮榮:公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部 企画・研究委員会 (中電技術コンサルタント) 電話:082-545-3991/E-mail:takata@cecnet.co.jp
備考	

※事業内容は、具体的に記入して下さい。講演会等の場合は、講演者と題目を記載して下さい。

※チラシ・パンフレットがあれば添付して下さい。



平成 28 年 1 月 19 日

公益社団法人 日本都市計画学会 中国四国支部  
支部長 藤原 章正 様

一般社団法人  
建設コンサルタンツ協会中国支部  
支部長 小田 秀樹



2016 年度 第 3 回都市計画研究会「観光とまちづくり」への  
共催及び賛助について（回答）

平素から（一社）建設コンサルタンツ協会中国支部の活動に、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

平成 28 年 12 月 16 日付けご依頼のありました標記の共催と賛助につきましては、下記のとおり回答いたします。

何卒よろしくお願ひ申し上げます。

記

「共 催」：一般社団法人 建設コンサルタンツ協会 中国支部

「共催賛助額」：25,000 円



## 2.5 まちづくり出前授業

### 2.5.1 活動概要

広島市立三篠小学校(広島市西区)の総合的な学習の時間及び学校法人永照寺学園永照幼稚園(同)において出前授業を実施した。内容は下記の通り。

テーマ	まち(三篠)のやさしさ(ユニバーサルデザイン)	大切なまち(三篠)の環境
講師	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)
実施日	平成28年6月15日(2コマ)	平成28年9月29日(1コマ)
対象者	広島市立三篠小学校3年生 (児童135名+教員8名)	広島市立三篠小学校4年生 (児童130名+教員8名)
概要	JR横川駅を中心としたまちのUD整備について、手すりやブロック等の実物サンプルを使用し、仕組みの解説やルールなどを説明  	小学校を取り囲む太田川(太田川放水路・旧太田川)や三滝山、竜王公園ゴミ埋立処分場等を通じ、自然環境・生活環境・3R等についてPPTで説明  
テーマ	UAV飛行デモンストレーション	遊具の事故から子どもたちをまもる
講師	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)	森島誠司(中電技術コンサルタント株式会社)
実施日	平成28年10月18日(1コマ)	平成28年11月19日(40分)
対象者	広島市立三篠小学校全学年 (児童780名+教員35名)	学校法人永照寺学園永照幼稚園保護者 (35名+教員3名)
概要	土砂災害等でも活用したUAV(スパイダー)の実際の飛行する姿や映像を見せることで最新の建設技術に触れてもらい、興味をもってもらおう  	遊具遊び中の事故事例や消防庁統計データ等をもとに、危険回避のための注意点、遊具基準等ハード面での観察すべき点などについて講演  



## 参考資料

1. 活動メンバー一覧 ..... 参考-1
  2. 活動会議議事録 ..... 参考-2
  3. 活動メンバー感想文 ..... 参考-19
-



## 1. 活動メンバー一覧

会社名(五十音順)	所属	氏名	TEL	FAX	E-mail
株荒谷建設コンサルタト	地域デザイン部 地域計画課	長谷山 弘志	292-5486	296-5481	hiroshi.haseyama@aratani.co.jp
	" ◆副委員長	◎田辺 博樹	"	"	hiroki.tanabe@aratani.co.jp
	"	岡本 隆彦	"	"	takahiko.okamoto@aratani.co.jp
	"	日向 雄人	"	"	yuuto.hinata@aratani.co.jp
いであ株	中国支店 陸園部 道路	◎松井 秀樹	207-0143	207-0152	mti20946@ideacon.co.jp
株サーベイ・リサーチ・センター	広島事務所 調査課	田中 純二	227-7511	227-7558	tanaka_j@surece.co.jp
	"	◎藤本 健二	"	"	fujimo_k@surece.co.jp
	広島事務所 世論計画課	三村 絵里	"	"	mimura_e@surece.co.jp
	"	萬関 明子	"	"	manseki_a@surece.co.jp
株地域未来研究所	中国四国事務所	◎田中 雅宣	568-6081	263-3403	tanaka@refrec.jp
中電技術コンサルタト株	営業部 営業企画担当 ◆委員長	◎森島 誠司	256-3343	255-5601	morisima@cecnet.co.jp
	事業企画部	高田 禮榮	256-3362	251-0302	takata@cecnet.co.jp
	都市整備部 電力施設グループ	向井 敬治	256-3352	256-1968	kmukai@cecnet.co.jp
	都市整備部 都市施設グループ	佐伯 隆之	"	"	saeki@cecnet.co.jp
	"	藤岡 義久	"	"	yfujijoka@cecnet.co.jp
	"	織田 恭平	"	"	k.oda@cecnet.co.jp
	沿岸整備部 海域計画グループ	森山 弘将	256-3351	256-1968	hmoriyam@cecnet.co.jp
	道路交通部 第一グループ	錦織 真樹	256-3389	254-0661	nsikoori@cecnet.co.jp
	"	森井 紀裕	"	"	morii@cecnet.co.jp
	株長大	広島道路交通・監理部	◎前川 朝尚	545-6541	545-6698
"		佐藤 裕治	"	"	satou_yuui@chodai.co.jp
"		山光 涼平	"	"	yamamitsu-r@chodai.co.jp
"		鈴木凜太郎	"	"	suzuki-r@chodai.co.jp
社会環境4部		久家 幸一郎	"	"	kuge-k@chodai.co.jp
"		小野 香苗	"	"	ono-ka@chodai.co.jp
"		古川 竜司	"	"	furukawa-r@chodai.co.jp
株福山コンサルタント	中四国支社 交通計画グループ	◎竹野 剛	502-8802	502-8803	takeno@fukuyamaconsul.co.jp
	"	船本 洋司	"	"	y.funamoto@fukuyamaconsul.co.jp
	"	奥田倫全	"	"	m.okuda@fukuyamaconsul.co.jp
	中四国支社 道路計画グループ	川村 宏範	502-8801	502-8815	h.kawamura@fukuyamaconsul.co.jp
復建調査設計株	事業推進本部 CIM推進室	◎亀田 雄二	506-1820	506-1890	kameda@fukken.co.jp
	道路・地域整備部	佐伯 達郎	506-1874	506-1897	t-saiki@fukken.co.jp
	" 地域計画課 ◆副委員長	天野 佑介	"	"	y-amano@fukken.co.jp
	"	笹岡 亮太	"	"	r.sasaoka@fukken.co.jp
	"	大塚 健裕	"	"	k.otsuka@fukken.co.jp
	" 開発技術課	小田 雄司	506-1872	506-1897	f19089@fukken.co.jp
	松江支社技術課	松下 真一	0852-21-7367	0852-32-2968	matsushita@fukken.co.jp
ランドブレイン株	広島事務所	◎三木 脩平	223-6919	223-6929	miki@landbrains.co.jp



## 2. 活動会議議事録

### (1) 第1回活動議事録

日 時	2016 年 4 月 27 日 (水) 18:30~20:00
場 所	中電技術コンサルタント株式会社 (幹事) 本館 1 階会議室
参加者	長大：鈴木凜太郎、山光涼平、地域未来：田中雅宣、復建：小田雄司、いであ：松井秀樹、福山：船本洋司・川村宏範・奥田倫全、荒谷：岡本隆彦・日向雄人、中電：森島誠司・藤岡義久・織田恭平、水木智英、難波秀太郎、高田禮榮、サーベイ：欠、ランド：欠 計 16 人
議事概要	<p><b>1. 平成 27 年度活動 会計報告</b> 平成 27 年度の支出は概ね予定通りであった。 (冊子作成・印刷費、フォーラム開催費、まちづくり活動費等)</p> <p><b>2. 平成 27 年度活動 概況報告：活動報告書</b> 活動メンバーに一部訂正があるため、修正後改めて配信する。</p> <p><b>3. 新年度の体制について</b> 委員長、副委員長ともに前年度と同体制で進める。加盟各社でまちづくりに興味のある方に声をかける。</p> <p><b>4. 平成 28 年度予算について</b> ◆ 今年度も昨年度と同様 120 万円程度の予算が確保できると思われる。 ◆ 今年度は現時点では印刷物の発行を予定していないので、フォーラム等を 2 回開催する等、活動内容を早めに決定し、実行していく必要がある。</p> <p><b>5. 平成 28 年度活動テーマについて</b> ◆ 次回、会議にて各社案を持ち寄り、概ねの方針を決定する。 (活動案 意見一覧)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人観光客に焦点を絞り、広島の良いところ・悪いところを調査。またこれに基づくフォーラム</li> <li>・外国人とともに自転車活用イベント</li> <li>・広島というまちの改善点の調査</li> <li>・観光客向けに別の焦点からアピール (ポスターでの啓発、サインの考案、デジタルサイネージなど)</li> <li>・留学生などを対象としたフィールドワークの実施</li> <li>・提案したルートの検証、レンタサイクルやバスの検証など作成した冊子の更新にむけた活動</li> <li>・中山間の活性化に絡めた取組 (外国人の誘致など)</li> <li>・DMO に関連付けた活動</li> <li>・資金不足のまちづくり団体との協働 (地域づくり交流会とのつながりを活かす等)</li> <li>・平和大通りをピックアップした調査・冊子等の作成 (歴史、石碑、植物、緑地帯の活用方法など)</li> <li>・昨年度フォーラムの内容を踏まえた活動</li> <li>・公営ギャンブルとまちづくり (昨年度提案の繰り越し)</li> </ul>



- ・ 出前授業（要請があればおしえてほしい）
- ・ 観光まちづくりをテーマにフォーラムを実施（著名な人を呼ぶ）
- ・ 県外でのフォーラム実施
- ・ 他団体との共催によりフォーラムを実施

## 6. 冊子の配布について

- ◆ 写真掲載許可をもらった施設に配布する。
- ◆ 各社、現時点の配布予定先（部数も分かれば）を委員長に連絡する。
- ◆ 各社必要分を除き、広島市観光協会に進呈。

（参考：その他配布先案）

- ・ ホテル（特に外国人宿泊客の多いところ）
- ・ 広島市レストハウス
- ・ 駅
- ・ ガイド協会、通訳協会、ハロープロジェクト
- ・ ぴーすくる事務所
- ・ レストハウス
- ・ 県立図書館

## 7. その他

- ・ 4/29 THTin 戸山開催（後援協力）のお知らせ（必要経費は建コンにて負担可）

## 8. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
5/25	第2回	福山コンサルタント
6/22	第3回	いであ・長大
7/20	第4回	荒谷建設コンサルタント
8/24	第5回	復建調査設計
9/21	第6回	中電技術コンサルタント
10/19	第7回	福山コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
	まちトーク	

－ 以上 －



(2) 第2回活動議事録

日時	2016年5月26日(木) 18:30~20:00																								
場所	株式会社福山コンサルタント(幹事) 中四国支社5階会議室																								
参加者	<p>長大：佐藤裕治・古川竜司・鈴木凜太郎・山光涼平、地域未来：田中雅宣、復建：小田雄司・天野佑介・笠岡亮太、いであ：松井秀樹、福山：船本洋司・奥田倫全、荒谷：岡本隆彦・日向雄人、中電：森島誠司・藤岡義久・織田恭平・難波秀太郎・高田禮榮・竹内健吾、サーベイ：藤本健二・山本武士・藤野優樹</p> <p>計22人</p>																								
議事概要	<p><b>1. 平成28年度活動テーマの決定</b></p> <p>各社今年度の活動について提案資料の説明を行い、今年度の活動の流れを決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度はフォーラムを2回行う。1回目のフォーラムのテーマを決定し、2回目のフォーラムのテーマは次回以降に決定する。</li> <li>・1回目のフォーラムは有識者などを招き、公営ギャンブルと街づくりについて対談形式で行う。(8~9月頃を想定)</li> <li>・2回目のフォーラムは調査・フィールドワーク・イベントなど今年度活動したことに絡めた内容で実施する。(年内を想定)</li> <li>・今年度は冊子などを新たに作成しない。</li> </ul> <p>今年度の活動について出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の活動で、フォーラム開催以外にも出前授業や昨年度作成した冊子の検証などフォーラムとは別に時機を見て活動できないか。(活動未定)</li> <li>・活動した内容を「ひろしま市民と市政」に載せたい。</li> </ul> <p><b>2. その他</b></p> <p>【冊子の配布先確認】</p> <p>冊子は福山に置いてあるため、追加で配布が出た場合は福山に連絡をすること。</p> <p>【次回までの宿題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回フォーラムのパネリスト・日程・会場について案を考えてくること。</li> <li>・第2回フォーラムのテーマ案を考えてくること。</li> </ul> <p><b>3. 今後の予定</b></p> <p>[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制</p> <table border="1" data-bbox="381 1547 1150 1895"> <thead> <tr> <th>開催予定</th> <th>回数</th> <th>幹事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>6/22</td> <td>第3回</td> <td>いであ・長大</td> </tr> <tr> <td>7/20</td> <td>第4回</td> <td>荒谷建設コンサルタント</td> </tr> <tr> <td>8/24</td> <td>第5回</td> <td>復建調査設計</td> </tr> <tr> <td>9/21</td> <td>第6回</td> <td>中電技術コンサルタント</td> </tr> <tr> <td>10/19</td> <td>第7回</td> <td>福山コンサルタント</td> </tr> <tr> <td>11/16</td> <td>第8回</td> <td>いであ・長大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>まちトーク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">- 以上 -</p>	開催予定	回数	幹事	6/22	第3回	いであ・長大	7/20	第4回	荒谷建設コンサルタント	8/24	第5回	復建調査設計	9/21	第6回	中電技術コンサルタント	10/19	第7回	福山コンサルタント	11/16	第8回	いであ・長大		まちトーク	
開催予定	回数	幹事																							
6/22	第3回	いであ・長大																							
7/20	第4回	荒谷建設コンサルタント																							
8/24	第5回	復建調査設計																							
9/21	第6回	中電技術コンサルタント																							
10/19	第7回	福山コンサルタント																							
11/16	第8回	いであ・長大																							
	まちトーク																								





### (3) 第3回活動議事録

日 時	2016 年 6 月 22 日 (水) 18:30~20:30
場 所	いであ株式会社中国支店 8階会議室・・・幹事：いであ、長大
参加者	長大：佐藤裕治、復建：小田雄司、いであ：松井秀樹、福山：奥田倫全、荒谷：岡本隆彦・日向雄人、中電：森島誠司・高田禮榮・竹内健吾、サーベイ：山本武士・藤野優樹 計 11 人
議事概要	<p><b>1. 第1回フォーラムについて</b></p> <p>各社第1回のフォーラムの日程、会場及びゲストの候補を提案し、実施方針について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会側で4種の公営ギャンブルをテーマにしたデータ集計や運営者へのアンケート調査を行い、その結果をフォーラムのはじめに説明する。</li> <li>・召集するゲストは、競輪・競艇の関係者及び地域の方を対象とし、元S級競輪選手奥田氏、広島競輪選手会、広島競輪運営者（日本写真判定協会）、宇品地区社会福祉協議会会長、競艇選手奥田誠氏、宮島競艇施行組合、宮島観光協会会長を候補とする。</li> <li>・フォーラムの開催日は、平日で行う案も考えられる。平日の場合、水曜日か金曜日の19:00開始が想定される。開催日については、ゲストの要望も踏まえて検討する。</li> </ul> <p><b>【宿題】</b></p> <p>①各社共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4種の公営ギャンブルに関する建コン説明パート（データ集計・アンケート等）の構成を考える ⇒7/6（水）までに各社メール配信、それを受けて次回までにメールで意見交換</li> </ul> <p>②サーベイ藤本様担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートたたきの作成 ⇒7/6（水）までにメール配信、それを受けて次回までにメールで意見交換</li> </ul> <p>③中電担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場の空き状況の確認（横川シネマ、プラザ等）⇒次回会議まで</li> </ul> <p><b>2. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>各社第2回のフォーラムの実施内容を提案し、テーマの決定方法について協議した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各社から挙げた提案をもとに良いと思われる案の投票を行い、投票結果をもとに次回の会議で実施内容を選定する。</li> <li>・県外で開催する場合は、集客や移動面等の課題があることを念頭に開催場所を検討する必要がある。</li> </ul> <p><b>【宿題】</b></p> <p>①各社共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施内容案の投票 ⇒7/6（水）まで</li> </ul> <p>②各社共通</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の会場の候補の案出し⇒次回会議まで</li> </ul>



### 3. その他

#### (1) ガイドブックの検証

- ・昨年度作成したガイドブックについて、実際に外国の方にモデルコースを体験してもらうことにより検証を行う。
- ・検証は、昨年度各社分担して作成したモデルコースをそれぞれ担当する。
- ・ガイドブックの検証は、基本的にフォーラムの活動とはリンクしないものとする。

#### (2) 地域活動の紹介等

- ・9/22（木祝）に広島西飛行場跡地にて、広島サイクルフェスタが開催予定（事務局：古民家「輪」）。当委員会で開催の協力を行う予定である。
- ・出前授業について、住んでいる地域の学校等、実施可能なところがあったら教えてほしい。

### 4. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
7/20	第4回	荒谷建設コンサルタント
8/24	第5回	復建調査設計
9/21	第6回	中電技術コンサルタント
10月頃	フォーラム1	
10/19	第7回	福山コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
12月頃	フォーラム2	

議事概要

－ 以上 －



#### (4) 第4回活動議事録

日 時	2016年7月20日(水) 18:30~
場 所	(株) 荒谷建設コンサルタント会議室・・・幹事：(株) 荒谷建設コンサルタント
参加者	<p>長大：佐藤裕治、復建：笹岡亮太・小田雄司、          いであ：松井秀樹、荒谷：長谷山弘志・田辺博樹・岡本隆彦・日向雄人、          中電：森島誠司・高田禮榮・織田恭平・竹内健吾、サーベイ：山本武士・藤野優樹</p> <p style="text-align: right;">計14人</p>
議事概要	<p><b>1. 第1回フォーラムについて</b></p> <p>(1) 建コン説明パート構成</p> <p>■フォーラムで建コンが説明する内容について議論した。          (テーマ案及びフォーラム構成案は中電・復建が説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在のテーマ案は網羅的な項目となっているため、フォーラムの導入部分の内容、続くフリートークに(話題として)絡む内容などの仕分けが必要。</li> <li>・【宿題】項目の内容は各社が分担して調査する。分析は可能な範囲で行うが、難しい場合はパネリストへの質問内容として活用する。</li> <li>・【宿題】各社分担項目及び調査のフォーマット(PPT)は取りまとめ担当(荒谷)が整理して連絡する。</li> </ul> <p>(2) 事前アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容にもよるが、事業者に突然アンケートを送付しても想定するほどの回答は期待できない。</li> <li>・同業者(広島競艇)と連名で出すなど、回収率を向上させる工夫が必要である。</li> <li>●想定回収率からも統計的な分析は難しいと考えられるため、アンケート調査は中止とする。</li> <li>・なお、アンケート調査の項目などは、フリートークの際のパネリストへの質問内容として活用する。</li> </ul> <p>(3) パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中電の森島様が関係者と調整中。</li> </ul> <p>(4) 会場及び開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリストは土日を中心にレースを開催していることから、平日夜の開催で検討する。</li> <li>・会場は横川シネマ、開催日は10月24日~28日のいずれかの平日夜開催とし、パネリストの都合を優先して日程を調整する。</li> </ul> <p><b>2. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>(1) 実施内容投票結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人気投票の結果は次のとおりである。</li> <li>★1位 広島~山陰・中山間地域間の交流促進</li> <li>★2位 広島市~山陰間のインバウンド観光を可能とする公共交通</li> <li>★3位 旧市民球場の在り方について考える</li> <li>●人気投票の結果から分析すると、第2回フォーラムのテーマは「地域間交流」「公共交通」「観光」を大きな柱とする。</li> <li>・【宿題】心当たりのあるパネリスト候補者がいれば、各自打診する。</li> </ul>



- ・【宿題】ありきたりなテーマとなることから、他との差別化を図るため、テーマ（切り口）を各社検討する。あわせて、建コンが説明・発表する調査項目についても検討する。
- ・【宿題】パネリストへの話題提供や、質問内容もあわせて検討する。

**(2) 会場及び開催日**

- 会場は県外も候補としていたが、県外における動員や事前準備など、課題が多々あることから、広島市内で検討する。
- ・案としては、折鶴タワー、まちづくり交流プラザなどが考えられる。
- ・中山間地で活躍している方は土日にも活動されていることが多いため、フォーラムは平日開催も含めて検討する。
- ・フォーラムへの動員数確保のため、なるべく早めに内容を決めて広報活動を行う。  
(THTのアンケートによると、広報誌でイベント情報の入手している割合が高いことから、可能であれば、広報誌「広島 市民と市政」などの媒体を活用する)

**3. 役割分担**

**(1) 役割分担（平成28年度の活動）**

- ・第1回フォーラム主担当 → 中電
- ・ // 建コン説明資料取りまとめ 荒谷  
(内容は各社で分担→取りまとめ役が割り振り)
- ・ ~~// 事前アンケート~~
- ・第2回フォーラム主担当 → 長大
- ・ // 建コン説明資料取りまとめ サーベイ
- ・ガイドブック検証主担当 → 復建
- ・ // 補助 → いであ（配布先へのヒアリング）
- ・報告書 → 福山

**3. その他**

- ・ガイドブック検証は復建の外国人社員に相談し、検証を打診する。

**4. 今後の予定**

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
8/24	第5回	復建調査設計
9/21	第6回	中電技術コンサルタント
10月頃	フォーラム1	
10/19	第7回	福山コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
12月頃	フォーラム2	

- 以上 -



## (5) 第5回活動議事録

日 時	2016年8月24日(水) 18:30~20:15
場 所	日本技術士会中国支部 会議室・・・幹事：復建調査設計(株)
参加者	<p>長大：佐藤裕治、鈴木凜太郎                      復建：小田雄司・大塚健裕</p> <p>いであ：松井秀樹、荒谷：日向雄人、福山：奥田倫全・河内 健</p> <p>中電：森島誠司・高田禮榮・藤岡義久、織田恭平</p> <p style="text-align: right;">計12人</p>
議事概要	<p><b>1. 第1回フォーラムについて</b></p> <p>(1) フォーラムの構成について</p> <p>■フォーラムで建コンが説明する内容(情報提供資料)について各社報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料内で引用する図表等について、出典を記載すること</li> <li>・【宿題】不足する内容(地域とのつながり、社会貢献活動等)については各社で追記し、荒谷さんへ送付すること。全体の構成やレイアウト等の調整は、引き続き荒谷さんをお願いする。</li> </ul> <p>(2) パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係者と引き続き調整中。</li> </ul> <p>(3) 会場及び開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場：横川シネマ</li> <li>・開催日：10月26日(水)か28日(金) 予定：19時00~20:45</li> <li>・パネリストの都合を優先して日程を調整する。</li> </ul> <p>(4) フォーラムの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・以下を案とする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>I部：建コンからの情報提供(スライド発表)</li> <li>II部：パネリストからの自己紹介をかねた情報提供</li> <li>III部：まちトーク</li> </ul> </li> </ul> <p>(5) チラシについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成したPDFを各社で印刷・配布する。</li> </ul> <p><b>2. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>(1) テーマ(切り口)について</p> <p>■フォーラムのテーマ(案)について各社報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通と地域間交流のどちらに焦点をあてるのかで内容が大きく変わる。</li> <li>・【宿題】掘り下げたテーマとフォーラムの構成・パネリストの候補者を次回提案する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(例)しまなみサイクルロードと公共交通</li> <li>・(例)中山間地域：輸行による活性化</li> <li>・(例)旧道沿線の生きる道を考える(道の駅をポイントとして)</li> <li>・(例)しまなみの与えた影響の検証(少しアカデミックに・・・)</li> <li>・(例)ローカル鉄道をつかった活性化のアイデアを考えてみました!!</li> <li>・(例)中山間の鉄道・バス・自転車の連携方策</li> <li>・(例)中山間の定住・移住者の生の意見を聞きたい</li> </ul> </li> </ul>



### 3. その他

- ・9/22（祝）サイクルフェスタ、11/5（土）広島バイシクルフェスタ 2016

場所：広島西飛行場

⇒建コンでブースを出店し活動を紹介する。会場設営等の人員が必要なため、各社に日程調整・参加をお願いする。

### 4. 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
9/21	第6回	中電技術コンサルタント
10月頃	フォーラム1	
10/19	第7回	福山コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
12月頃	フォーラム2	

－ 以上 －



## (6) 第6回活動議事録

日 時	2016年9月21日(水) 18:30~20:15
場 所	中電技術コンサルタント株式会社社会議室
参加者	<p>長大：佐藤裕治・古川竜司、復建：小田雄司・大塚健裕、          いであ：松井秀樹、荒谷：岡本隆彦・日向雄人、福山：奥田倫全、中電：森島誠司・高田禮榮・藤岡義久・織田恭平・難波秀太郎・前田翔平・江川英仁</p> <p style="text-align: right;">計16人</p>
議事概要	<p><b>1. 第1回フォーラムについて</b></p> <p>(1) フォーラムの詳細について          会場：広島市西区区民文化センター2階スタジオ(席数155)          時間：平成28年11月3日(祝・木) 19:00~20:40(会場18時~21時)          ・18:30開場予定</p> <p>(2) パネリスト          ・奥田稔彦(元競輪選手)もしくは現役選手 [確定]          ・奥田誠(現役競艇選手) [確定]          ・山内塊太(広島競輪場施設長：日本写真判定株式会社)          ・田丸氏(宮島競艇施行者)          ・現役オートレーサー          ・山陽オート施行者</p> <p>(3) フォーラムの構成  <u>I部：建コンからの情報提供(スライド発表)</u>          ・パネリストが準備したスライドとの内容の調整が必要  <u>II部：パネリストからの自己紹介をかねた情報提供</u>          ・プロジェクターを利用          ・I部, II部はパネリストも客席へ  <u>III部：まちトーク</u></p> <p>(4) チラシについて          ・作成したPDFを各社で印刷・配布する          ・キャッチフレーズ等内容について意見があれば森島委員長に連絡する</p> <p>(5) その他          ・参加者申し込み方式とする          ・SNS等を活用した広報を各自実施する</p>



## 2. サイクルフェスタ広島2016について

・9/22（祝）運営：7時～16時（イベント：9時～15時）

場所：広島西飛行場

参加者リスト：12名参加予定

社名	人数：参加者名
中電技術C	5：森島・織田・難波・江川・前田
荒谷建設C	3：日向夫妻・渡部
復建調査	1.5：亀田・小田(午前のみ)
長大	1：佐藤
福山C	1：奥田

## 3. 第2回フォーラムについて

(1) テーマ（切り口）について

■フォーラムのテーマ（案）について各社報告

- ・松江自動車道・尾道自動車道開通に伴う公共交通の変化と地域活性化
- ・旧道沿線の生きる道を考える
- ・やまなみ街道サイクリングロードの繁栄に向けて
- ・広島のサイクリングと地域振興

①案：自転車メーカー「ジャイアント」の地域振興策

- ・講演会形式とする
- ・内容：しまなみ街道の成功からやまなみ街道へどう展開するのか 等
- ・9/22 サイクルフェスタにてジャイアントに打診

②案：新道・旧道・道の駅にスポットを当てて

- ・広島県内で実施されている別のフォーラムと類似した内容としないようにする
- ・パネリストの具体案まで決める

【宿題】①案が実現不可であった場合、②案の内容を各社再検討する

(2) 日程

- ・12月10日 or 11日（予定）
  - ・会場規模：内容によるが、50人～100人程度を想定
- 長大に調整をお願いする





#### 4. その他・今後の予定

- ・ 出前授業②  
： 9月29日（木）広島市立三篠小学校 3時間目（地域の環境）
- ・ 出前授業③  
： 10月12日（水）広島市立三篠小学校 10:30～（UAVの展示）  
天候の状況により延期（13日、17～20日）
- ・ 都市計画学会主催シンポジウムの支援（共催）  
： 1月～2月にJTBF（一財 日本交通公社） 梅川智也氏  
講演のテーマは「我が国の観光とまちづくりの取り組み」予定
- ・ 11/5 バイシクルフェスタ開催

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
10/19	第7回	福山コンサルタント
11/3	フォーラム1	中電技術コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
12月頃	フォーラム2	長大



## (7) 第7回活動議事録

日 時	2016年10月19日(水) 18:30~20:15
場 所	福山コンサルタント株式会社会議室
参加者	<p>長大：佐藤裕治、復建：小田雄司・大塚健裕、地域未来：田中、          いであ：松井秀樹、荒谷：岡本隆彦、福山：奥田倫全・河内健、中電：森島誠司・高田          禮榮・藤岡義久、サーベイ：藤本健二</p> <p style="text-align: right;">計12人</p>
議事概要	<p><b>1. 第1回フォーラムについて</b></p> <p>(1) フォーラムの詳細について          会場：広島市西区区民文化センター2階スタジオ（席数155）          時間：平成28年11月3日（祝・木） 19:00~20:40（会場18時~21時）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17:00 建コンスタッフ会場集合</li> <li>・18:30 開場予定</li> <li>・19:00 開会 建コンより話題提供（発表：日向さんまたは森島さんより）</li> <li>・19:20 パネルディスカッション</li> <li>・20:45 閉会</li> <li>・21:00 撤収完了（<b>時間厳守</b>）</li> </ul> <p>(2) パネリスト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・森江信行 競輪選手（一社）日本競輪選手会広島支部支部長代理</li> <li>・山口剛 ボートレーサー（公社）日本モーターボート選手会広島支部</li> <li>・吉松憲治 オートレーサー（一社）全日本オートレース選手会山陽支部支部長</li> <li>・山内塊太 広島競輪場 日本写真判定（株）広島事業所事業長</li> <li>・鈴木準市 ボートレース宮島 宮島競艇施工組合 事業局長</li> <li>・松浦博 山陽オートレース場 日本写真判定（株）山陽事業所主任</li> </ul> <p>(3) フォーラムの担当</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付：サーベイ、地域未来</li> <li>・録音：復建</li> <li>・録画：中電</li> <li>・マイク：福山</li> </ul> <p>(4) 懇親会について          フォーラムの終了時刻が遅いこともあり、パネリストの方々に森島さんが参加できるかどうか確認する。一人でも来てくれるなら開催予定。</p> <p>(5) アンケートについて          今回のフォーラムでは、アンケートは実施しない。</p> <p><b>2. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>(1) フォーラムの詳細について          会場：広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室A・B（約120人収容）          時間：平成29年1月14日（土） 15:00~17:15（会場14時30分~17時30分）          備品：ワイヤレスマイク4本・プロジェクター1台・コンセント使用</p>



## (2) パネリスト案

- ・奥野恵子 道の駅頓原駅長
- ・服部恵子 地域おこし協力隊
- ・有田昭一郎 島根県中山間地域研究センター研究員
- ・上野店長 ジャイアント尾道店
- ・宮口直之 サイクリスト

パネリストの方には事前にフォーラムの流れ（地域づくりとサイクリング）を佐藤さんが説明し了解を得る。

また広島県側の道の駅の関係者で参加できる人がいないかパネリストの候補を引き続き探す。

## (3) フォーラムの構成

## 1. 建コンからの情報提供

尾道松江線の概要、整備効果、開通後の現道地域への影響についてなど（福山担当）  
実際にやまなみ街道を自転車で走り体験してみる（計画立案を福山）

## 2. ゲストによる活動の紹介

## 3. パネルディスカッション

各活動に関する課題や今後の展望、現道沿線地域の活性化に関する意見交換  
サイクリングと地域との連携に関する展望、地域の人々のサイクリングに期待する内容

## 4. その他・今後の予定

第8回までを予定していたが、フォーラムが1/14(土)に決まったため、12/14に第9回を福山コンサルタントで開催

[今年度の開催予定]…幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
11/3	フォーラム1	中電技術コンサルタント
11/16	第8回	いであ・長大
12/14	第9回	福山
1/14	フォーラム2	長大



## (8) 第8回活動議事録

日 時	2016年11月18日(金) 18:30~20:00									
場 所	福山コンサルタント株式会社会議室									
参加者	長大：佐藤裕治、復建：小田雄司、地域未来：田中雅宣、 福山：奥田倫全、中電：森島誠司・藤岡義久・織田恭平 <span style="float: right;">計7人</span>									
議事概要	<p><b>1. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>(1) フォーラムの詳細について  会場：広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室A・B(約120人収容)  時間：平成28年1月14日(土) 15:00~16:45(会場14:30~17:00)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・14:30 会場準備・</li> <li>・15:00 開会</li> <li>・15:05 話題提供(10分)</li> <li>・15:15 パネリスト紹介(5×各10分)</li> <li>・16:05 パネルディスカッション(40分)</li> <li>・16:45 閉会</li> <li>・17:00 撤収完了 <b>(時間厳守)</b></li> </ul> <p>時間制約が厳しいことから、別会場も検討する。</p> <p>(2) パネリスト案</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①難波孝憲 飯南町観光協会</li> <li>②服部恵子 飯南町地域おこし協力隊</li> <li>③上野一 ジャイアントストア尾道店</li> <li>④宮口直之 サイクリスト</li> <li>⑤広島工業大学学生(予定)</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パネリスト①~④については、登壇について了解済み。</li> <li>・パネリスト⑤については、中電・森島氏が交渉を行う。</li> <li>・コーディネーターは、建設コンサルタンツ協会委員または有識者に依頼</li> </ul> <p>(3) フォーラムの構成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山コンサルタント奥田氏より、開通後の交通量の変化を報告。引き続き、整備効果、開通後の現道地域への影響、試走結果について取りまとめを行う。</li> </ul> <p>(4) やまなみ現地試走調査について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：11/26(土)</li> <li>・担当者：①尾道⇒三次：福山(船本・奥田) ②赤来高原⇒出雲：中電(森島・織田)、復建(小田)、長大(佐藤)</li> </ul> <p><b>2. その他・今後の予定</b></p> <p>[今年度の開催予定]…幹事は建コン協会員での輪番制</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">開催予定</th> <th style="width: 33%;">回数</th> <th style="width: 33%;">幹 事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>12/14</td> <td>第9回</td> <td>いであ・長大</td> </tr> <tr> <td>1/14(予定)</td> <td>フォーラム2</td> <td>長大</td> </tr> </tbody> </table>	開催予定	回数	幹 事	12/14	第9回	いであ・長大	1/14(予定)	フォーラム2	長大
開催予定	回数	幹 事								
12/14	第9回	いであ・長大								
1/14(予定)	フォーラム2	長大								



## (9) 第9回活動議事録

日 時	2016年12月14日(水) 18:30~20:30
場 所	株式会社いであ中国支店 8階会議室
参加者	<p>長大：佐藤裕治、復建：天野佑介・小田雄司</p> <p>いであ：松井秀樹、荒谷：岡本隆彦・日向雄人、福山：奥田倫全</p> <p>中電：高田禮榮・向井 敬治・藤岡義久、地域未来：田中 雅宣</p> <p style="text-align: right;">計11人</p>
議事概要	<p><b>1. 第2回フォーラムについて</b></p> <p>1.1. 建コン発表パートの資料確認</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料構成は、以下の通りとする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①やまなみ街道の概要・特徴</li> <li>②整備効果</li> <li>③開通後の交通量の変化</li> <li>④開通後の課題</li> <li>⑤やまなみ街道旧道沿線地域の地域活性化に係る取組 <ul style="list-style-type: none"> <li>飯南町国道54号活性化アクションプログラム</li> <li>やまなみサイクリングロード(広島県・島根県)等</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>⇒沿線地域に立ち寄っていただく取組の一例として建コンとしてサイクリングを提案</li> <li>⑥試走結果報告</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料・発表は福山・奥田氏が担当する。島根県側の試走結果については、復建・小田氏が資料作成を行う。</li> <li>・資料の構成案を12/16(金)に提出(メール配信)すること。</li> </ul> <p>1.2. 開催内容・事前準備の確認</p> <p>(1) 会場・日時・プログラム</p> <p>会場：広島市南区民文化センター：2F スタジオ(約150人収容)</p> <p>時間：平成28年1月14日(土) 14:00~16:25(会場予約12:30~17:30)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・12:30 集合・会場準備</li> <li>・13:30 開場・ゲスト来場</li> <li>・14:00 開会</li> <li>・14:05 話題提供(10分)</li> <li>・14:15 パネリスト紹介(6×各10分)</li> <li>・15:15 休憩</li> <li>・15:25 パネルディスカッション(60分)</li> <li>・16:25 閉会・17:00 撤収完了</li> </ul> <p>(2) パネリスト/コーディネータ(確定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①上野 一 ジャイアントストア尾道店店長</li> <li>②勝部 貴大 広島工業大学大学院工学系研究科 建設工学専攻 博士前期課程2年</li> <li>③梵 大英 専法寺副住職/344Project 代表</li> <li>④難波 孝憲 飯南町観光協会</li> <li>⑤服部 恵子 飯南町地域おこし協力隊</li> <li>⑥宮口 直之 サイクリスト(eNShare CyclingTeam)</li> </ul> <p>コーディネータ：森島誠司 建設コンサルタンツ協会中国支部 地域計画委員長</p>



### (3) 当日の役割分担

- ・受付（CPD配布）：地域未来、サーベイ
- ・PC準備・写真撮影・ビデオ撮影：中電
- ・録音・議事録整理：荒谷（機器は復建より貸与、テープ起こしは各社分担）
- ・司会：森島委員長
- ・マイク：長大

### (4) フォーラムまでの実施内容の確認

- ・CPD登録：12/15（木）目処でフライヤーの表案（修正版）を長大⇒中電に提出
- ・フライヤー完成後は、各社持ち回りで配布を行う
- ・パネリストへの事前説明：12/19（月）～12/23（金）佐藤・森島が実施
- ・質問：長大からメール配信し、各社回答を踏まえて内容をブラッシュアップ
- ・シナリオ検討：サイクリングという提案を投げかけた上でパネリストに回答していただく流れにする、地域の話題/サイクリングの話題等切り分けて質問をして最後に話を取りまとめるなど、事前説明でのパネリストの反応を見ながら検討する。

### (5) 懇親会の開催について

- ・ゲストへの事前説明時に参加の有無を確認し、参加する人がいれば開催する。

## 2. その他

- ・特になし。

### 今後の予定

[今年度の開催予定]・・・幹事は建コン協会員での輪番制

開催予定	回数	幹事
1/14（予定）	フォーラム2	長大



### 3. 活動メンバー感想

田中 雅宣

深刻化する中山間地域の衰退は、(地域にガツンと投資できるケースを除くと)抜本的な対策はなく、むしろ、まちトーク 2017 で紹介された、人の輪を繋げ、それを広げ、かつ深める取組の地道な積み重ねこそが、唯一の処方箋であるように感じた。さらには、取組を継続するためには仕掛け人自身が楽しむことも大切。我々の地域計画委員会での活動も、斯くありたいと思う。

奥田 良太

中山間部を活性化させる明確な答えは無い中で、中山間部の魅力を発信する方々の活動は地域を活性化させる上で重要な要因だと感じた。様々な活動を地道に継続することで、地域の魅力に触れる人が増えていくのではと思う。地域計画委員会の活動により、少しでもお力添えできればと思う。

奥田 倫全

第2回のフォーラムでは、尾道松江線の現道、国道54号・184号について自転車を活用して活性化できないかと考え、実際に尾道～三次間を自転車で走りました。実際に走ったことで地域の抱える課題などが見え、フォーラムの話もスッと入ってきました。百聞は一見にしかずという言葉が胸に刻み今後の活動でも生かしていきたいと思えます。

岡本 隆彦

第1回フォーラムでは、公営競技とまちづくりの焦点を当てました。もちろん広島に競技場があるのは知っていましたが、個人的にほぼ無縁の世界でした。

正直あまり良いイメージを持っていませんでしたが、それは誤りでした。競技場のにぎわいづくりに向けて、イベントを開催したり、子どもをターゲットにしたりと、さまざまな取り組みをされていました。地域との連携はまだまだ少ないかもしれませんが、地域のにぎわいにもつながる可能性のある資源であると、あらためて認識できました。

ぜひ、競技場を覗きに行ってみようと思います。

**織田 恭平**

2 度開催したフォーラムでは、どちらも貴重な話を聞くことができ大変勉強になりました。特に、「どうする!?中山間」では、実際にやまなみ街道を自転車で走行することで、自分自身も旧道の魅力を体感することができました。道の駅で出会った地元の人たちのあたたかさや、あのしいたけの味は忘れられないものとなりました。我々は自転車で走っただけですが、テーマとしてはまだまだこれから深掘りする必要があると感じたと同時に、来年度も積極的に活動に取り組みたいと思います。

**藤岡 義久**

H28 年度の建コン活動は、フォーラム 2 回開催が印象深いものでした。皆さんの頑張りを応援することしかできませんでしたが、短期間で成功させる力にとても感心しました。幹事会社様をはじめ、皆様本当にお疲れ様でした。どちらのテーマも業務では触れられない興味深いものであり、パネリストも参加してみたいと思わせる人選、建コン活動の醍醐味でもあると感じています。個人的には広島バイシクル・フェスタ 2016 への出店参加でしょうか。カープ優勝パレードとのブッキング、ある意味貴重な経験でした。

H27 年度に久しぶりに参加し、丸 2 年が経ちました。まだまだ力不足ではありますが、これからも頑張りたいと思います。皆様引き続きよろしく申し上げます。

**佐藤 裕治**

今年度開催したフォーラム、まちトーク 2017「どうする中山間地域?!」では、幹事としてフォーラムの全体運営、パネリストの人選、事前打合せ、現地調査、プログラム・シナリオ作成等を携わらせていただいた。また、facebook のイベントページを活用し、一定の集客効果が得られたことから、今後集客を要するイベントを行うときの参考としていただきたい。

今年度の活動では、フォーラムの開催に携わった委員のメンバーやパネリスト、フライヤーの配布やフォーラムへの参加等でご支援いただいた広島県庁及び広島市役所、自転車関係者等、多くの方にご協力いただき、中山間地域の課題や地域づくりについて考えるきっかけとなる機会を設けることが出来た。本フォーラムに関わったすべての方々に感謝するとともに、これを機会に新たな取組や交流が生まれることを期待している。





## 天野 佑介

この平成28年度は、なかなか活動にも参加できず、社会貢献できなかつたと感じています。若い方に任せっぱなしでした。次年度以降も俯瞰して管理する、委員会としてよりよい方向に導くことに変わりはないと思いますが、新メンバーとの交流をはじめ、地域計画委員会を盛り上げていきたいと思っています。

## 日向 雄人

今年度の活動は第1回フォーラム「知ってる？ 公営競技」が印象に残っている。フォーラムで使用する情報提供資料の作成や、当日のパネリストの方々の話を聞くと「公営競技＝ギャンブル」という印象はなくなり「公営競技＝スポーツ」という印象が強くなった。各団体の地域貢献活動や地域との繋がりなども知ることができ、都市計画・地域計画の視点からも、今後のまちづくりにおける地域振興の一翼を担うものであると感じ、個人的に、非常に収穫のある活動となった。

## 小田 雄司

28年度の取り組みは、フィールドは違えど地域の魅力発信や活性化といった観点で活躍されている方々を呼んでのトークであった。普段は設計ばかりの仕事であるが、地元はかなりの田舎ということもあり、第2回のまちトークはなるほどなと思う意見を多く聞くことが出来た。やまなみサイクリングロードの体験会も自然の中を走る楽しみを味わうことができ、有意義であった。季節が変われば見える景色が様変わりするのではないかという次回への楽しみもあるが、ペダルを踏み出すまでが長い道のりである。こうした多様なフィールドで活躍されている方同士を結びつけることが出来、より情報が多く飛び交うようになれば、私のような腰の重たい人も多く来訪されるようになるのではないかと期待している。

## 大塚 健裕

第1回のまちトークに参加した。テーマは、公営協議とまちづくり。普段の業務では中々扱うことのないテーマであり、地域と公営協議を結ぶため、様々な社会貢献活動に参加しているオートレーサーの古松賢治選手の姿には、非常に感銘を受けた。自分自身もこうした地域計画委員会の活動などを通し、地域のまちづくり活動に意欲的に参加していかなくてはならないと感じた。



**笹岡 亮太**

中山間地域でも他事例をそのまま真似たようなイベント等も見られる昨今、まちトーク2017のなかで、登壇者による地域性・独自性を重要視した取り組みやSNS等をフル活用した取り組みなどを聞くことができたのは非常に良い経験となった。地元（島しょ部）でもこうした活動への参加や支援をしていけたらと思う。